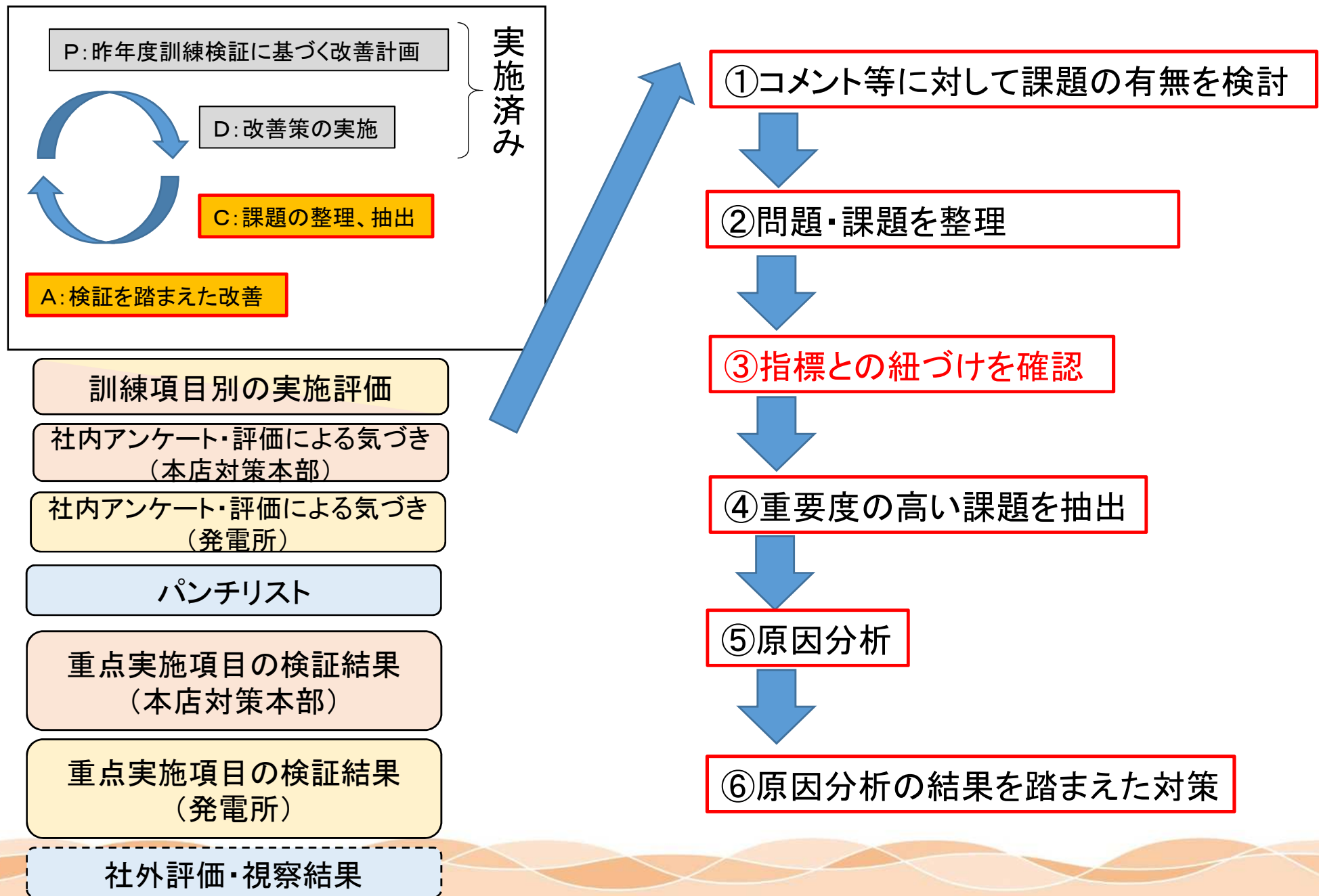


高浜発電所原子力防災訓練における 問題点・課題等の整理 (訓練3週間後面談)

2022年9月

原子力事業本部 安全・防災グループ

高浜発電所 安全・防災室



③指標との紐づけを確認(抜粋)

- コメント等に対して課題の有無を検討し、問題・課題を整理した。
- 赤字箇所を抽出し、指標との紐づけも整理した。

項目	課題の有無	指標との紐づけ
事業者 対策本部 アンケート	特重別冊の手順フローチャート図で、特重情報を発話しないようにするため、特重情報部分を識別してほしい旨のコメントを受けた。 ⇒現状ルールは、特重情報は発話可能であり、ERCプラント班ー即応C間での特重情報の運用ルールについて共通認識が図られていない可能性あり。	2,3
発電所 アンケート	通常、定検中(モード外)であればDGの1系統は隔離中だと思うが、特に情報付与がなかったことで2系統も健全であると、本部長からの質問に回答した。正直、このような情報はSPDSを見ればわかると思うので、定検中の号機についてもSPDSの訓練データを準備しておいてほしい。 ⇒訓練の前提条件として情報付与を実施している。情報付与で不足する情報についてはコントローラへの確認で対応できるため課題ではない。定検中の号機に係るSPDSデータの作成については前向きに検討を進める。	参考 (訓練統制)
	現場状況に関する情報付与が多く、情報の整理に苦労した。今回の想定事象では、情報共有および事故収束戦略の決定が確実にできていたが、チーム内で情報の整理する方法について検討すべきだと感じた。 ⇒発電所対策本部内において、現場状況に係る情報がさらに増加した場合、情報を処理しきれず事故対応が困難となるおそれがある。	1
パンチリスト	警戒事態該当事象連絡(4号機AL24)が、システムエラーによりその直前に通報した25条報告と同じ第6報となった。被りに気付いて約20分後に同通報を第7報とする訂正報を発出したが、既に第7報が存在したため、元の第7報を第7-2報とする訂正報を発出し、再度の被りを解消した。 ⇒プレーヤの対応は通報マニュアルに応じて適切に実施できていたが、よりよい訂正方法が考えられるためマニュアルへの訂正対応に関する具体例が乏しい。	4
	C充てん/高圧注入ポンプ配管接続訓練では、タイベックのフードと全面マスクは、養生テープで目張りが行われていなかった ⇒熱中症対策のため、訓練では全面マスクは、養生テープで目張りまでは不要という社内ルールを適用して対応しており、課題ではない。	7
重点実施	1号機の水素爆発に対する現場作業への確認をチェックシートを用いて実施したが、シナリオ進展が早いため、切迫した状況にならなかった。また水素爆発に対する事故対応への確認は、AMGを用いて実施するべきであった。 ⇒必要な社内標準類をチェックシートに書いておいたほうがよいと考える。	5
社外評価	訓練の事故進展前半では、即応センターから状況報告に対し、ERC側も状況復唱がなされ確実な3WAYコミュニケーションがなされていたが、事故進展後半では多くの情報が錯綜し、ERC側の復唱が一部なされない場合があった。 ⇒ERC=即応センタ情報チーム間で3WAYコミュニケーションを活用した情報共有を実施することは取り決めていない。課題ではない。	10

「指標との紐づけは、各指標の基準に直接該当するものだけでなく、指標の大枠としての紐づけを実施。」

④重要課題(報告書)記載の抽出結果

No.	項目	指標との紐づき	課題の重要度確認	①	②	③	④	合計
No.1	事業者 対策本部 アンケート	2,3	特重別冊の手順フローチャート図で、特重情報を発話しないようにするため、特重情報部分を識別してほしい旨のコメントを受けた。(現状ルールは、特重情報は発話可能であり、ERCプラント班ー即応C間での特重情報の運用ルールについて共通認識が図られていない可能性あり。) ⇒ 5週間前面談時に特重情報の取扱い方法についてコントローラ間で認識統一を図り、プレーヤへの周知を徹底する。	1	2	1	1	2
No.2	発電所 アンケート	1	現場状況に関する情報付与が多く、情報の整理に苦労した。今回の想定事象では、情報共有および事故収束戦略の決定が確実にできていたが、チーム内で情報の整理する方法について検討すべきだと感じた。発電所対策本部内において、現場状況に係る情報がさらに増加した場合、情報を処理しきれず事故対応が困難となるおそれがある。 ⇒ 情報の整理方法について更なる検討が必要	3	2	2	3	36
No.3	パンチリスト	4	警戒事態該当事象連絡(4号機AL24)を第6報で通報のところ、25条報告をその直前に第6報で通報しており、約20分後に第7報として訂正報を発出したが、既に警戒事態該当事象発生経過連絡を通報しており、第7報が2通存在する時間帯があった。 (プレーヤの対応は通報マニュアルに応じて適切に実施できていたが、よりよい訂正方法が考えられるためマニュアルへの訂正対応に関する具体例が乏しい。) ⇒ 通報マニュアルへ訂正方法に関する具体例を追記する。	1	2	1	3	6
No.4	重点実施	5	1号機の水素爆発に対する現場作業への確認をチェックシートを用いて実施したが、シナリオ進展が早い ため、切迫した状況にならなかった。また水素爆発に対する事故対応への確認は、AMGを用いて実施する が、その2点が必要なことをチェックシートに書いておいたほうがよいと考える。 ⇒ チェックシートへ追記して是正処置を実施する。	2	3	1	3	18

<採点基準>

[採点項目]	点数		
①実発災時の緊急時対応の実効性に係るもの	3(影響高)	2(影響中)	1(影響低)
②訓練目標、重点実施項目との関連性	3(関連高)	2(関連中)	1(関連低)
③対策の難度	3(難度高)	2(難度中)	1(難度低)
④当社単独での改善可否	3(改善可)	-	1(改善不可)

重要課題 発電所対策本部内の情報共有方法の改善

(問題)

昨年度の課題を踏まえ、手順の成立に関して考慮すべき事項(現場要員の被ばく線量等)を訓練プレイヤーが検討、判断できるよう、訓練想定や情報付与の改善を行った結果、発電所対策本部内において、現場状況に係る情報(要員の状況、被ばく線量の情報等)が増加した。今回の想定事象においては、情報共有、事故収束戦略の決定が確実に行っていたが、さらに付与される情報が増えた場合、確実に対応できるか不安が残った。

(課題)

発電所対策本部内において、現場状況に係る情報がさらに増加した場合、情報を処理しきれず事故対応が困難となるおそれがある。

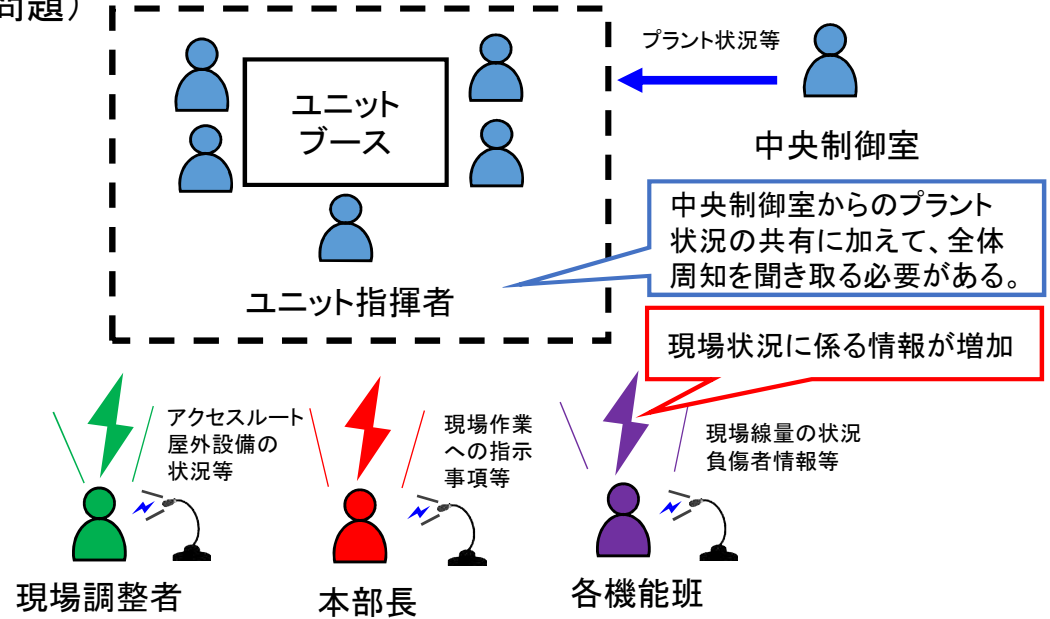
(原因)

発電所対策本部内において、現場状況に係る情報が増えた一方、ユニットブースに直接共有すべき情報が明確になっておらず、現場調整者や各機能班から発電所対策本部全体への報告のみに留まってしまうている。

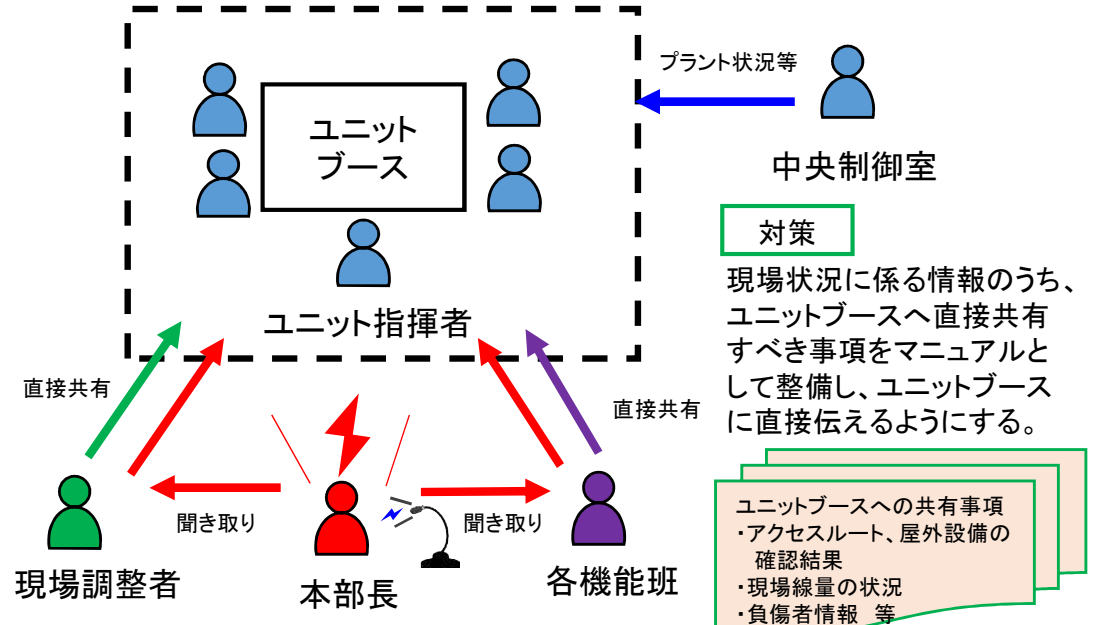
(対策)

現場状況に係る情報のうち、ユニットブースへ直接共有すべき事項をマニュアルとして整備し、現場調整者や各機能班からユニットブースに直接伝えるようにする。

(問題)



(対策イメージ) 情報フロー図化も実施



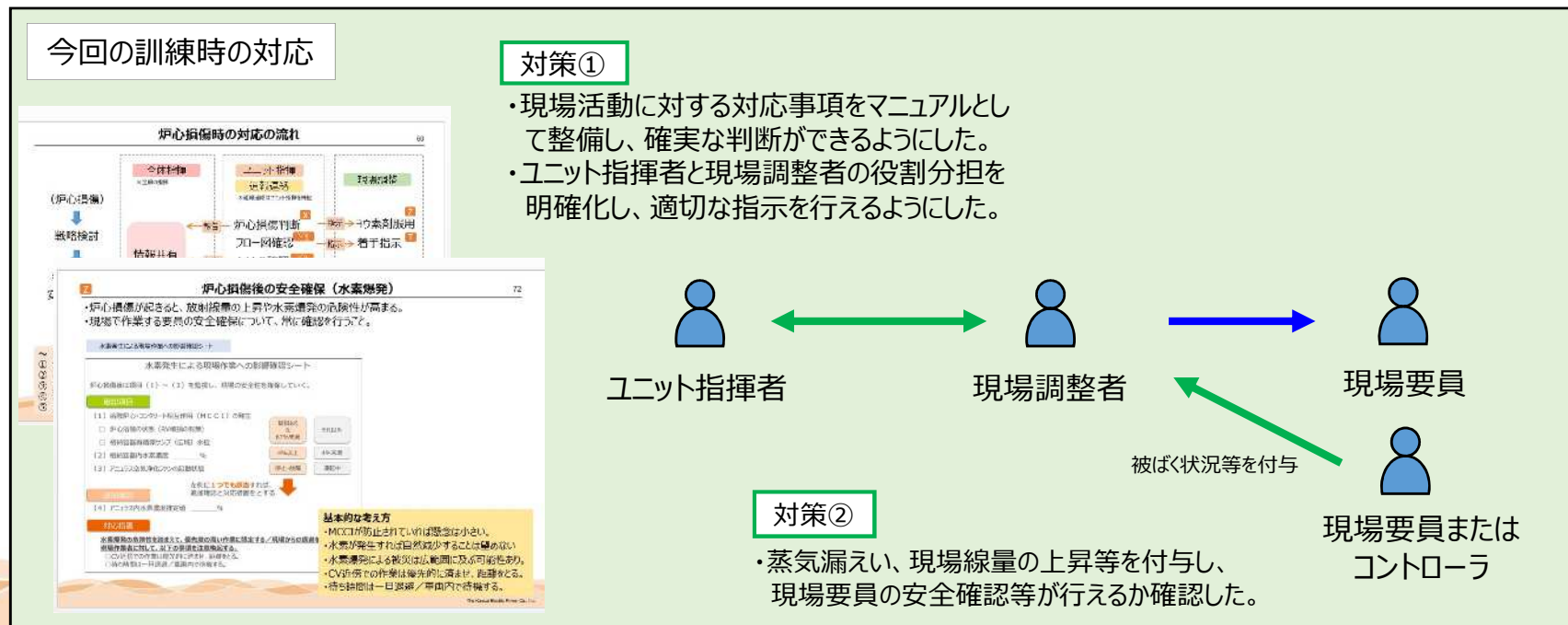
重点実施項目の検証結果 (発電所)

【発電所対策本部(高浜)】

○炉心損傷時等における現場作業への影響の検討

- 現場活動に関する留意事項について、マニュアルに整備し、確実な判断ができるようにするとともに、ユニット指揮者と現場調整者の役割を明確化し、適切な指示を行えるようにした。また、訓練シナリオにおいて、現場要員の安全確認等が必要なタイミングを設定した。
- 上記対応を実施した結果、現場要員の安全確認等が必要なタイミングにおいて、現場活動に関するマニュアルに基づき、本部要員が現場要員の安全確認等を適切に実施できることを確認できた。またマニュアルについても、訓練後のアンケートにより事故対応に有効であることを確認できた。

⇒ 次頁の課題改善検証シート参照



重点実施項目の検証結果 (発電所)

【発電所対策本部(高浜)】

評価結果:良
課題:無

高浜原子力防災訓練 課題改善検証シート
(高浜発電所)

検証項目:

1. 炉心損傷時等における現場作業への影響の検討

■「評価結果」には下記のいずれかを記載する。

評価結果	評価結果の判断基準
4	評価の視点で必要とされる内容について、十分に達成できて
3	評価の視点で必要とされる内容について、一部を除き達成で
2	評価の視点で必要とされる内容について、半数近く達成され
1	評価の視点で必要とされる内容について、ほとんど達成でき
—	今回の訓練では評価できない項目である。

No.	検証項目	評価の視点	評価結果
1	炉心損傷時等における現場作業への影響の検討	<p>■ 【本部運営訓練で確認】</p> <p>①現場作業に影響が起これる事象が発生した場合において、現場作業への影響についての確認を実施したか。</p> <p>②マニュアルの確認項目において、必要なチェックが実施されたか。(チェック抜けはないか)</p> <p>③プレイヤーが判断した対応措置は、事務局想定と比較して過不足はないか。…参考記録</p> <p>また、差異がある場合の、プレイヤーへの判断理由の聞き取りを行う。…参考記録</p> <p>④プレイヤーへのマニュアルの有効性をアンケートで確認する。</p>	4

必要タイミングおよび対象者	①	②	③	④
<p>【必要タイミング】</p> <p>13:50 2号機 A主蒸気管破断発生時</p> <p>14:10 2号機 タービン動補助給水ポンプ不調時</p> <p>【対象者】</p> <p>2号ユニット指揮者、保修班長</p>	いずれも適切に実施できていた。 (例)13:50に主蒸気逃し弁の点検者の安否確認を指示し、13:55に無事を確認していた。	—	いずれも事務局想定どおり、現場要員への安否確認等ができていた。	—
<p>【必要タイミング】</p> <p>15:03~15:21 1号機炉心出口温度350℃超過から炉心損傷まで</p> <p>【対象者】</p> <p>1号ユニット指揮者、1、2号現場調整者</p>	炉心損傷に近づいていることを踏まえ、現場作業要員の線量の確認を複数回実施していた。また、必要な防護具の着用を指示していた。	放射線および水素爆発による影響に対して、チェックシートを活用し、必要なチェックが実施できていた。	事務局想定どおり、現場要員への放射線および水素爆発の影響を踏まえた現場への指示が過不足なくできていた。	訓練後にアンケートを実施した結果、マニュアルを活用したプレイヤーから有効であったとの回答が得られた。
<p>【必要タイミング】</p> <p>15:21 No.5モニタリングポストの指示上昇以降</p> <p>【対象者】</p> <p>4号ユニット指揮者、3、4号現場調整者</p>	No.5モニタリングポストの指示上昇時に現場作業要員の線量の確認を複数回実施していた。	放射線による影響に対して、チェックシートを活用し、必要なチェックが実施できていた。	事務局想定どおり、現場要員への放射線影響を踏まえた現場への指示が過不足なくできていた。	訓練後にアンケートを実施した結果、マニュアルを活用したプレイヤーから有効であったとの回答が得られた。

2022年 高浜防災訓練 3週間後面談資料 目次

番号	タイトル	ページ
添付-1	訓練の社内評価(訓練項目別、重点実施項目、アンケート気づき)	11
添付-2-1	訓練の社外評価(NRAパンチリスト)	15
添付-2-2	通報票_第6報2件送付について	21
添付-3	訓練の社外評価(他事業者評価)	27
添付-4	情報フローの評価	31
参考資料-1	防災訓練主要シナリオとERC説明実績	41
参考資料-2	防災訓練主要シナリオとEAL判断の妥当性	55
参考資料-3	原災法通報一覧	59
参考資料-4	シナリオ判断分岐の確認結果	115
参考資料-5	新規訓練評価指標「参考指標:訓練統制」への対応結果について	125

訓練の社内評価（訓練項目別、重点実施項目、アンケート気づき）

	訓練目標	実施結果	実施評価／アンケート気づき
訓練項目別	<p>(1) 本部運営訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生した原子力災害事故事象に対して、緊急時対策所に緊急時対策本部要員が参集し、本部の設営を行い、高浜発電所対策本部、本店対策本部双方の防災組織が、各対策本部内の指揮命令系統に基づき、情報共有、事故収束戦略の決定を行うとともに、連携して事態に対処できること。 情報共有については、発電所対策本部が収集、整理したプラント情報、負傷者情報および事故収束戦略情報等を、COP等を活用し、本店対策本部へ発信できること、本店対策本部から外部の関係各所へ遅滞なく発信できること。 長期対応を見据えた交代対応として、COP等を活用し、引継ぎが行えること、通常より少ない人員でも必要な対応が実施できること。 	<p>a. 発電所対策本部</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の訓練想定に対して、本部活動に係わるマニュアルに基づき、緊急時対策所に参集し、防災体制を確立するとともに、発電所対策本部は、発電所対策本部内での情報共有および事故収束戦略の検討・立案・決定・指示を指揮命令系統に基づいて実施した。また、炉心損傷等発生時の現場活動への影響確認を実施した。 今回の訓練想定に対して、発電所対策本部は、COP等を活用して発電所対策本部内で把握したプラント状況および決定した事故収束戦略を本店対策本部（若狭）に遅滞なく共有した。 今回の訓練想定に対して、発電所対策本部は、プラント状況、発電所対策本部要員の活動状況、負傷者情報等を情報共有システムに入力し、発電所対策本部内および本店対策本部（若狭）等と遅滞のない情報共有を実施した。 今回の訓練想定に対して、COP等を活用した引継ぎを行い、通常より少ない人員にて必要な対応を実施した。 	<p>a. 発電所対策本部</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力防災要員は、緊急時対策所へ参集し、発電所対策本部の体制確立が問題なく実施できることを確認した。 発電所対策本部は、発電所対策本部内での情報共有および事故収束戦略の検討・立案・決定・指示が指揮命令系統に基づいて実施できることを確認した。また、炉心損傷等発生時の現場活動への影響確認が実施できることを確認した。 発電所対策本部は、発電所対策本部内で収集・共有されたプラント情報、負傷者情報および事故収束戦略情報が遅滞なく本店対策本部（若狭）に共有できることを確認した。 発電所対策本部は、COP等を活用した引継ぎを行い、通常より少ない人員にて必要な対応を実施できることを確認した。 以上より、発電所対策本部において、情報共有、事故収束戦略の決定が行えており、今回の想定事象における対応能力を有しているものと評価する。
	(同上)	<p>b. 本店対策本部（若狭）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の訓練想定に対して、本店対策本部（若狭）の活動に係わるマニュアルに基づき、平日昼間における要員が、地震の発生連絡により、遅滞なく緊急時対策室に参集し、防災体制を確立するとともに、各機能班の活動を開始した。 今回の訓練想定に対して、本店対策本部（若狭）の活動に係わるマニュアルに基づき、社内TV会議、電話会議、COPおよび情報共有システムを用いた発電所、本店対策本部（中之島）、OFC事業者ブースとの情報共有を実施した。 今回の訓練想定に対して、本店対策本部（若狭）の活動に係わるマニュアルに基づき、本店対策本部（若狭）内の情報共有、オンサイトの事故収束対応戦略の支援検討およびオフサイトの支援要請検討を実施した。 メーカー等との覚書に基づき、事故収束対応戦略の支援検討に係わるメーカー等への支援要請を実施した。 今回の訓練想定に対して、ERCとの情報共有に係わるマニュアルに基づき、EAL、事故・プラント状況、事故収束対応戦略等をERCプラント班へ報告するとともに、ERCプラント班からの質疑対応を行い、情報共有を実施した。 	<p>b. 本店対策本部（若狭）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本店対策本部（若狭）の要員は、緊急時対策室へ参集し、体制確立が問題なく実施できることを確認した。 本店対策本部（若狭）は、本店対策本部（若狭）内および関係箇所（本店対策本部（中之島）、OFC事業者ブース等）との情報共有ならびにオンサイト支援検討およびオフサイト支援検討が問題なく行えることを確認した。 即応センター情報チームは、EAL、事故・プラント状況、事故収束対応戦略等をERCプラント班へ報告およびERCプラント班からの質疑対応をした結果、ERCプラント班への情報共有が問題なく行えることを確認した。 以上より、本店対策本部（若狭）において、情報共有、オンサイト支援戦略およびオフサイト支援戦略の決定が行えており、今回の想定事象における対応能力を有しているものと評価する。

	訓練目標	実施結果	実施評価／アンケート気づき
訓練項目別	<p>(2) 通報連絡訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部は、プラントパラメータ等により事故及び被害状況を把握し、警戒事象、原災法第10条事象、原災法第15条事象および応急措置等の通報連絡文の作成を、通報連絡に係わるマニュアルに基づき実施するとともに、社内外関係機関への通報連絡があらかじめ定められている連絡系統に基づいて対応できること。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の訓練想定に対して、発電所対策本部情報班員は、プラントパラメータ、機器故障および負傷者に係る情報により、事故および被害状況を把握するとともに、通報連絡に係わるマニュアルに基づき、警戒事態該当事象（以下、「AL」という。）、施設敷地緊急事態該当事象（以下、「SE」という。）、全面緊急事態該当事象（以下、「GE」という。）および応急措置（以下、「25条報告」という。）に係る通報連絡文を作成し、あらかじめ定められている連絡系統に基づいて通報連絡および着信確認を実施した。 通報票第6報が通報システムトラブルにより重複発生したが、訂正報を発信することで通報番号の整理を適切に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部情報班は、各AL、SE、GEの通報連絡文について正確に作成できており、全て15分以内に通報連絡を実施できていたことを確認した。また、25条報告についても適切な頻度で通報を実施できていることを確認した。 第6報の重複に気づき、訂正報対応ができていることから、誤記チェック機能および訂正報発行に関する対応ができていることを確認した。 以上より、通報連絡文の作成、社内外関係機関への通報連絡に係る対応および訂正報に関する対応が定着しているものと評価する。
	<p>(3) 緊急時モニタリング訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時モニタリング指示に基づく必要なモニタリングポイントへの測定機器の配備・測定を、緊急時モニタリングに係わるマニュアルに基づき実施し、測定結果について情報共有システム等を用いて発電所対策本部内に共有できること。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の訓練想定に対して、発電所対策本部放射線管理班員は、緊急時環境モニタリング指示に基づく必要なモニタリングポイントへの測定機器の配備・測定を、緊急時環境モニタリングに係わるマニュアルに基づき実施し、測定結果を本部に連絡した。また、測定結果については、情報共有システムを用いて発電所対策本部内に共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部放射線管理班は、モニタリングポイントへの測定機器の配備・測定を実施できていることを確認した。 また、測定結果については、情報共有システムを用いて発電所対策本部内に問題なく情報共有が実施できていることを確認した。 以上より、測定に係る操作・情報共有が定着しているものと評価する。
	<p>(4) 発電所退避誘導訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部からの退避誘導指示を受けた発電所内の緊急事態応急対策等の活動に従事しない者について、退避に係わるマニュアルに基づき、退避誘導員による退避誘導および発電所対策本部による発電所立入制限措置の指示が行えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の訓練想定に対して、発電所対策本部総務班の退避誘導員は、退避誘導に係わるマニュアルに基づき、発電所内の緊急事態応急対策等の活動に従事しない者に対して、構内放送装置を用いて発電所構内退避時集合場所への一時退避の指示を実施した。 今回の訓練想定に対して、発電所対策本部総務班の退避誘導員は、退避誘導に係わるマニュアルに基づき、集合した一時退避者に対してプラント状況を簡潔かつ正確に説明を実施した。 発電所対策本部安全管理班員は、警戒体制の発令を受けて、本部活動に係わるマニュアルに基づき、発電所への立入制限措置指示を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部総務班は、退避誘導員による一時退避に係る指示、一時退避場所への誘導および一時退避者へのプラント状況説明が実施できていることを確認した。 発電所対策本部安全管理班は、発電所への立入制限措置の実施に係る指示が実施できていることを確認した。 以上より、発電所退避誘導に係る避難誘導、立入制限措置に対する対応が定着しているものと評価する。

	訓練目標	実施結果	実施評価／アンケート気づき
訓練項目別	<p>(5) 原子力災害医療訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所対策本部において、発電所構内で発生した傷病者（放射性物質汚染を伴う傷病者含む）に対して、救急対応に係わるマニュアルに基づく汚染除去等の応急措置および管理区域外への搬出が行えること。また、本店対策本部および原子力安全研究協会への傷病者情報の共有が行えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所対策本部総務班および放射線管理班は、3号機の管理区域内で発生した放射性物質汚染を伴う負傷者に対して、救急対応に係わるマニュアルに基づき、汚染除去等の応急処置を実施し、負傷者を管理区域外へ搬出した。 ・発電所対策本部総務班および発電所対策本部対外対応専任者は、発電所対策本部内および本店対策本部への負傷者に関する情報の共有を実施した。 また、本店対策本部は原子力安全研究協会に対し、警戒事態該当事象および特定事象の発生と医療スタッフの派遣依頼について通報連絡訓練を実施した。 ・本店対策本部は高浜オフサイトセンター医療班（模擬）に緊急連絡票を送付して、負傷者に関する情報の共有を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所対策本部総務班および放射線管理班は、放射性物質汚染を伴う負傷者に対する汚染除去等の応急処置、管理区域外への搬出および本店対策本部への負傷者情報の共有が実施できていることを確認した。 ・緊急連絡票を用いることで、負傷者の汚染状況の有無、傷病箇所等の情報を共有できることを確認した。 ・また、本店対策本部から原子力安全研究協会への情報連携が問題なく実施できることを確認した。 ・以上より、原子力災害医療に係る応急措置等の対応が定着しているものと評価する。
	<p>(6) 全交流電源喪失対応訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所対策本部において、全交流電源喪失時におけるプラントの事故状況を踏まえた炉心注水確保に関する検討および事故対応の選定を行い、事故対応に係わるマニュアルに基づく格納容器注水操作が行えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の訓練想定に対して、発電所対策本部は、全交流電源が喪失し、かつLOCAが発生した1号機および4号機において、事故対応に係わるマニュアルに基づき、代替炉心注水手段（特重施設の活用を含む）の検討および事故対応の選定を実施した。また、1号機は炉心損傷に至る可能性があることを認識した段階で、格納容器の防護に係る対応策（特重施設の活用を含む）の検討を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所対策本部は、1号機および4号機のプラントの事故状況を踏まえた炉心注水確保や格納容器破損防止に関する検討および事故対応の選定が実施できていることを確認した。 ・また、1号機は特重施設の活用を含む訓練想定に対して、格納容器の防護に係る対応策の検討を実施できていることを確認した。 ・以上より、全交流電源喪失下における対応が定着しているものと評価する。
	<p>(7) アクシデントマネジメント対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所対策本部において、事象の進展に基づき、シビアアクシデントを想定したアクシデントマネジメント策の検討（使用可能な設備・機能の把握、対策の有効性及び実施可否の確認、判断）が事故対応に係わるマニュアルに基づき行えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の訓練想定に対して、発電所対策本部は、事故対応に係わるマニュアルに基づき、ユニット指揮者を中心として、使用可能な設備・機能の把握、事故収束戦略の立案、対策の有効性および実施可否の確認・判断を実施するとともに、予期せぬ事態に際し、事故対応に係わるマニュアルを柔軟に活用し、臨機の判断・対応を実施した。 ・今回の訓練想定に対して、発電所対策本部の指示により、事故対応に係わるマニュアルに基づき、緊急安全対策要員は、1号機において炉心冷却手段を確保するため、C充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）による炉心注水に関する現場操作を実施した。 ・また、発電所対策本部は、現場で発生した手順書には記載のない予期せぬ事態（ディスタンスピース取替用工具の紛失）および現場に「焦り」が発生するような情報の付与に対して、対応手段の検討を行い、緊急安全対策要員に代替対応手段（2号機側の他のディスタンスピース取替作業工具の使用）を指示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所対策本部は、事象の進展に基づいたアクシデントマネジメント策の検討が問題なく実施できることを確認した。 ・緊急安全対策要員は、1号機のC充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）による炉心注水に関する現場操作が確実に実施できていることを確認した。 ・また、発電所対策本部は、現場で発生した予期せぬ事態および「焦り」を付与された環境下において、代替対応手段を検討し、必要な指示ができることを確認した。 ・以上より、アクシデントマネジメントの対応が定着していると評価するとともに、予期せぬ事態に際し、臨機の判断・対応を要求する訓練を実施できたことから、発電所対策本部の能力向上に資することができたと評価する。

	訓練目標	実施結果	実施評価／アンケート気づき
訓練項目別	<p>(8) 原子力緊急事態支援組織対応訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 美浜原子力緊急事態支援センターへの支援要請について、本店対策本部から美浜原子力緊急事態支援センターの支援要請の連絡を協定等に基づき行い、必要な情報を連絡できること。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部からの支援要請を受け、本店対策本部（若狭）原子力設備班は、協定に基づき、美浜原子力緊急事態支援センターへ、特定事象発生連絡や必要な支援要請（要員、無線資機材）について連絡を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 本店対策本部（若狭）原子力設備班は、美浜原子力緊急事態支援センターへの特定事象発生連絡や必要な支援要請（要員、無線資機材）について実施できており、対応が定着しているものと評価する。
重点実施項目	<p>○炉心損傷時等における現場作業への影響検討</p> <p>[問題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉心損傷が発生するような過酷な環境下において、現場作業が必要な手順については、作業場所の線量および作業時間等を考慮し、問題ないことを判断した上で、実行する手順の選定を行う必要があるが、炉心損傷後の現場要員に関する対策本部内の実施事項については、現場の要員管理を行う現場調整者からの放射線防護具の着用指示およびヨウ素剤の服用指示のみに留まっており、緊迫感に乏しい対応となっていた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故収束戦略の検討にあたり、炉心損傷発生時等の現場活動への影響検討が限定的であった。 <p>[原因]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場活動に対する留意事項を明確に整備できておらず、ユニット指揮者と現場調整者のそれぞれの現場活動に関する役割が明確になっていない事項があった。また、戦略の検討にあたり、手順の成立可否を設備の使用可否のみで判断している部分が多く、実際に手順を実施するにあたり考慮すべき事項を訓練として想定しきれていなかった。 <p>[対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場活動に関する留意事項について、マニュアルに整備し、確実な判断ができるようにするとともに、ユニット指揮者と現場調整者の役割を明確化し、適切な指示を行えるようにした。また、訓練シナリオにおいて、現場要員の安全確認等が必要なタイミングを設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場要員の安全確認等が必要なタイミングにおいて、現場活動に関するマニュアルに基づき、本部要員が現場要員の安全確認等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応を実施した結果、現場要員の安全確認等が必要なタイミングにおいて、現場活動に関するマニュアルに基づき、本部要員が現場要員の安全確認等を適切に実施できることを確認できた。 また、マニュアルについても、訓練後のアンケートにより事故対応に有効であることを確認できた。 以上により、役割分担の明確化、マニュアルの整備によって、炉心損傷発生時の現場影響検討が適切に実施できることを確認した。

訓練の社外評価(NRAパンチリスト)

本資料(添付-2-1および添付2-2)は、機密を含むことから、公開することはできません。

社外評価結果概要（即応センター）

社外評価者： 1名（日本原電 防災事務局関係者）	評価方法： 即応センターへ来所し、即応センター～ERC間の情報連携について、評価チェックシートに基づき以下を評価。 ①「あるべき姿」に対する4段階評価 ②その他気づき事項の抽出
-----------------------------	---

評価結果（概要）：

あるべき姿	評価※
「事故・プラントの状況」、「進展予測と事故収束対応戦略」、「戦略の進捗状況」について迅速かつ正確に情報を分かりやすく発信できる。	3.5
プラント状況等の説明においてERSS等の表示システムを使用する。 特に、初動時のCOP発行前のプラント説明、プラントパラメータの推移に基づく説明をしている。	4.0
定期的および主要なプラント状況変動時にCOPを発行し、ERC説明に活用する。 また、COP発行までの間、ERC情報チームにより手書きにより更新して活用する。	4.0
プラント状況、戦略の予測、その他COPの補完において、ERC備付け資料を活用する。	3.5

※：4：評価の視点で、必要とされる項目について、十分に説明できている。
 3：評価の視点で、必要とされる項目について、一部を除き説明できている。
 2：評価の視点で、必要とされる項目について、半数近く説明ができていない。
 1：評価の視点で、必要とされる項目について、ほとんど説明ができていない。

その他気づき事項

（良好事例）

- ・即応センター情報チームについては、各人の業務役割を的確に遂行し、連携の取れた情報伝達が遂行されていた。
- ・ERCより書画資料の拡大を要求される事があり、チーム内で書画投影時は事前に拡大表示するようチーム内で共有されていた。
- ・プラントの事故収束に向かう過程（プラント情報伝達が落ち着いた段階）で、ERCからの要求ではなく即応センター自ら、プラントの状況を整理され、各号機の取纏め情報が報告されていた。

（気づき事項）

- ・訓練の事故進展前半では、即応センターから状況報告に対し、ERC側も状況復唱がなされ確実な3WAYコミュニケーションがなされていたが、事故進展後半では多くの情報が錯綜し、ERC側の復唱が一部なされない場合があった。事業者からもERC側認識度合いを確認する意味で、適宜確認し合う行為を付加できれば、より良いものになるものと考えます。

<気づき事項への対応方針>

- ・良好事例については、今後も維持できるよう教育を継続していく。
- ・3WAYコミュニケーションについては、ERCプラント班と即応センター情報チーム間において実施するよう取り決めておりません。情報連携の中で正しく情報が伝達出来ているか適時確認することは重要なため、3WAYコミュニケーションにこだわることなく、こまめな認識確認やプラント状況の全体的な振り返りを実施して参ります。

社外評価結果概要（発電所対策本部）

社外評価者： 1名（日本原電 防災事務局関係者）	評価方法：高浜発電所に来所し、現場実動訓練について、評価チェックシートに基づき以下を評価。 ①「評価事項」に対する4段階評価 ②その他気づき事項の抽出
-----------------------------	---

評価結果（概要）：

No	確認項目	確認内容	評価結果※
①	準備事項	発電所対策本部との通信手段が確保されているか。	4.0
		必要な資機材（皮手、手順書等）が準備されているか	4.0
		放射線防護具を適切に着用できているか。 （指揮者から指示があった場合のみ着用）	4.0
②	体制	当該作業に必要な人員が確保され、体制が整っているか	4.0
③	操作の実施	発電所対策本部（現場調整者）からの指示に従い速やかに着手できているか。	4.0
		手順に基づいて操作が実施できているか。	4.0
		指差呼称、復命復唱が実施されているか。	4.0
		作業完了したことを速やかに発電所対策本部（現場調整者）に連絡しているか。	4.0
		予期せぬ事態が発生した場合、対策本部に連絡を行い、指示を仰ぐ等適切な対応ができているか。	4.0

※：4：評価の視点で、必要とされる項目について、十分に説明できている。
 3：評価の視点で、必要とされる項目について、一部を除き説明できている。
 2：評価の視点で、必要とされる項目について、半数近く説明ができていない。
 1：評価の視点で、必要とされる項目について、ほとんど説明ができていない。

【気づき事項】

- 全面マスク装着時には手順書を大声で読み上げるだけでなく、対象を指さす等ジェスチャーも交えるとより良い。
- ディスタンスピース交換用工具が既存工具箱になく、現場は本部に状況連絡し、2号機の同類工具使用の指示を受けておりましたが、本部連絡の際に現地状態を加味した対応案の提案を現場からも行うと本部の判断材料も増え、より良い。

【良好事例】

- 全面マスク・タイベック着用後、お互いに対面チェックを実施し、適切に保護具が着用されていることを確認されていた。
- 現場指揮者は参集した同行操作員に対し、これから対応する事項を共有してから対象エリアに移動されていた。
- 実機では模擬できないディスタンスピース交換作業をモックアップで対応されていた。（環境も模擬し、照明を落とした中で対応されていた。）

<気づき事項への対応方針>

- ・良好事例については、今後も維持できるよう教育を継続していく。
- ・全面マスク装着時のジェスチャーについては、現場要員に周知、教育を行う。
- ・マルファンクション対応については、対策本部に判断を委ねるよう情報付与を実施していたため、より良い訓練となるよう情報付与の内容の検討を行う。

ERC対応自主訓練 事業者間連携 評価結果概要（即応センター）

社外評価者： 1社2名（北海道 防災事務局関係者）	評価方法： 即応C～ERC（模擬）間の連携訓練を実施し、ERC模擬役として評価、また連携訓練の映像、資料等を後日確認し、評価チェックシートに基づき以下を評価。 ①訓練指標2、3を参考とした3段階評価 ②訓練課題項目に対する3段階評価 ③その他気づき事項の抽出
------------------------------	---

評価結果（概要）：

情報項目	評価※
a. 事故・プラント状況の説明	4.0
b. 進展予測と事故収束対応戦略の説明	4.0
c. 戦略の進捗状況の説明	3.0
d. プラント情報表示システムの使用	3.0
e. COPの活用	4.0
f. ERC備付資料の活用	5.0

※：a.～f. 5：不足・遅れなく、積極的に実施。／3：特段の支障なし。／1：支障あり。改善の余地あり。

その他気づき事項
 （良好事例）

- 地震により複数号機で異なる情報を共有する必要があったが、初動状況確認シートを活用することで、整理された情報提供が行われていた。
- COPの活用については、情報更新を手書きで加筆・修正することにより、タイムリーな情報共有が行われていた。
- 特重情報に関する資料は書画装置での共有は行わず、ERC備付資料に記載されているグリッド線を活用することで、口頭での説明が行われていた。 等

（気づき事項）

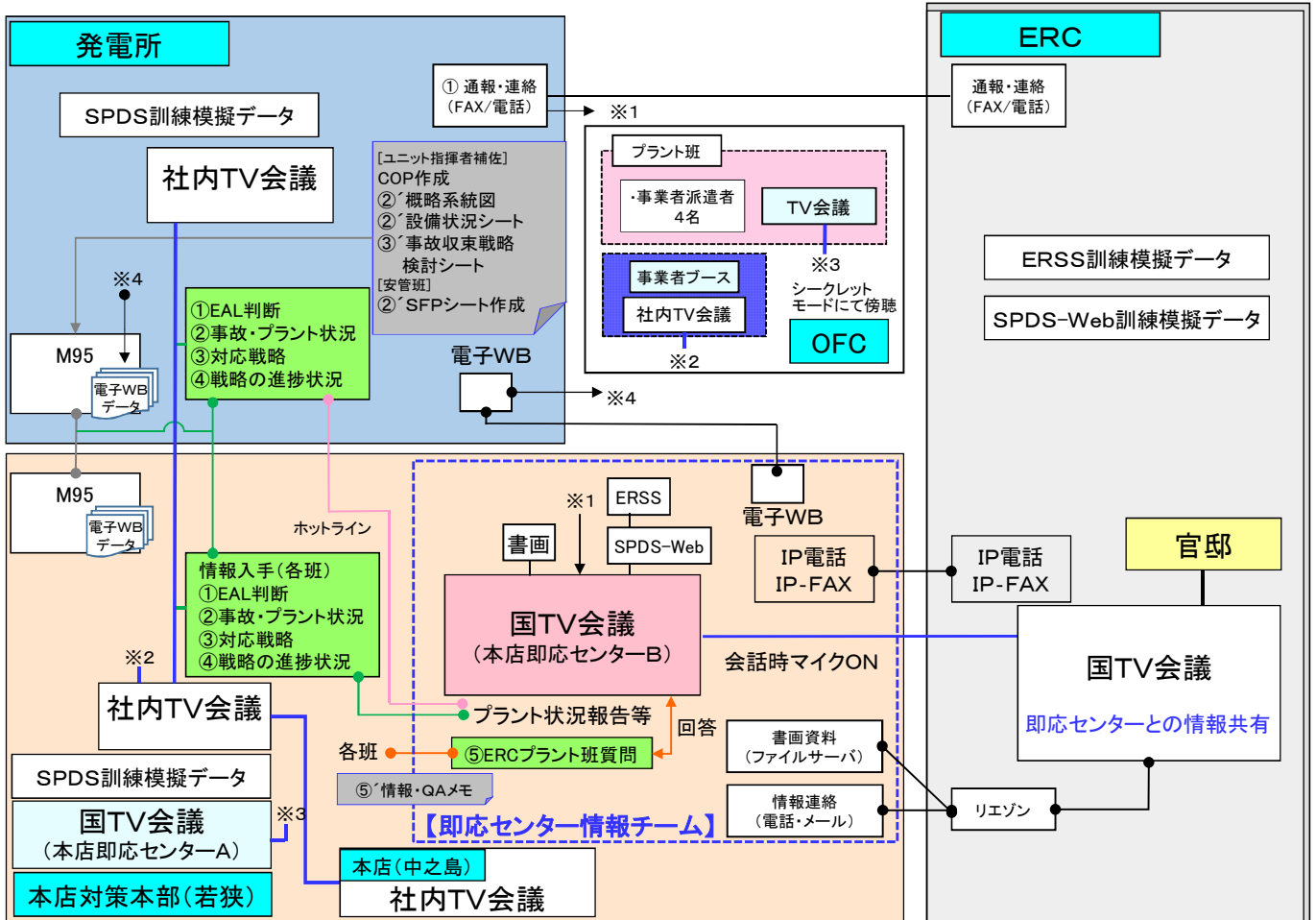
- 戦略、進展予測についてはタイムリーに説明頂けた。ただ、口頭での説明が多く（例えばSBO後の対応戦略等）COP2を有効に活用して説明頂ければ、より良いと思われる。
- プラント情報表示システムの使用については、模擬ERCからの問いかけに応じる対応となっていたため、積極的な活用があるとより良かった。
- （模擬）ERCの発言を尊重しすぎた部分があった。（模擬ERCが4号に関して発言中に1号機炉心損傷発生）「緊急」で発話に割込んでの情報提供があれば良かった。 等

<気づき事項への対応方針>

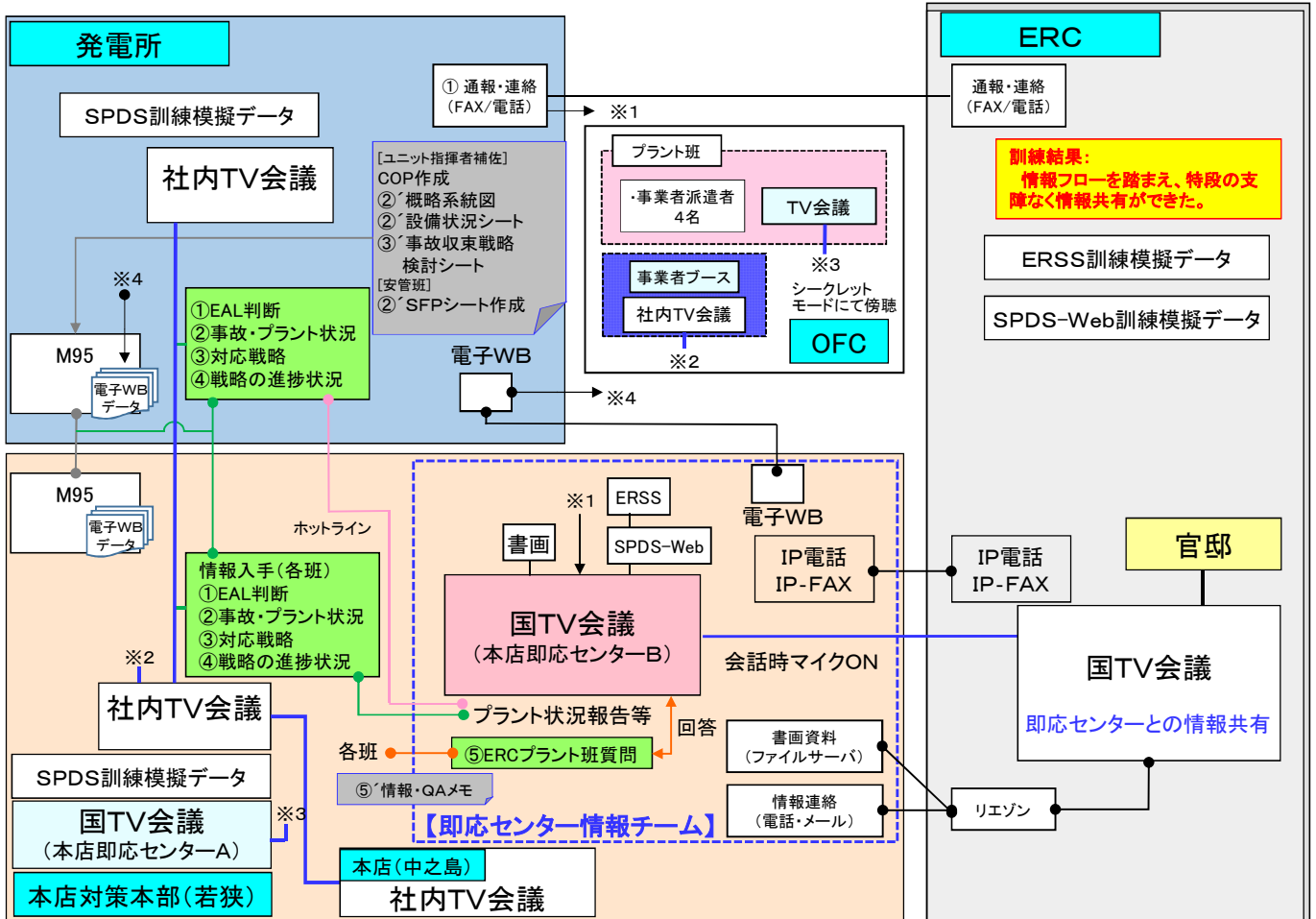
- 良好事例については、今後も維持できるよう教育を継続していく。
- 対応戦略については口頭での説明だけでなくCOP2や事故対応フロー図を活用した説明をするよう訓練プレーヤへ周知し、育成を行う。
- プラント情報表示システムの使用については、プラント状況に合わせた重点監視パラメータを適時共有するよう訓練プレーヤへ周知し、育成を行う。
- 「緊急」情報を提供する際は、重要度に応じてカットインを適用するよう訓練プレーヤへ周知し、育成を行う。

2022年度 高浜原子力防災訓練
情報フロー
(訓練後の説明)

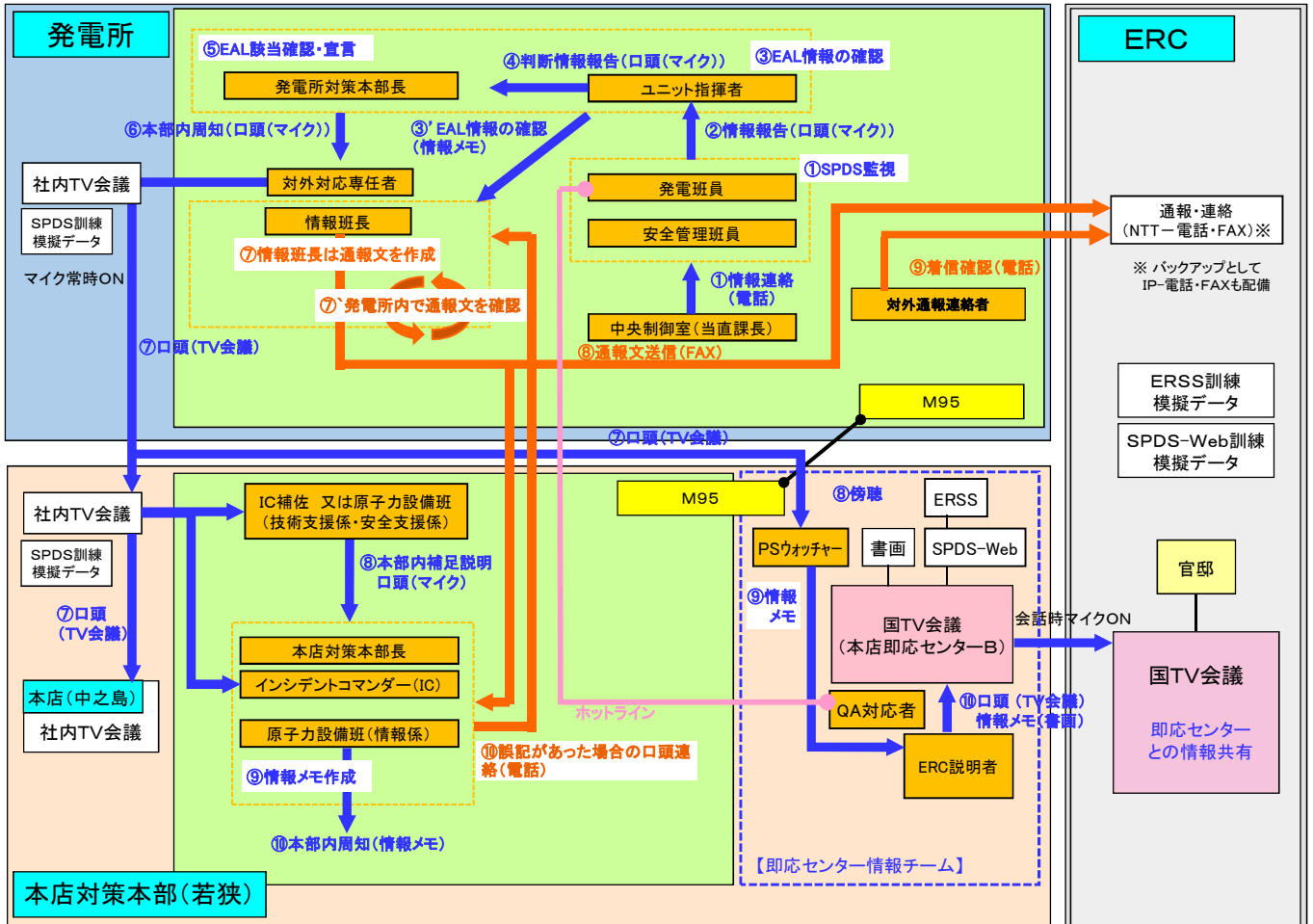
発電所⇔本店対策本部⇔ERC 情報共有方法 [訓練前説明]



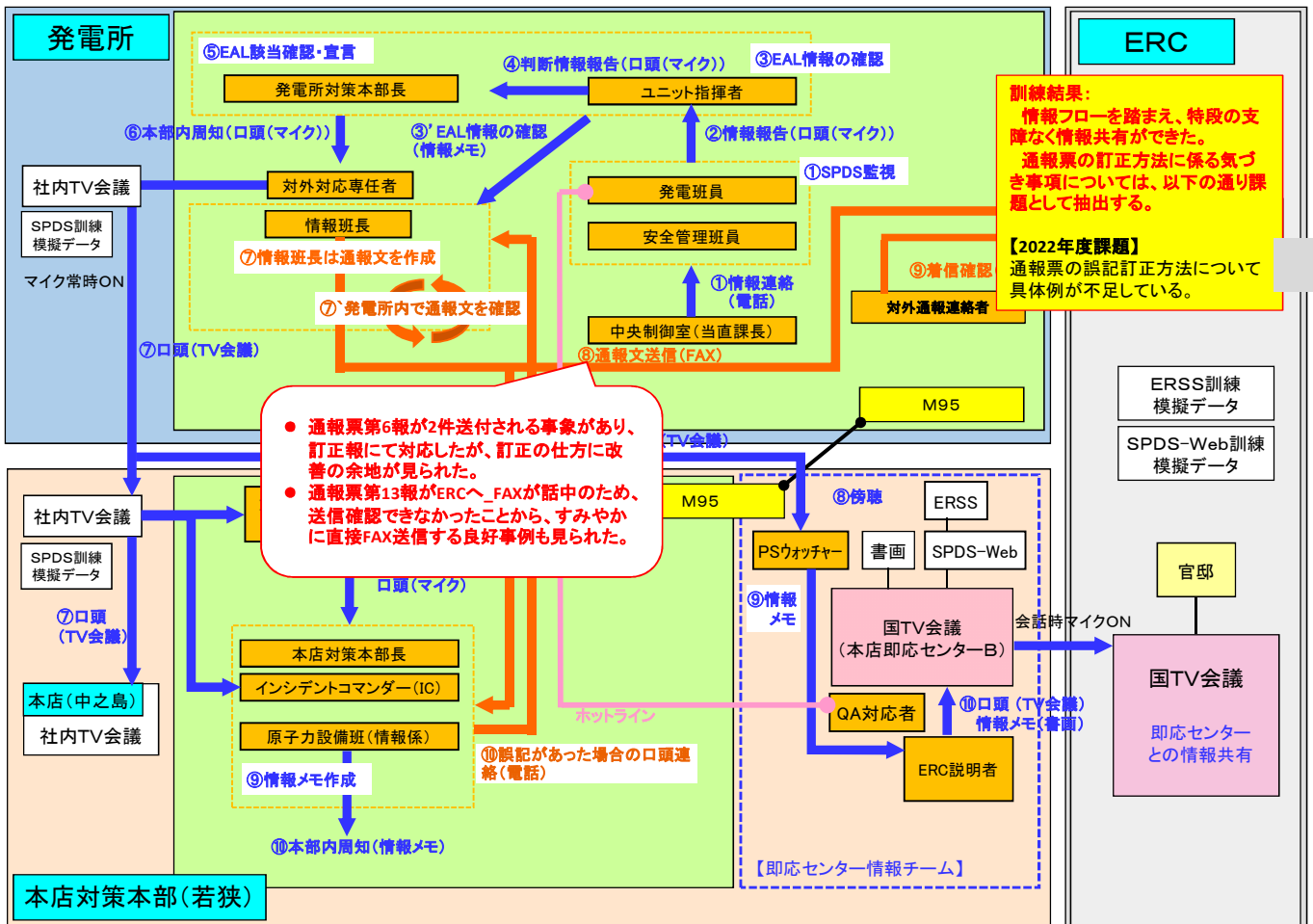
発電所⇔本店対策本部⇔ERC 情報共有方法 [訓練後説明]



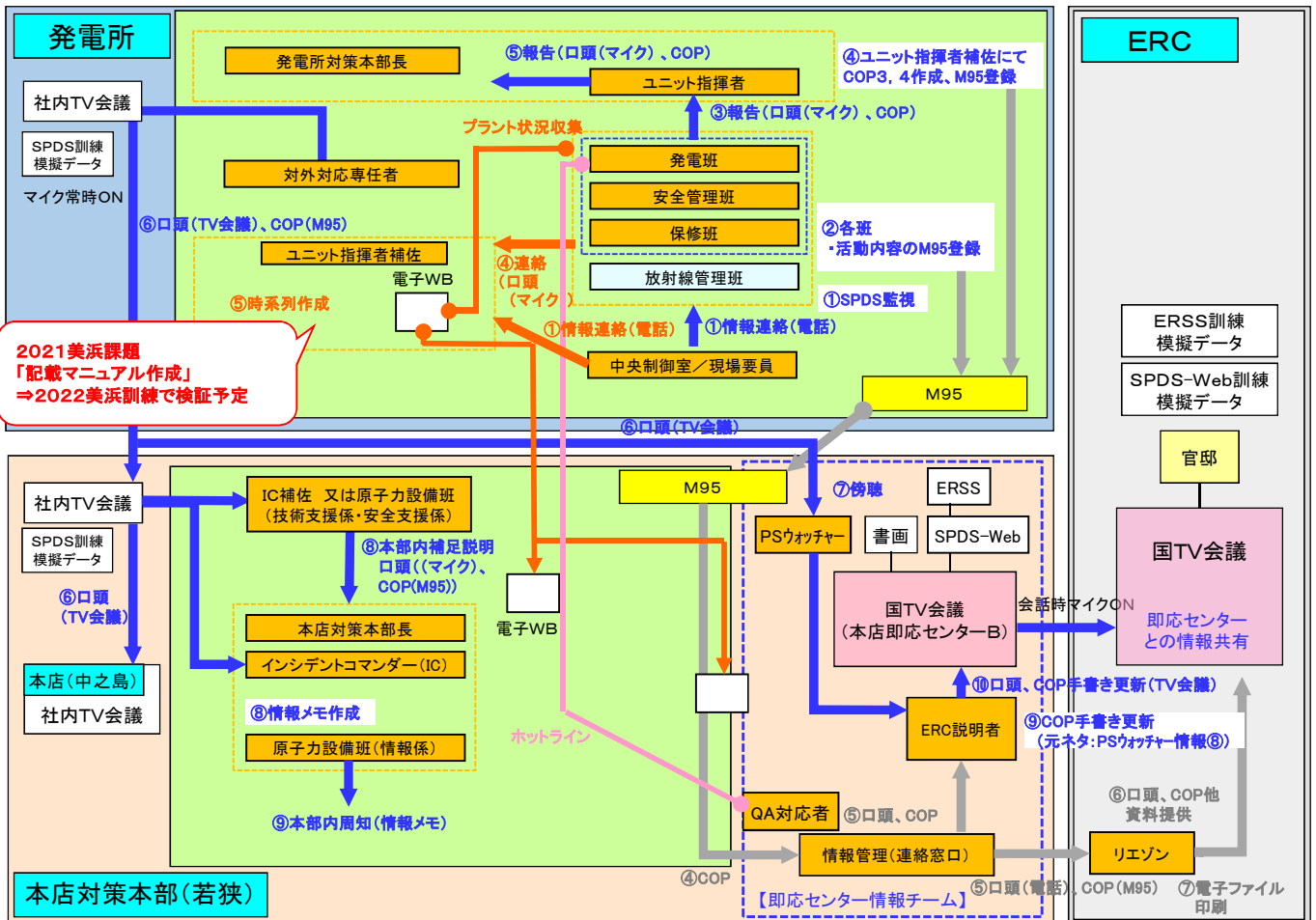
①EALに関する情報共有(EAL事象発生の際)〔訓練前説明〕



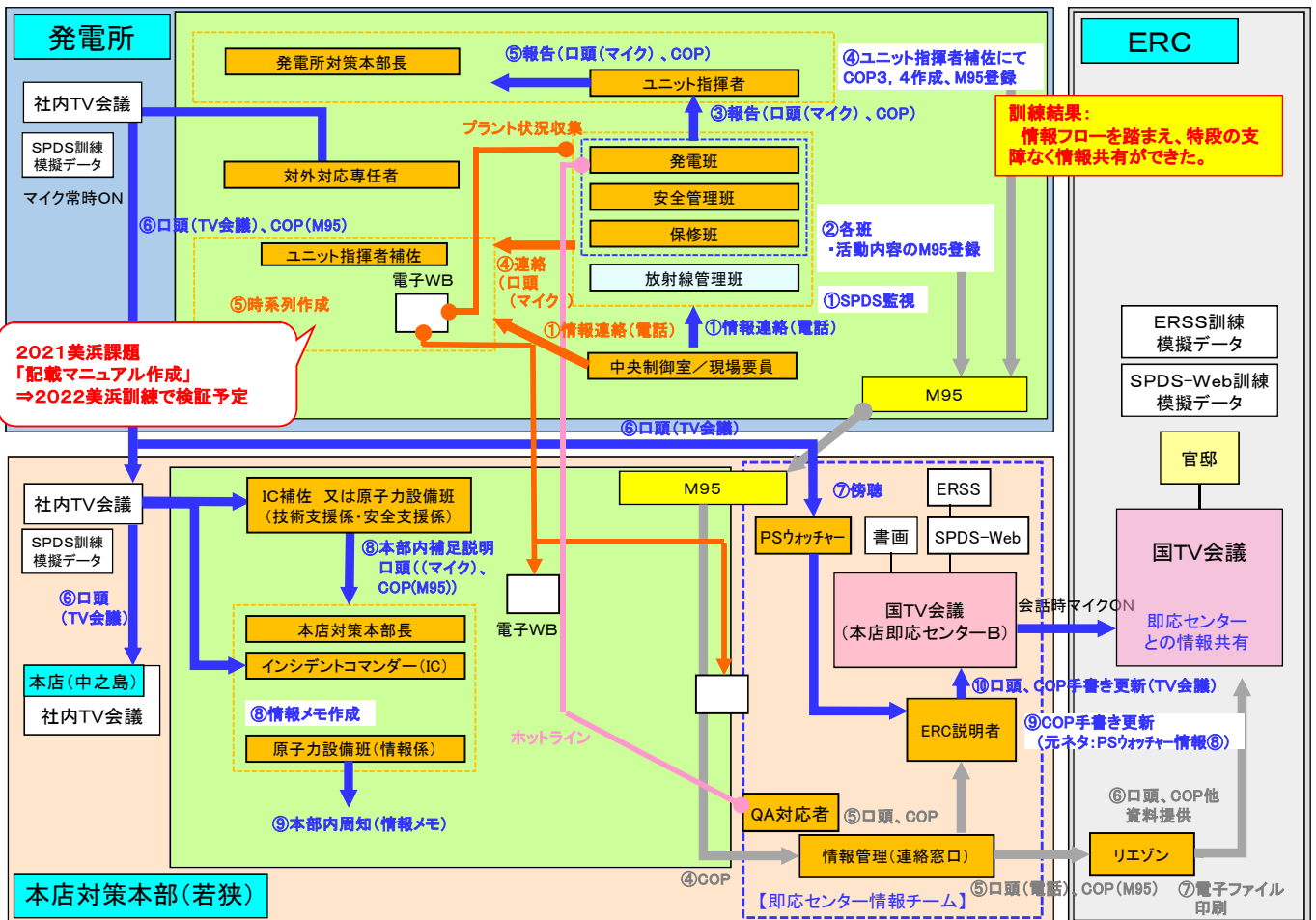
①EALに関する情報共有(EAL事象発生の際)〔訓練後説明〕



②事故・プラント状況に関する情報共有(プラント状況変化の都度)〔訓練前説明〕

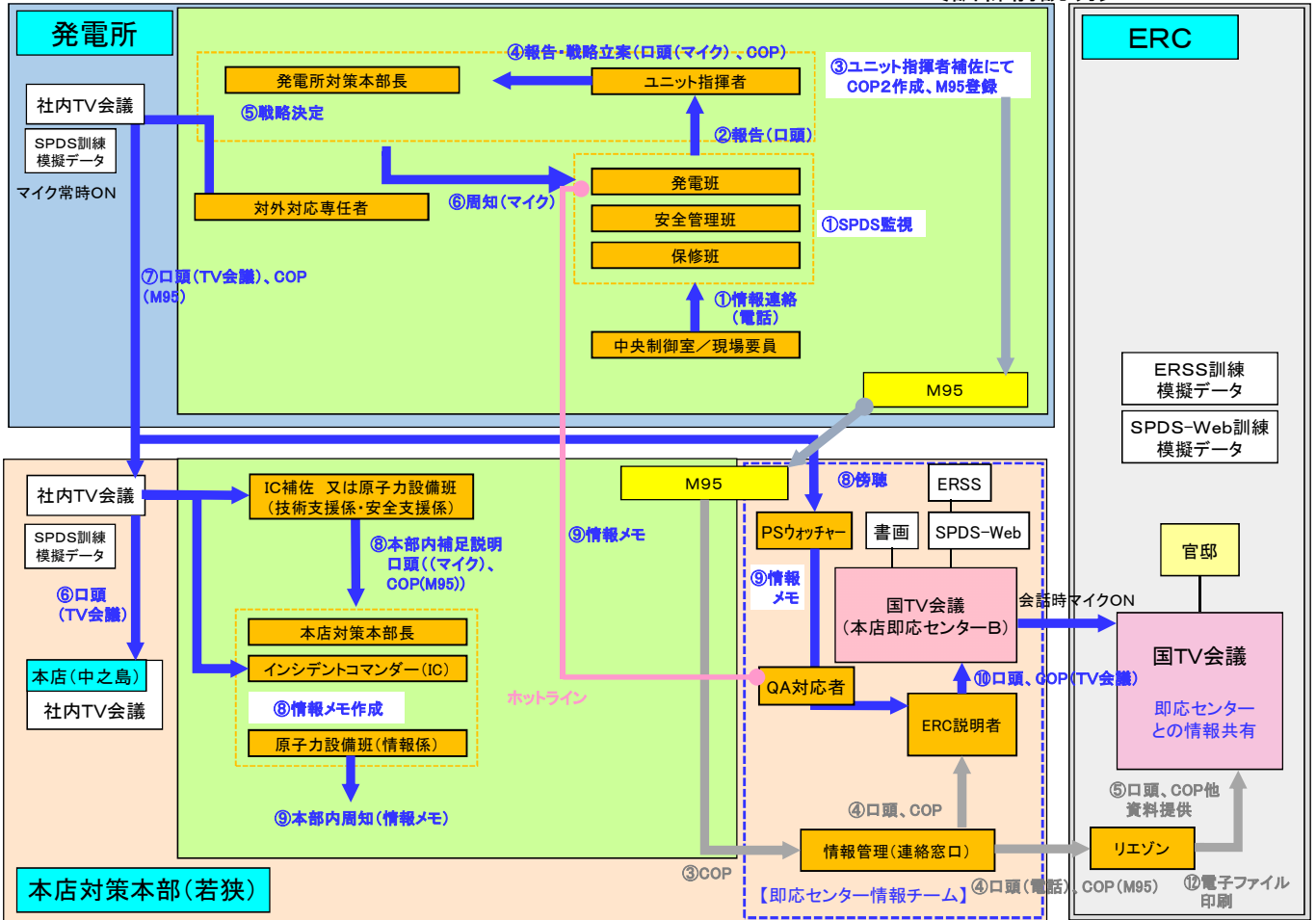


②事故・プラント状況に関する情報共有(プラント状況変化の都度)〔訓練後説明〕



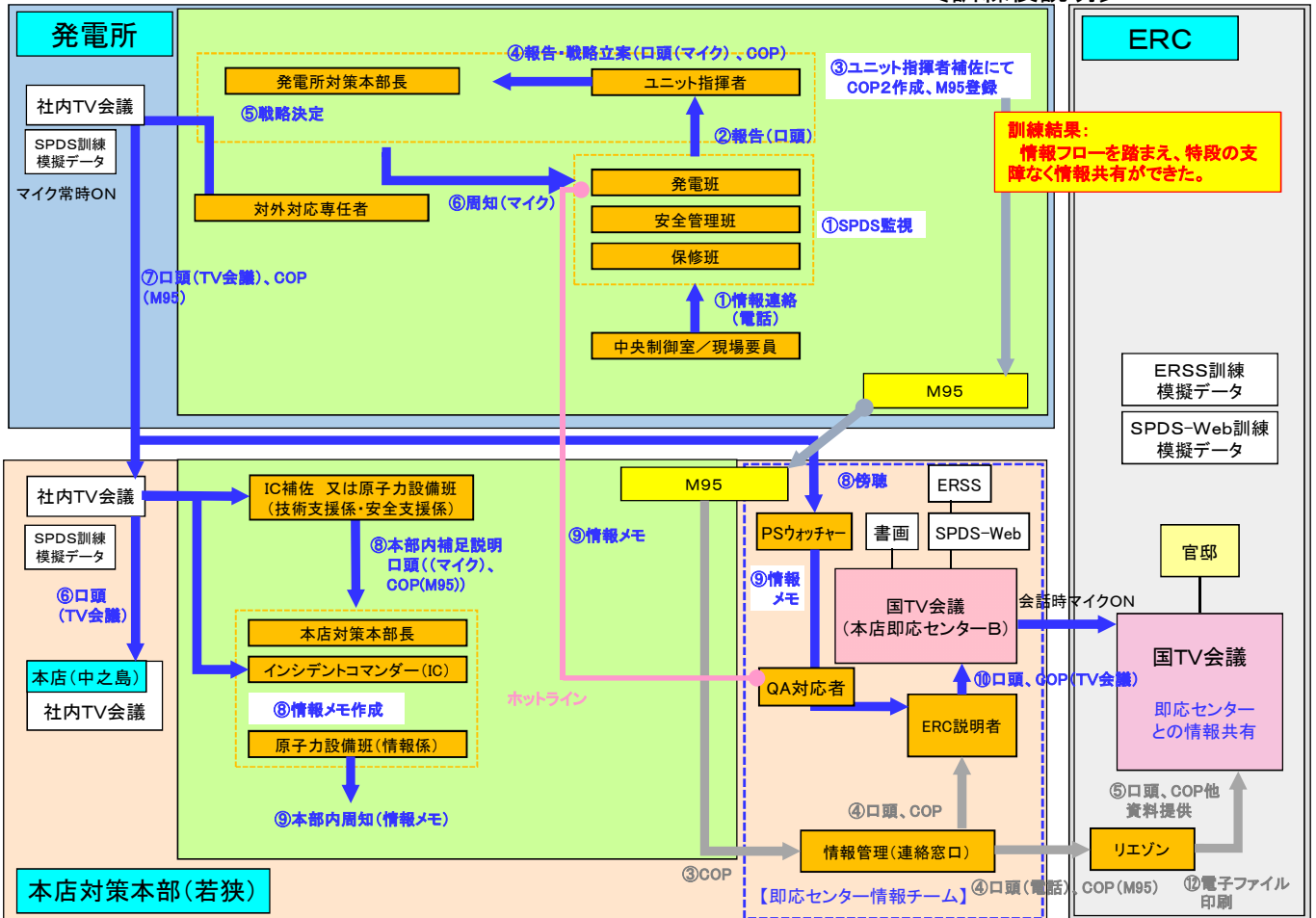
③事故収束対応戦略に関する情報共有(重大局面(10条、15条、炉心損傷等)の都度)

〔訓練前説明〕

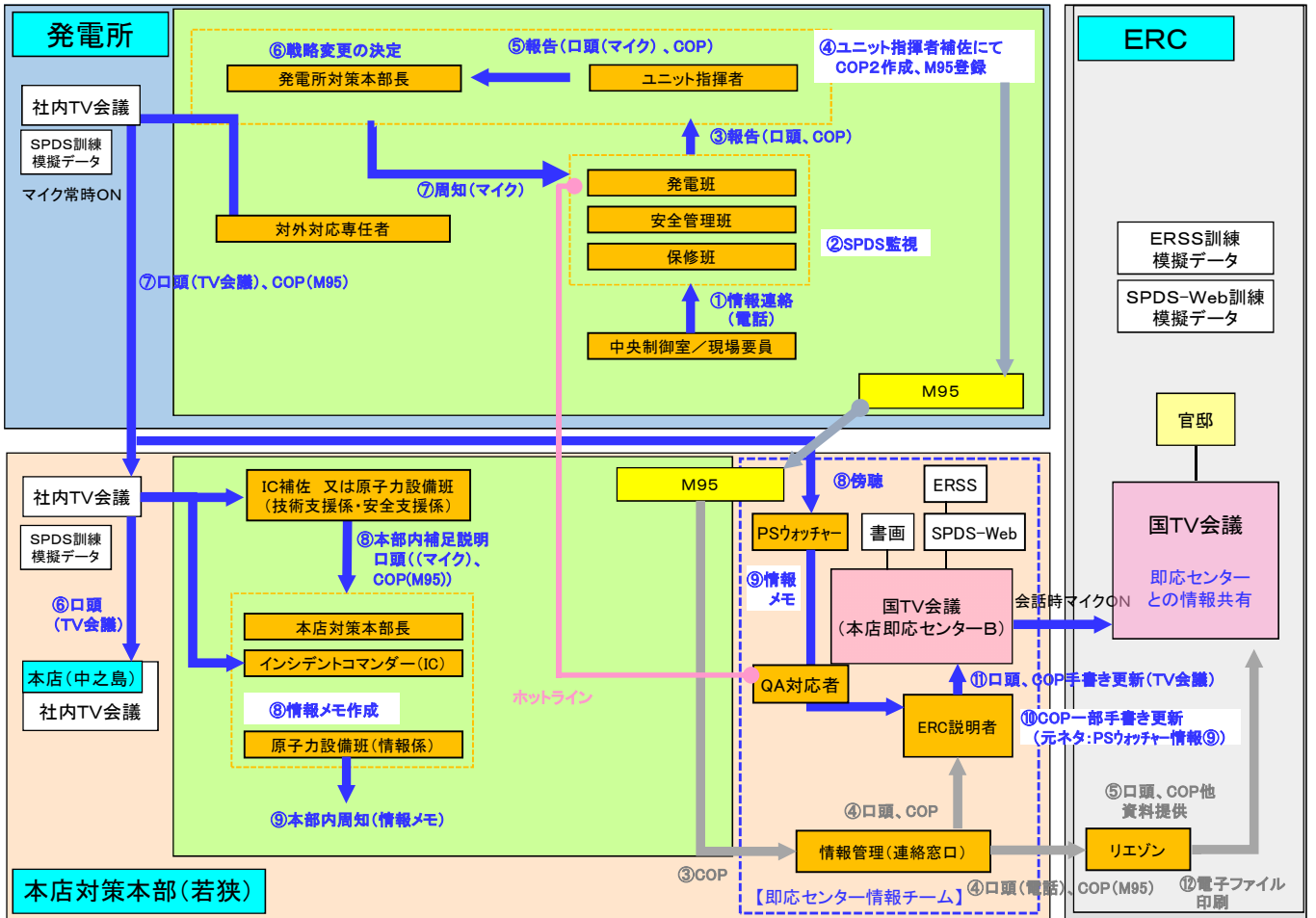


③事故収束対応戦略に関する情報共有(重大局面(10条、15条、炉心損傷等)の都度)

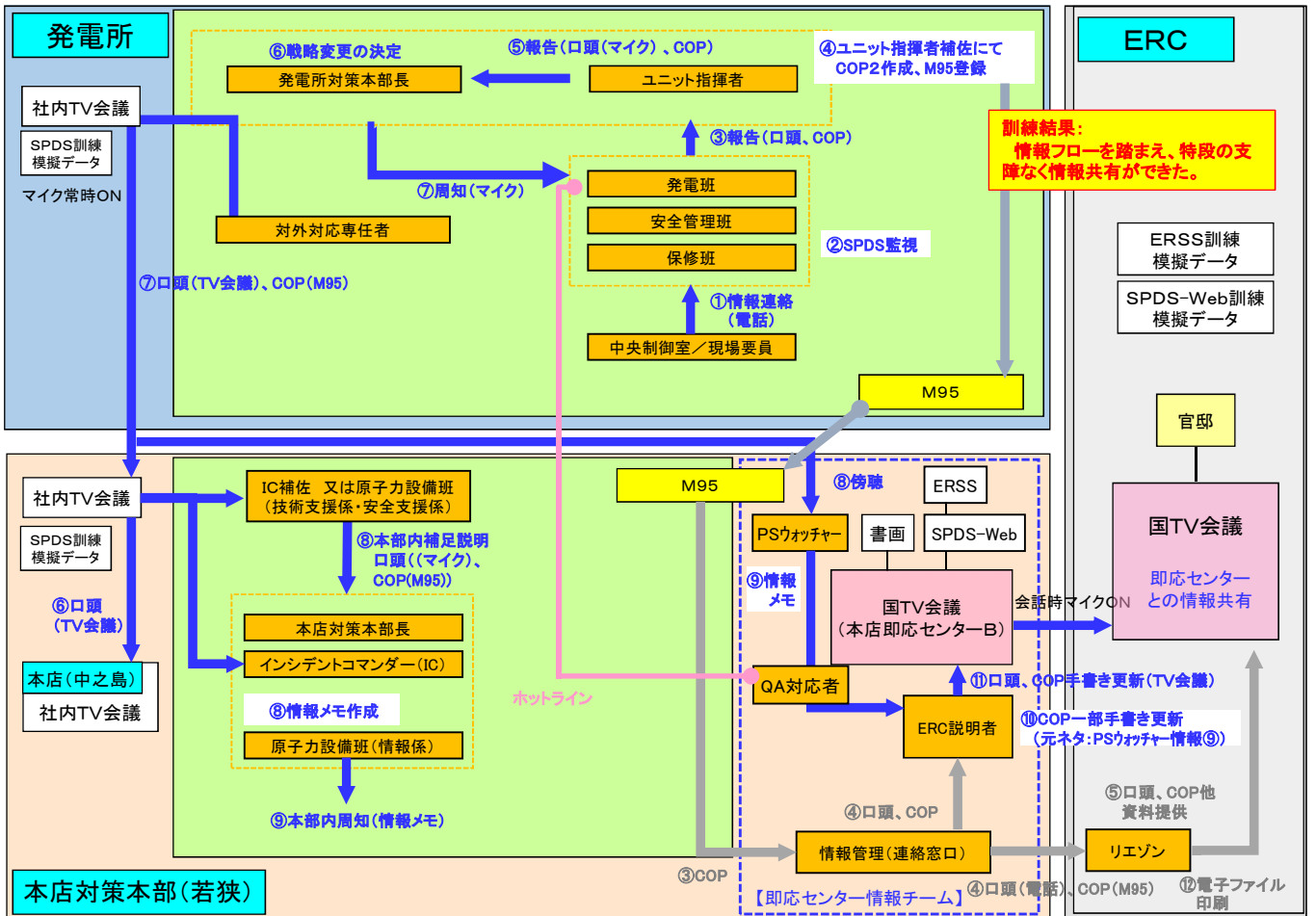
〔訓練後説明〕



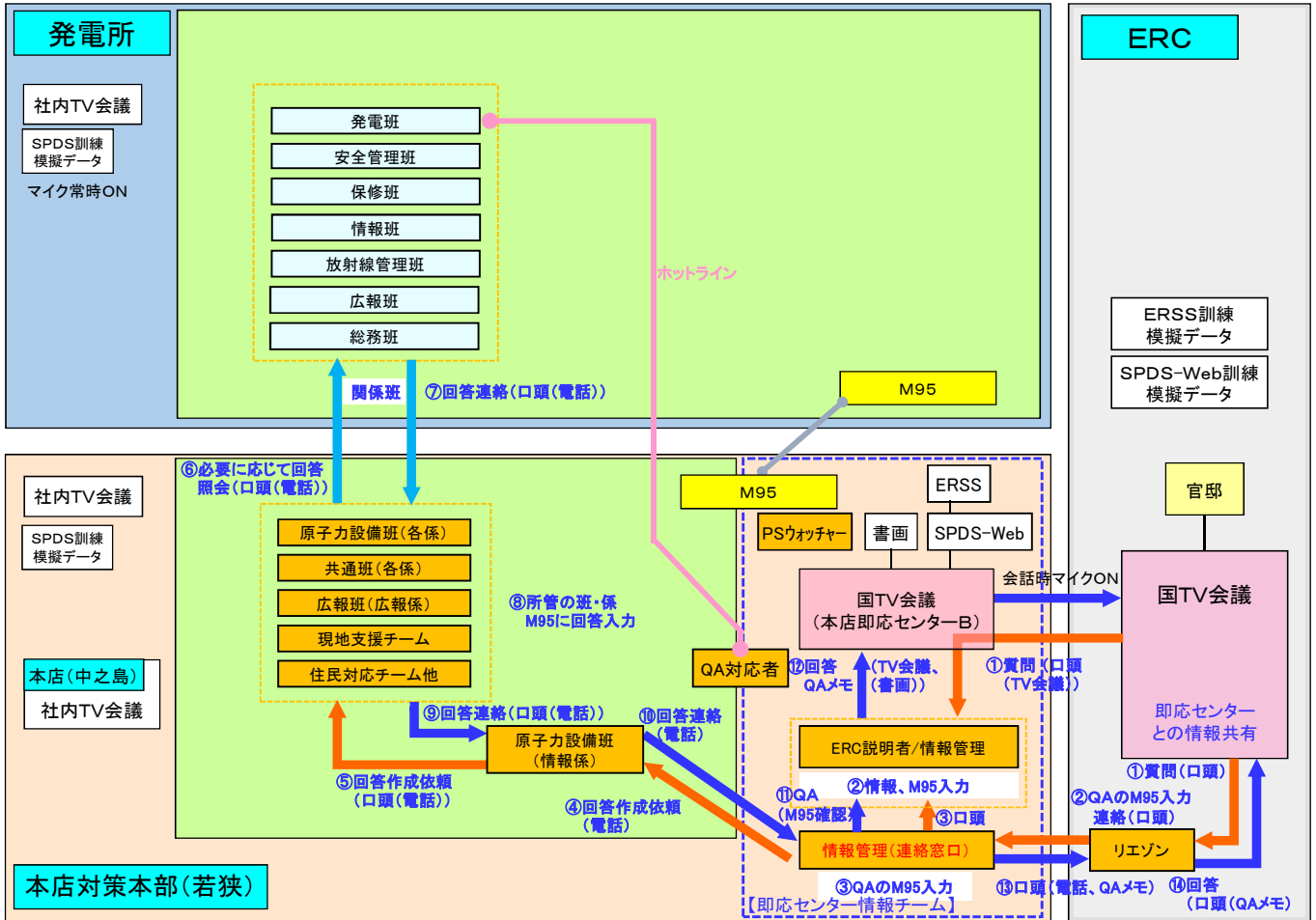
④戦略の進捗状況に関する情報共有(戦略変更時等の都度)〔訓練前説明〕



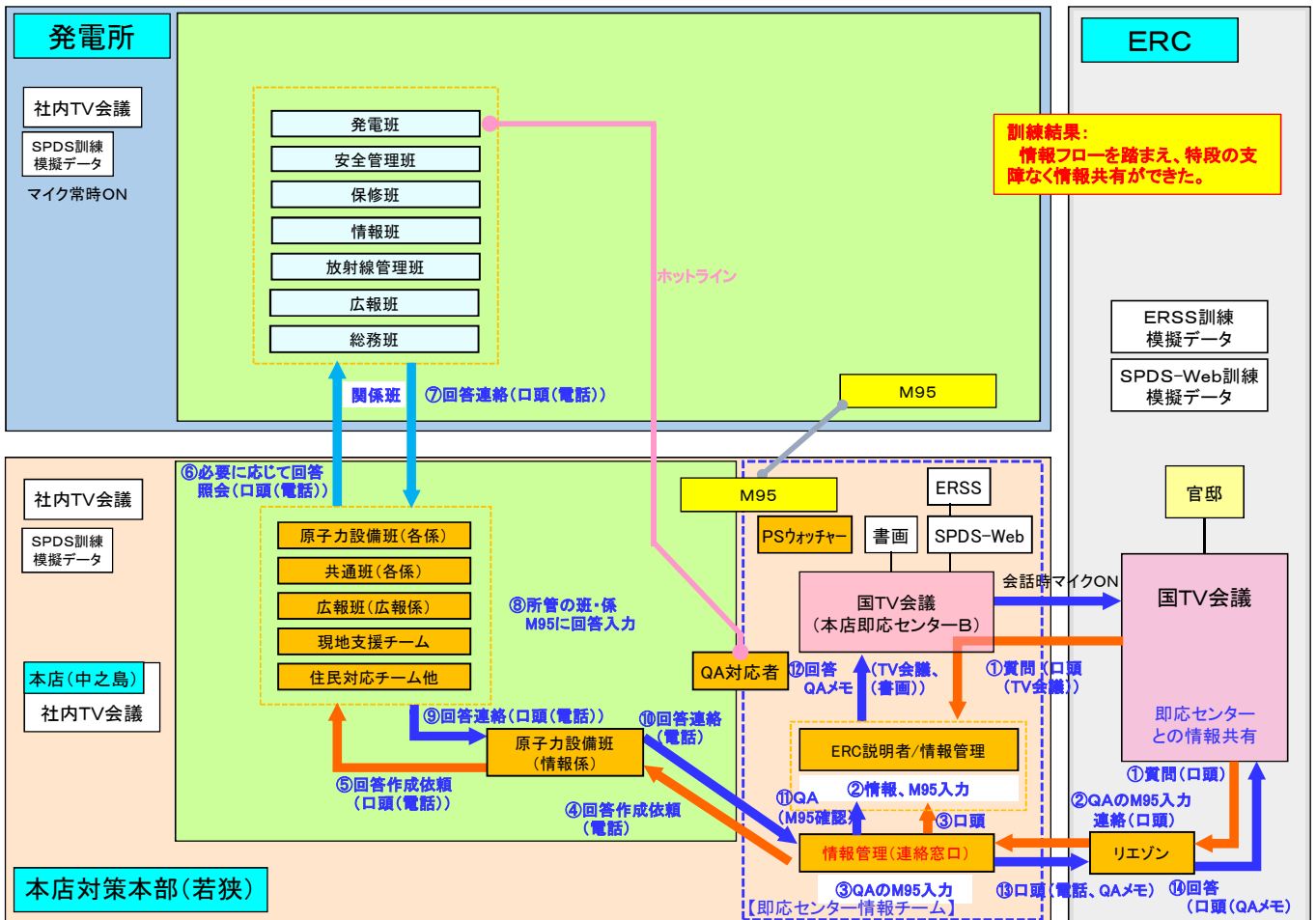
④戦略の進捗状況に関する情報共有(戦略変更時等の都度)〔訓練後説明〕



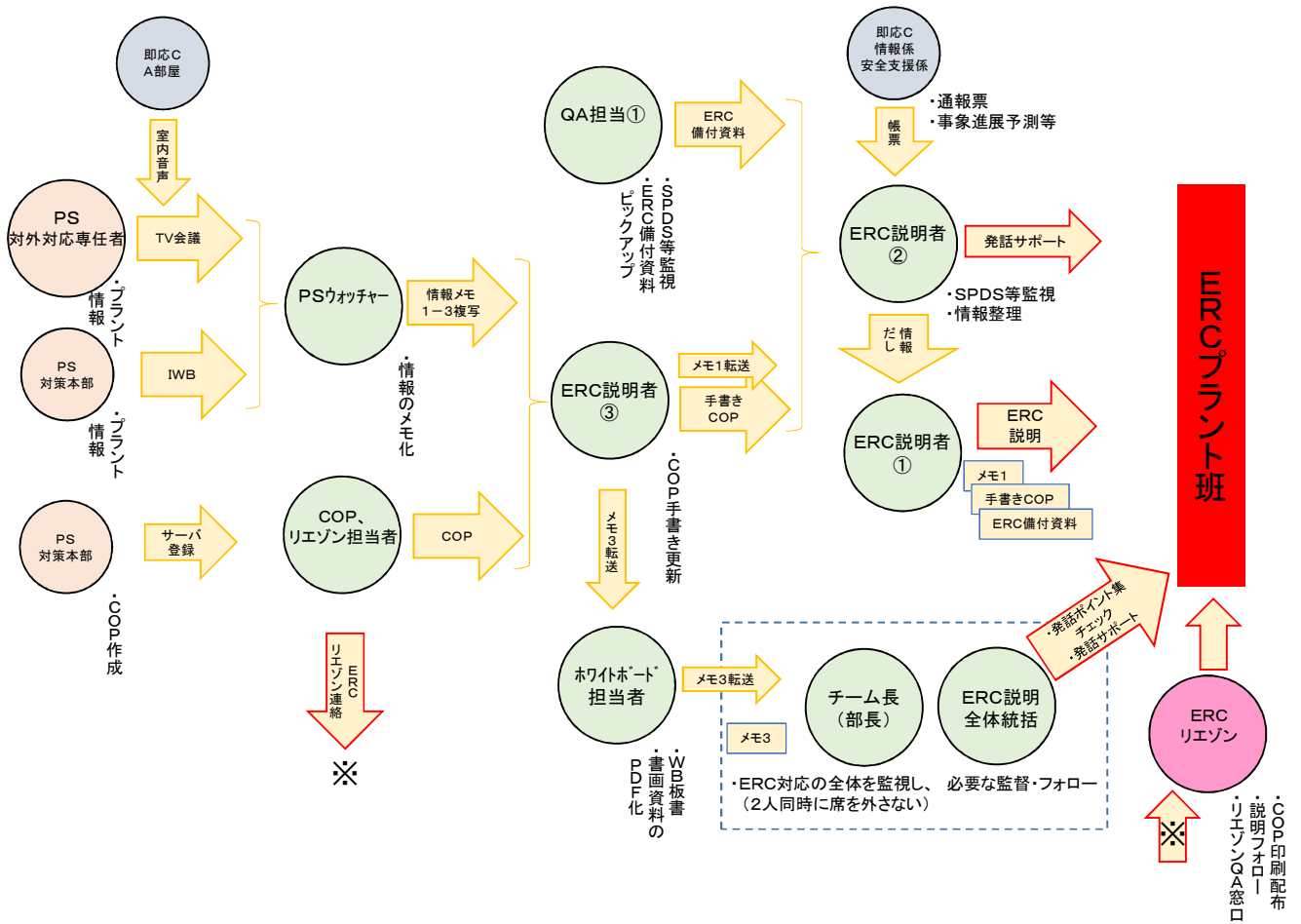
⑤ERCプラント班からの質問への回答(都度)〔訓練前説明〕



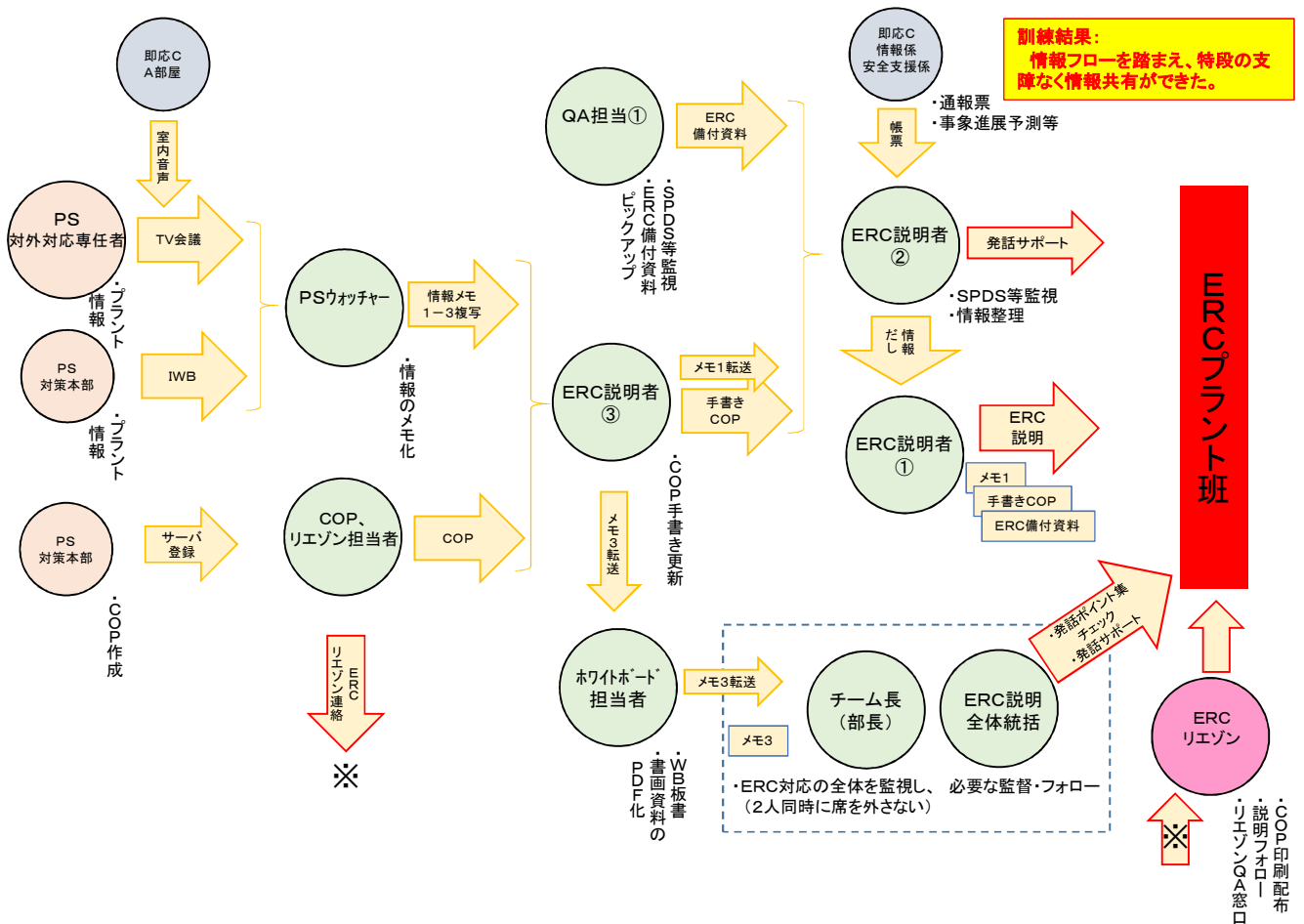
⑤ERCプラント班からの質問への回答(都度)〔訓練後説明〕



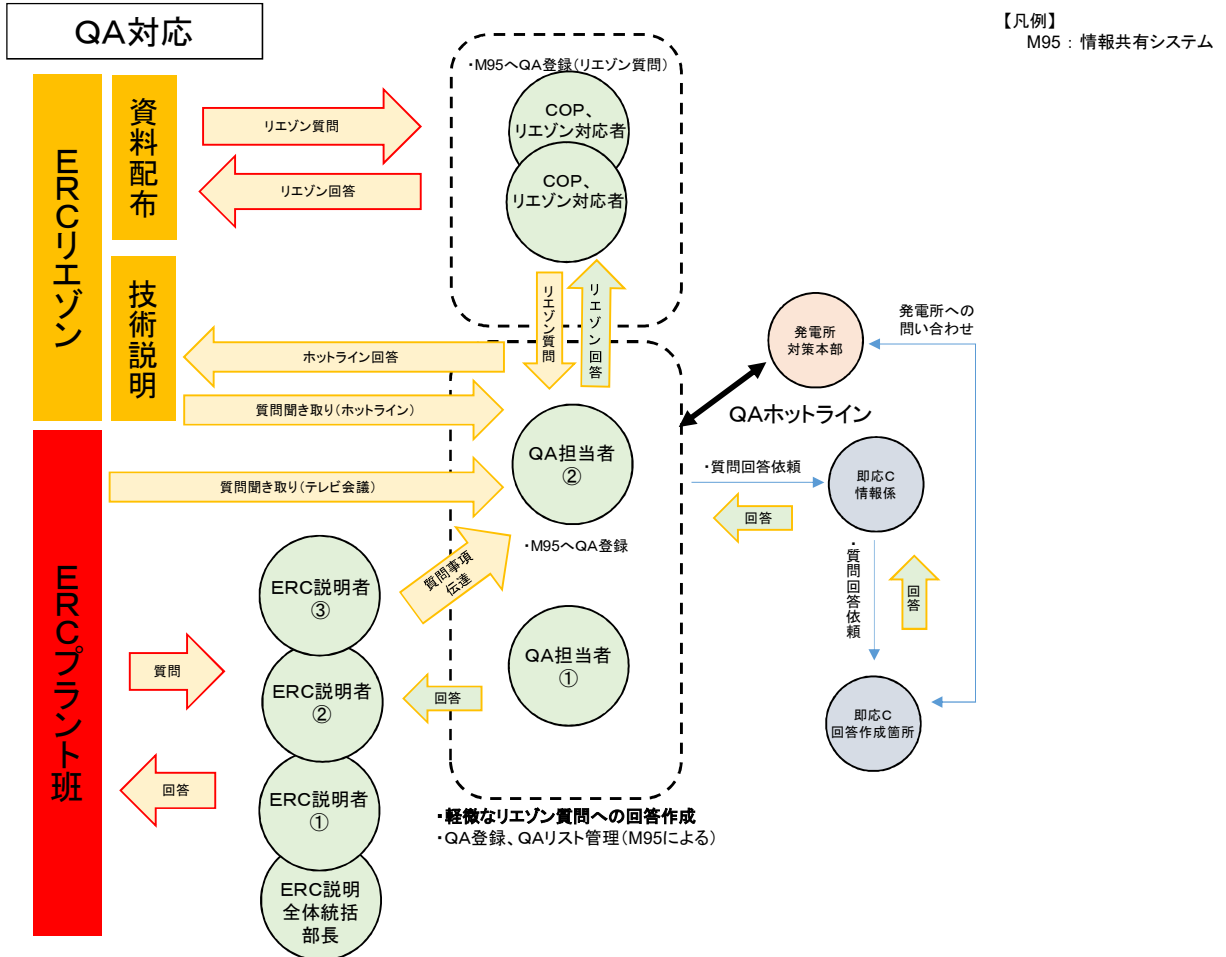
即応C情報チーム情報フロー【訓練前説明】



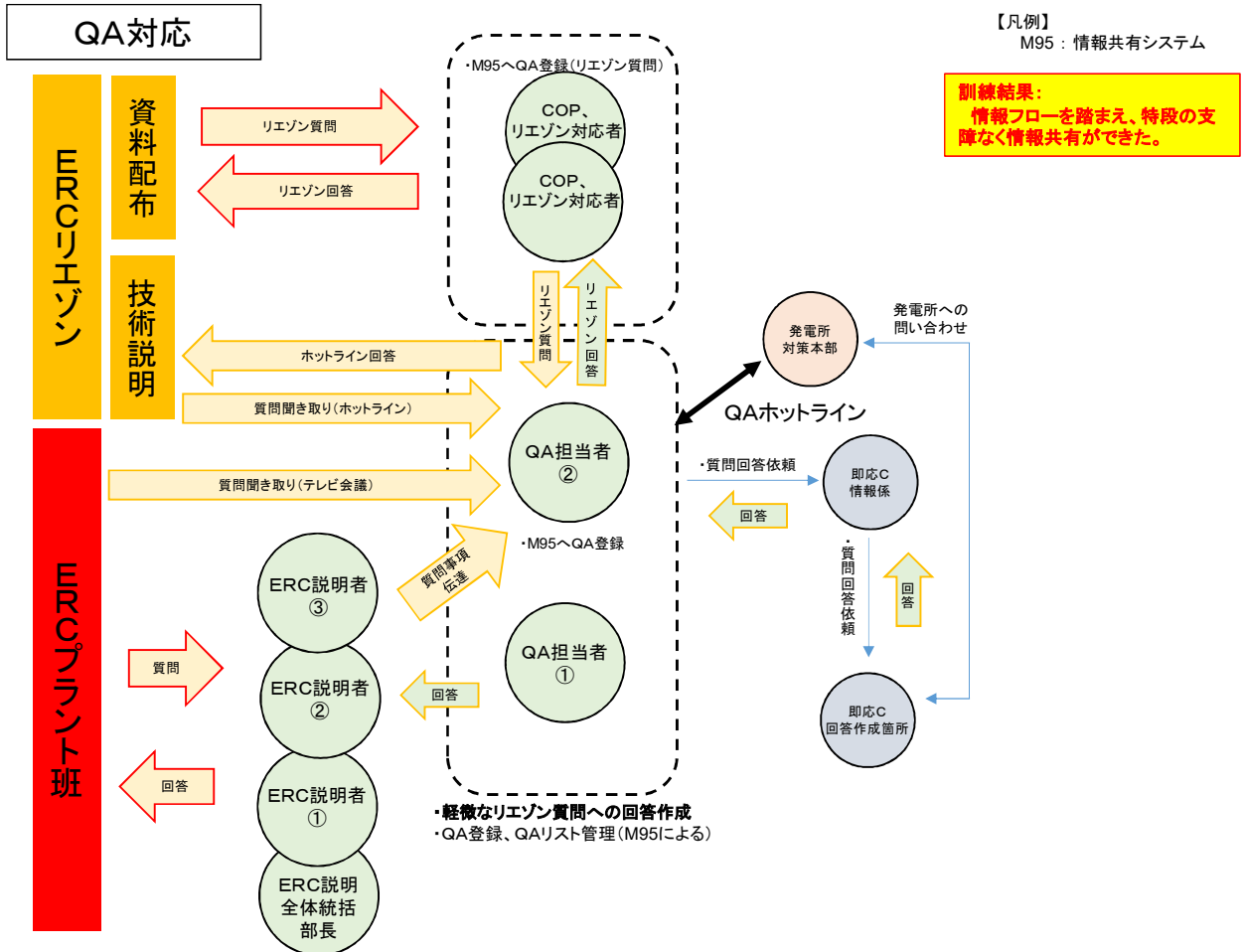
即応C情報チーム情報フロー【訓練後説明】



即応C情報チーム情報フロー【訓練前説明】

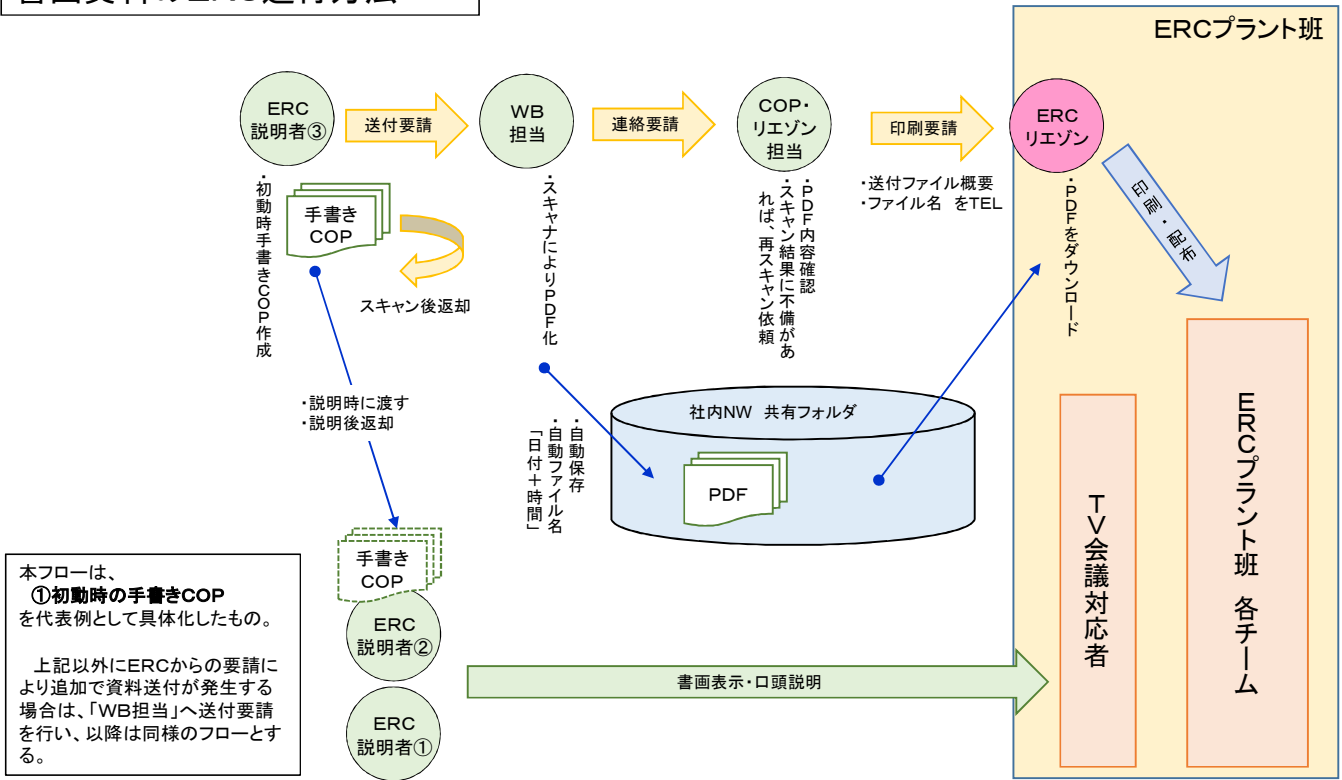


即応C情報チーム情報フロー【訓練後説明】



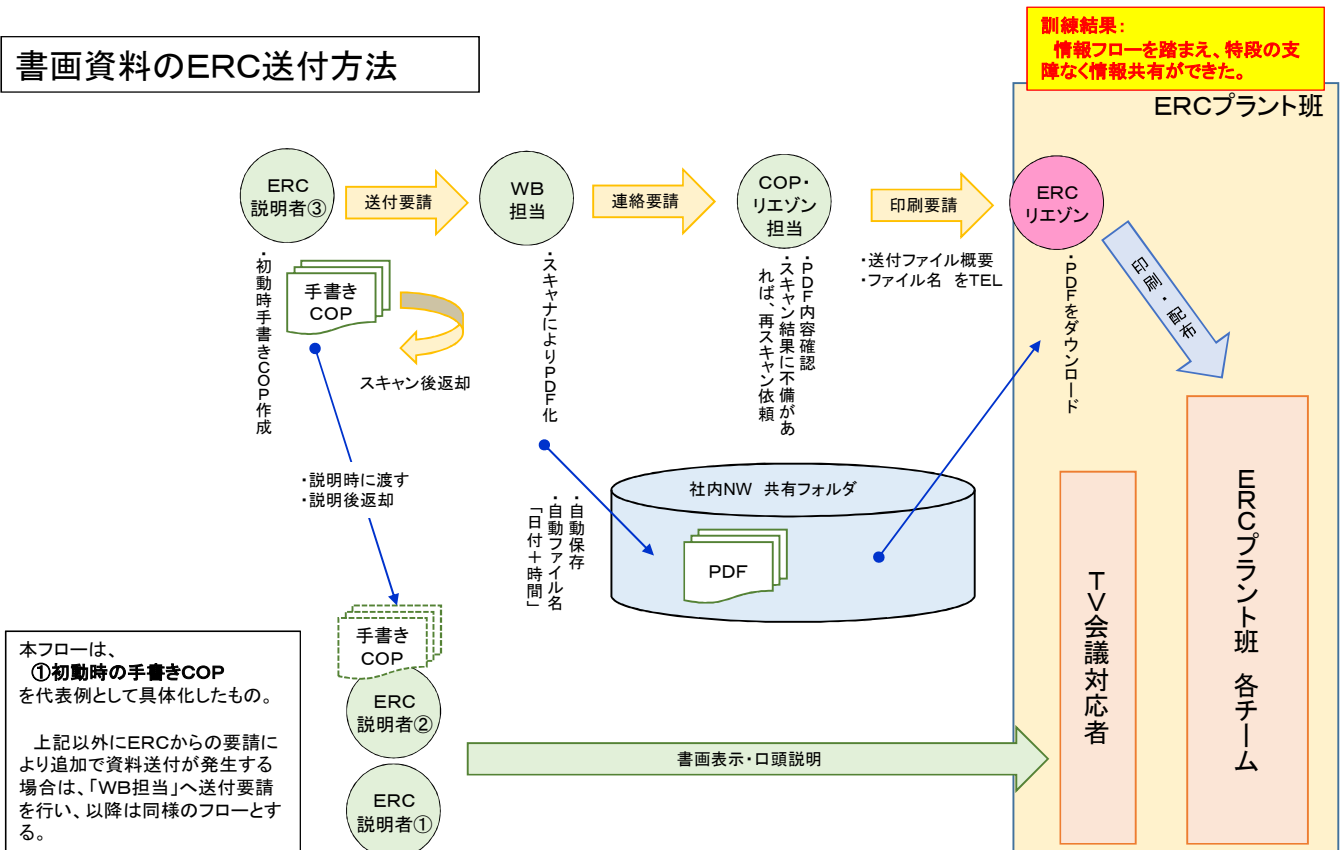
即応C情報チーム情報フロー【訓練前説明】

書画資料のERC送付方法



即応C情報チーム情報フロー【訓練後説明】

書画資料のERC送付方法



防災訓練主要シナリオと ERC 説明実績

1. (1) 高浜発電所 1, 2, 3, 4 号機 防災訓練主要シナリオと ERC 説明実績

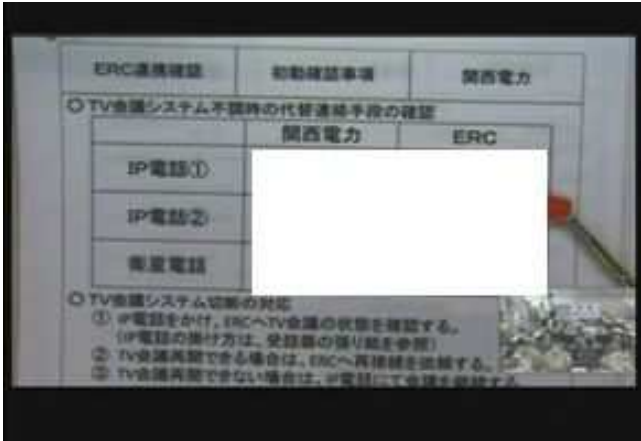

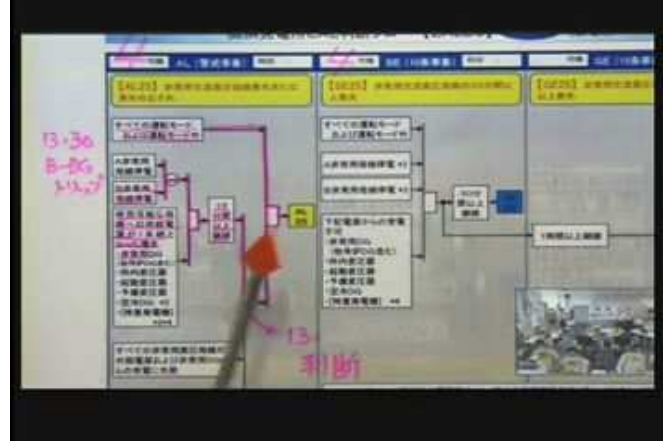


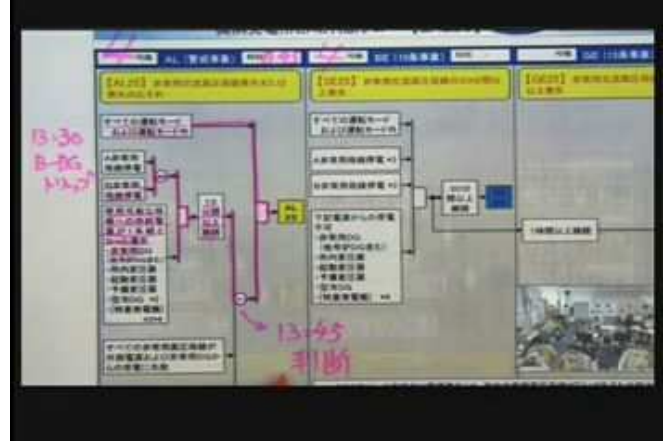
時刻	プラント事象 (高浜 1 号)	プラント事象 (高浜 2 号)	プラント事象 (高浜 3 号)	プラント事象 (高浜 4 号)	EAL	COP 発行	ERC 説明時の書画活用実績
事象発生前	定格熱出力一定運転中 特重施設運用中	定格熱出力一定運転中 特重施設運用中	定期検査中 特重施設運用中	定格熱出力一定運転中 特重施設運用中			
13:00	地震発生(高浜町:震度 5 弱)	地震発生(高浜町:震度 5 弱)	地震発生(高浜町:震度 5 弱) ・ A, B-SFP ポンプ停止	地震発生(高浜町:震度 5 弱)			
13:25			・ A, B-SFP ポンプ起動成功				
13:30	地震発生(高浜町:震度 6 弱) ・ 原子炉自動停止 (トリップ状態異常なし) ・ 外部電源喪失 ・ A, B-DG 起動成功 ・ T/DAFWP 起動 ・ 原子炉冷却材小漏えい発生	地震発生(高浜町:震度 6 弱) ・ 原子炉自動停止 (トリップ状態異常なし) ・ 外部電源喪失 ・ A, B-DG 起動成功 ・ T/DAFWP 起動 ・ B-M/DAFWP 故障停止	地震発生(高浜町:震度 6 弱) ・ 原子炉停止中 ・ 外部電源喪失 ・ A, B-DG 起動成功	地震発生(高浜町:震度 6 弱) ・ 原子炉自動停止 (トリップ状態異常なし) ・ 外部電源喪失 ・ A-DG 起動失敗 ・ B-DG 故障停止 ・ T/DAFWP 起動成功			13:40 TV 会議不調時の連絡先の共有 13:41 4u プラント状況説明 [ERSS] 13:43 4u AL 2 5 予告 [EAL 判断フロー] 13:45 2u プラント初動状況説明 13:47 1u プラント初動状況説明
13:35	・ ES 建屋の電源切り替え (常用から[特重発電機]) 完了	・ ES 建屋の電源切り替え (常用から[特重発電機]) 完了	・ ES 建屋の電源切り替え (常用から[特重発電機]) 完了	・ ES 建屋の電源切り替え (常用から[特重発電機]) 完了			
13:45					4u AL25		13:50 4u AL 2 5 [EAL 判断フロー]
13:50		・ A 主蒸気管破断発生 →安全注入信号発信 ECCS 作動				13:50 SFP①	13:51 3u プラント初動状況説明 13:52 美浜・大飯 他サイトの状況説明 [地震シート]
13:55		・ A-M/DAFWP 故障停止 ・ A-SG 隔離完了			2u AL24		13:53 2u プラント状況説明 [ERSS] 13:58 2u AL 2 4 [EAL 判断フロー]
13:59		・ 安全注入手動停止 (安全注入停止条件確立)					
14:00	余震(高浜町:震度 5 弱) ・ 4-1A(非常用高压母線)故障 4-1A 母線停電 ・ RCS 漏えい破断口拡大 →安全注入信号発信 ECCS 作動(B トレンのみ) ・ B-CH/SIP トリップ ・ C-CH/SIP 手動起動失敗	余震(高浜町:震度 5 弱)	余震(高浜町:震度 5 弱)	余震(高浜町:震度 5 弱)			14:10 1u プラント状況説明 [ERSS]
14:01					1u SE21 1u AL21 1u AL42		14:01 1u プラント状況説明 [ERSS] (SE 2 1、AL 2 1 説明) 14:12 1u AL 4 2 [EAL 判断フロー] 14:15 1u 事象進展解析結果説明 14:17 1u SBO 手順フローで電源戦略説明
14:10						14:10 1-4uCOP①	14:20 1u 戦略説明 [SBO フロー] 14:24 1u 今後の戦略説明 [COP2]
14:15					1u AL25		14:13 1u AL 2 5 予告 [EAL 判断フロー]
14:20					4u AL24		14:26 4u AL 2 4 [EAL 判断フロー]
14:25						14:25 4uCOP②	14:27 4u SBO 手順フローで今後の戦略説明 14:30 4u RCS 小漏えい発生 [ERSS] 14:34 2u T/D A F W P 油圧低 [COP3]

時刻	プラント事象 (高浜1号)	プラント事象 (高浜2号)	プラント事象 (高浜3号)	プラント事象 (高浜4号)	EAL	COP発行	ERC説明時の書画活用実績
14:35					1u GE21 1u AL24		14:36 1u SBO説明 [ERSS] 14:37 1u GE21, AL24 [EAL判断フロー] 14:44 1u 電源戦略説明 [COP2(手書き)]
14:36				・A, B空冷-DGから4-4A, B母線および代替所内電気設備変圧器への給電開始			
14:46				・恒設代替低圧注水Pの出口弁閉固着			14:47 4u SBO手順フローで戦略説明 14:50 4u LOCA進展説明 [ERSS]
14:50				・RCS漏えい破断口拡大		14:50 1uCOP②	
14:51		・T/DAFWP故障停止(全給水機能喪失)		・安全注入信号発信(ECCS主要機器起動不能)	4u GE21 4u SE21 4u AL21 4u AL42		14:56 2u 給水戦略説明 [COP3] 14:57 4u GE21, SE21, AL21 [EAL判断フロー] 14:58 4u AL42 [EAL判断フロー]
14:55	・2号機からの号機間電力融通に係る設備故障 →2号機からの電源融通実施不可						14:59 1u 炉心損傷予測 [事象進展予測シート]
14:56	・A, B空冷DGから4-1B母線および代替所内電気設備変圧器への給電開始						
15:00						15:00 2uCOP②, 4uCOP③ 15:00 SFP②	
15:01	恒設代替低圧注水P起動操作と同時にA, B空冷-DGトリップ						15:00 1u 電源状況説明 [COP2]
15:02	・特重代替炉心注水ラインが故障(特重設備を用いた代替炉心注水不可) ・[特重母線]と安全系母線を結ぶしゃ断器故障			・[特重代替注水ポンプ]準備完了→注水開始			15:06 1u プラント状況説明 [ERSS]
15:03					1u SE42		15:08 1u SE42 [EAL判断フロー]
15:10						15:10 1uCOP③	15:11 1u 今後の電源戦略説明 [COP2] 15:15 1u 電源戦略説明 [COP4]
15:15	・No.2モニタポストの放射線量が5μSv/h超過				1-4u SE01		15:18 1-4u MP・MSの数値上昇 [ERSS]
15:16	・No.2モニタポストおよびモニタステーションの放射線量が5μSv/h超過				1-4u GE01		15:19 1-4u SE01, GE01 [EAL判断フロー]
15:20						15:20 3uCOP②,	

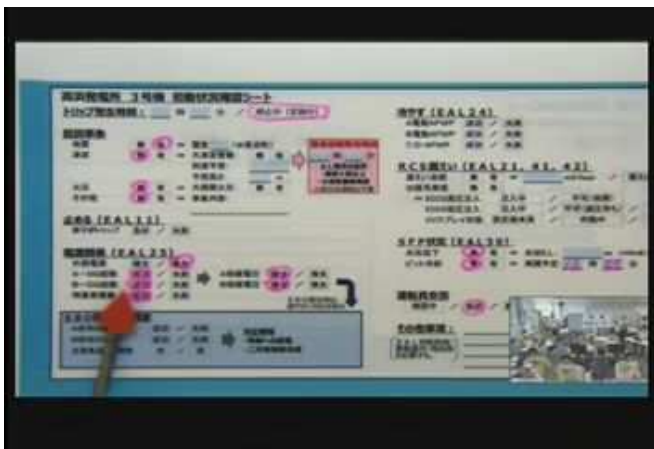
時刻	プラント事象 (高浜1号)	プラント事象 (高浜2号)	プラント事象 (高浜3号)	プラント事象 (高浜4号)	EAL	COP 発行	ERC 説明時の書画活用実績
15:21	・ 炉心損傷判断				1u GE28		15:22 1u G E 2 8 [EAL 判断フロー] 15:23 1u 炉心損傷後手順フロー説明
15:25	・ B 空冷 DG 復旧完了→起動 →4-1B 母線および代替所内 電気設備変圧器への給電開始 ・ 原子炉下部キャビティ注水 P による原子炉下部キャビティ 注水開始						15:27 4u プラント状況説明 [ERSS] 15:28 4u 今後の戦略説明 [COP2] 15:31 1u プラント状況説明 [ERSS] 15:33 1u 電源戦略説明 [COP2] 15:38 1-4u MP・MS の状況説明 [ERSS]
15:30						15:30 1uCOP④	
15:36	・ [特重代替スプレイポンプ] による代替 CV スプレイ開始						
15:40		・ 全 SG 狭域水位 0%未満			2u SE24		15:43 2u S E 2 4 [EAL 判断フロー]
15:45		・ SG 補給用仮設中圧 P 準備完了 (待機)		・ B-CH/SIP(自己冷)準備完了			15:45 2u 炉心水位状況説明 [ERSS] 15:46 2u 今後の戦略説明 [COP2]
15:50						15:50 4uCOP④	15:50 1u プラント状況説明 [ERSS] 15:50 1u 外部電源の状況 [手書きメモ] 15:54 1u プラント状況おさらい [COP2] 15:57 4u プラント状況おさらい [COP2] 16:00 2u プラント状況おさらい [COP2]
16:00						16:00 2uCOP③, 3uCOP③ 16:00 SFP③	16:07 1u プラント状況説明 [ERSS] 16:11 1-4u モニタポスト状況説明 [ERSS]
16:05	・ C-CH/SIP(自己冷)準備完了 →C-CH/SIP(自己冷)による代 替炉心注水開始						16:16 1u プラント状況説明 [ERSS] 16:18 1u 炉心損傷後手順フロー説明
16:15						16:15 1uCOP⑤	16:20 4u プラント状況説明 [COP2] 16:24 1u 電源戦略説明 [COP2]
16:30		・ 外部電源喪失 3 時間継続	・ 外部電源喪失 3 時間継続	・ B-CH/SIP(自己冷)起動	2u AL25 3u AL25		16:14 2u, 3u A L 2 5 予告 [EAL 判断フロー]
16:38	訓練終了						

1. (2) ERC 説明における書画面の活用状況 (高浜発電所)

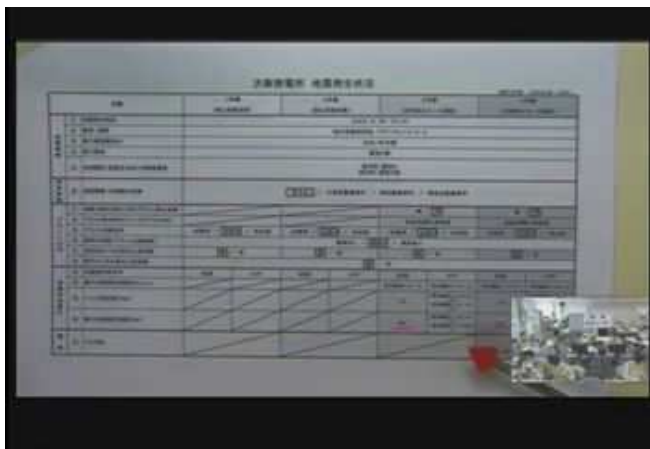
注: 時間は参考値 (訓練ビデオの画面抽出時間)

<p>13:40 TV会議不調時の連絡先の共有</p>	<p>13:41 高浜4号 プラント状況説明 [ERSS]</p>	<p>13:43 高浜4号 AL25予告 [EAL判断フロー]</p>
		
<p>13:45 高浜2号 プラント初動状況説明</p>	<p>13:47 高浜1号 プラント初動状況説明</p>	<p>13:50 高浜4号 AL25 [EAL判断フロー]</p>
		

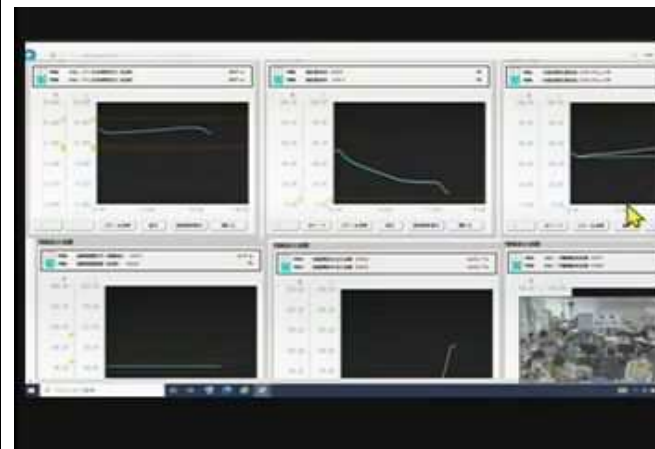
13:51 高浜3号 プラント初動状況説明



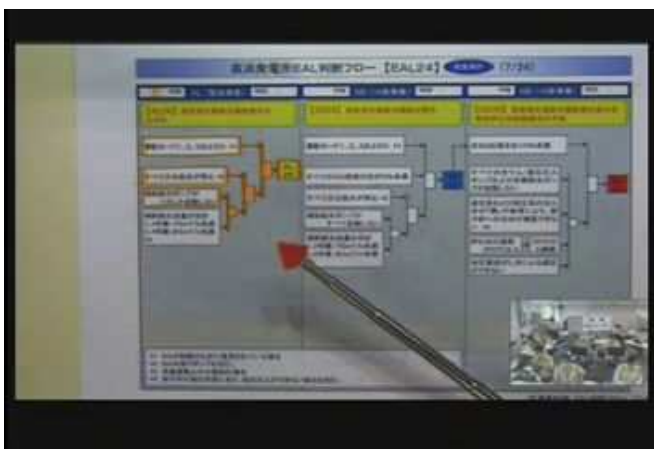
13:52 美浜・大飯 他サイトの状況説明 [地震シート]



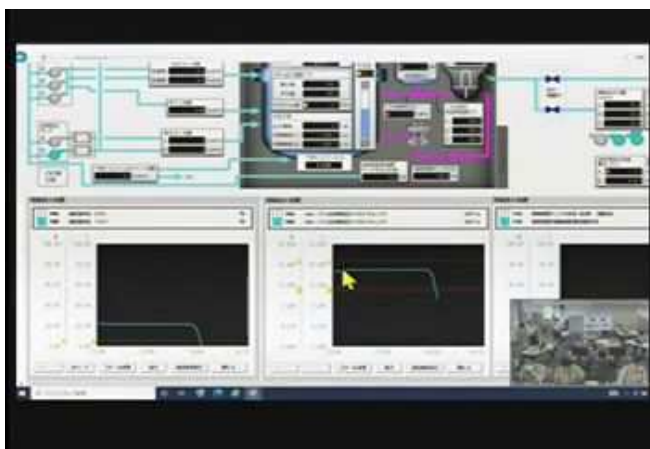
13:53 高浜2号 プラント状況説明 [ERSS]



13:58 高浜2号 AL2.4 [EAL判断フロー]



14:01 高浜1号 プラント状況説明 [ERSS]
(SE2.1, AL2.1説明)



14:10 高浜1号 プラント状況説明 [ERSS]



14:12 高浜1号 AL42 [EAL判断フロー]

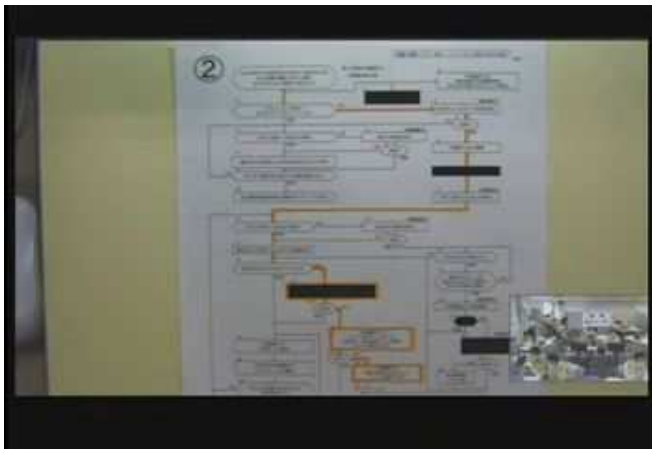


14:13 高浜1号 AL25予告 [EAL判断フロー]

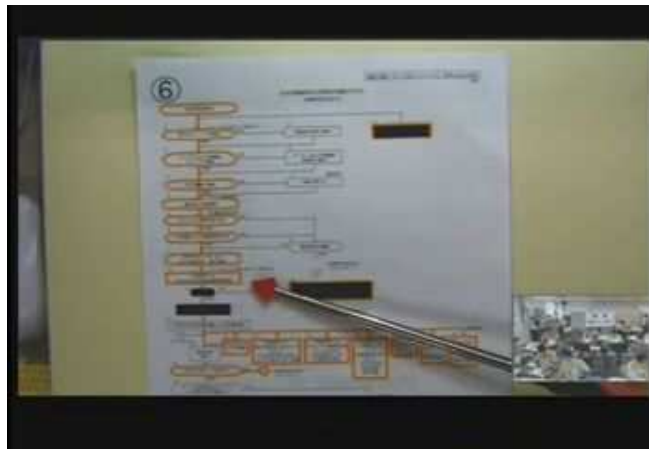


14:15 高浜1号 事象進展解析結果説明

14:17 高浜1号 SBO手順フローで電源戦略説明

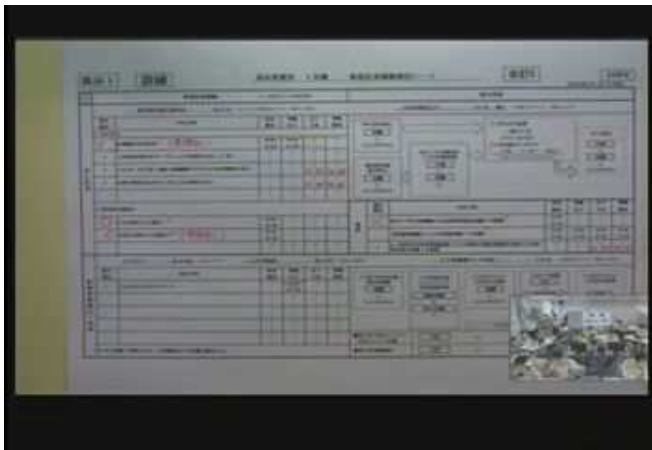


14:20 高浜1号 戦略説明 [SBOフロー]

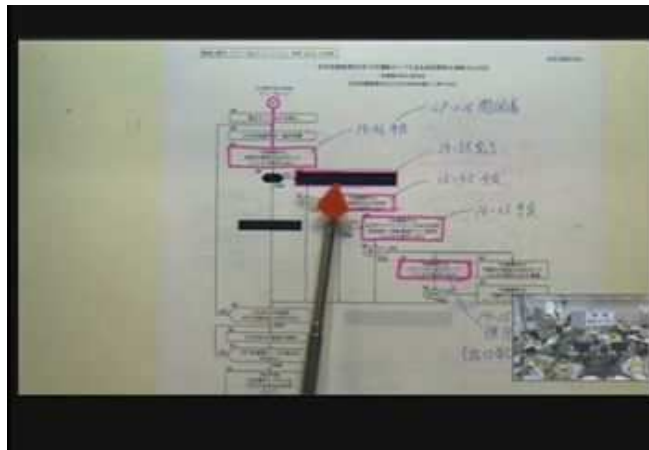


14:24 高浜1号 今後の戦略説明 [COP2]

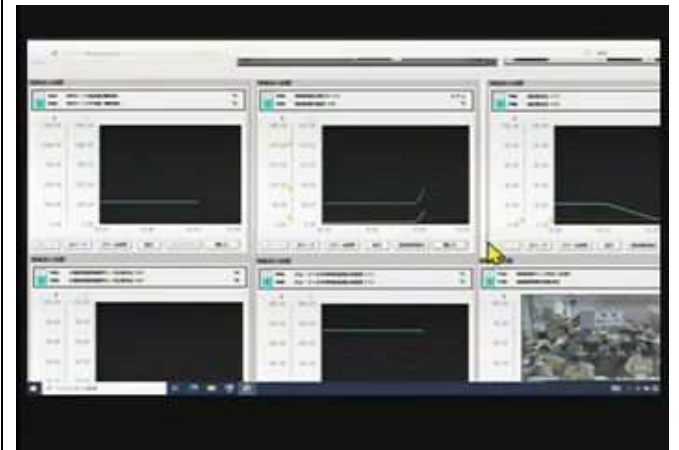
14:44 高浜1号 電源戦略説明 [COP2 (手書き)]



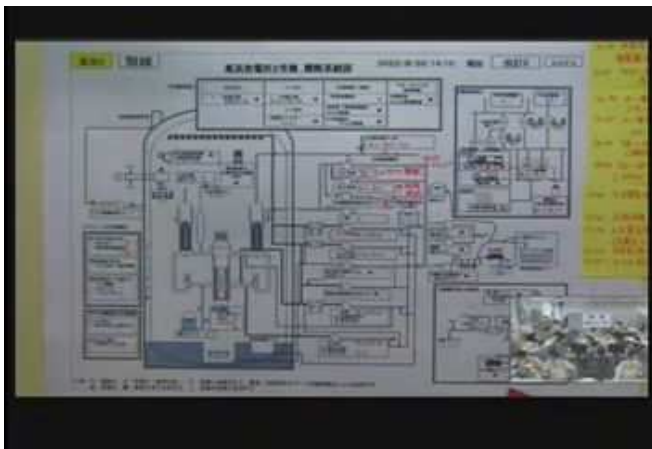
14:47 高浜4号 SBO手順フローで戦略説明



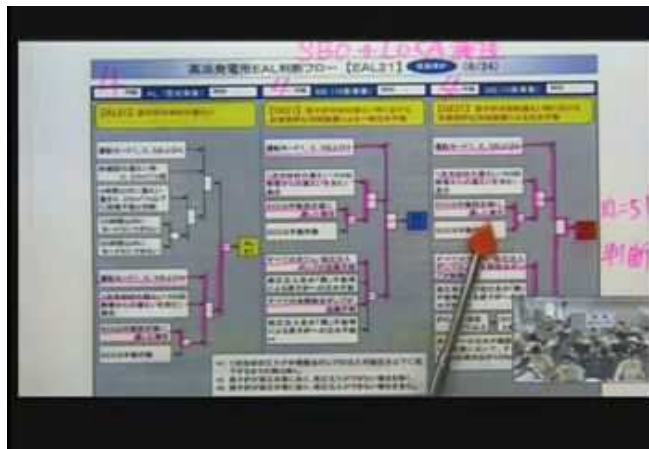
14:50 高浜4号 LOCA進展説明 [ERSS]



14:56 高浜2号 給水戦略説明 [COP3]



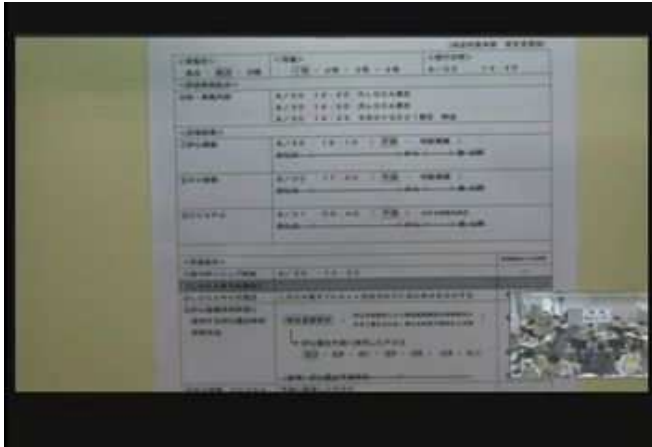
14:57 高浜4号 GE21, SE21, AL21 [EAL判断フロー]



14:58 高浜4号 AL42 [EAL判断フロー]



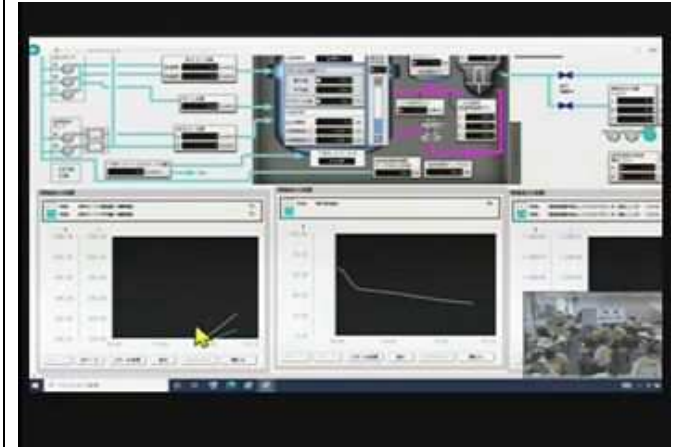
14:59 高浜1号 炉心損傷予測 [事象進展予測シート]



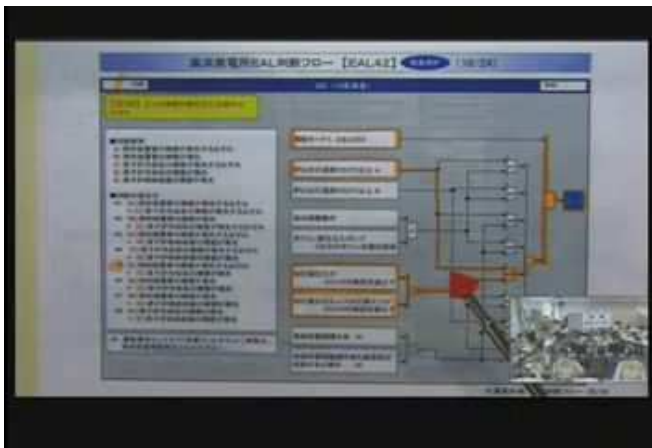
15:00 高浜1号 電源状況説明 [COP2]



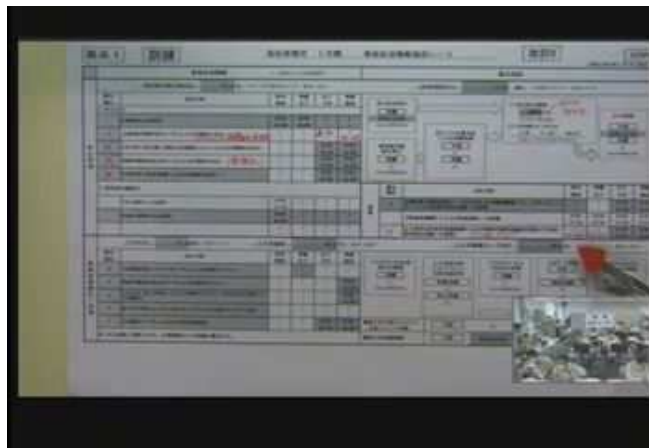
15:06 高浜1号 プラント状況説明 [ERSS]



15:08 高浜1号 SE42 [EAL判断フロー]



15:11 高浜1号 今後の電源戦略説明 [COP2]



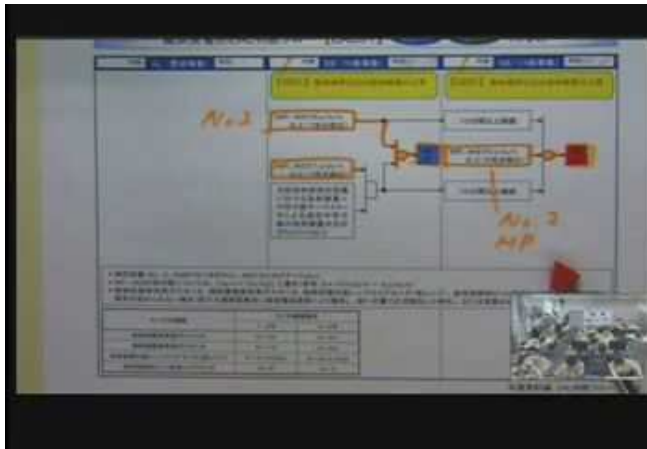
15:15 高浜1号 電源戦略説明 [COP4]



15:18 高浜1-4号 MP・MSの数値上昇 [ERSS]



15:19 高浜1-4号 SE01,GE01 [EAL判断フロー]



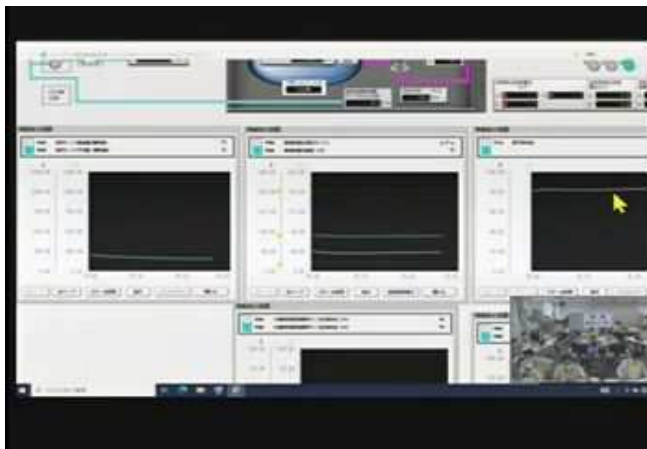
15:22 高浜1号 GE28 [EAL判断フロー]



15:23 高浜1号 炉心損傷後手順フロー説明



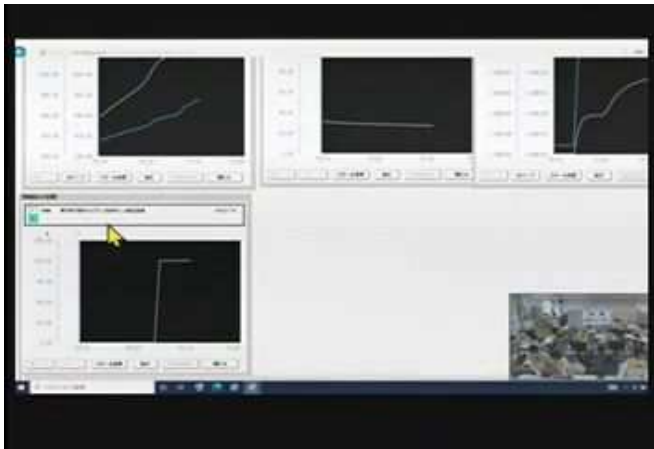
15:27 高浜4号 プラント状況説明 [ERSS]



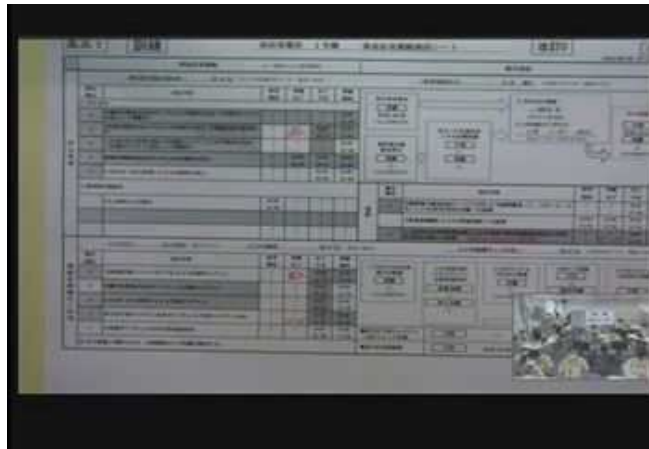
15:28 高浜4号 今後の戦略説明 [COP2]



15:31 高浜1号 プラント状況説明 [ERSS]



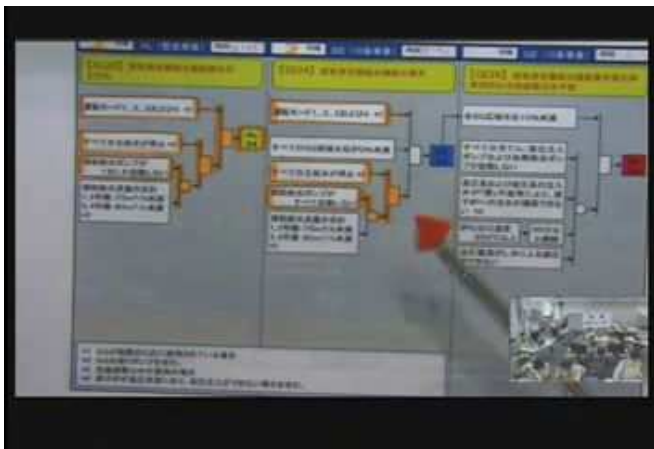
15:33 高浜1号 電源戦略説明 [COP2]



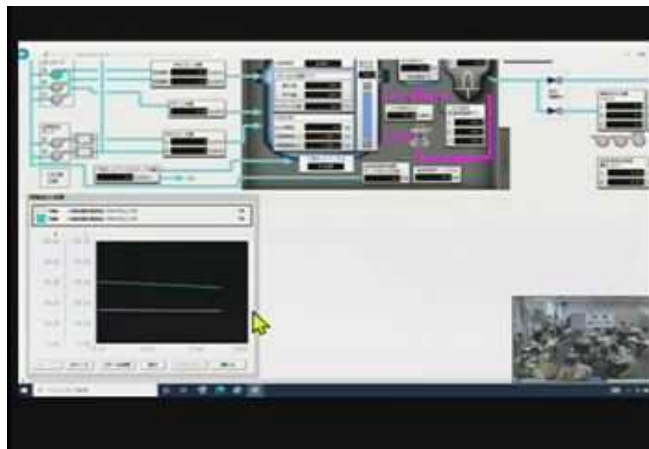
15:38 高浜1-4号 MP・MSの状況説明 [ERSS]



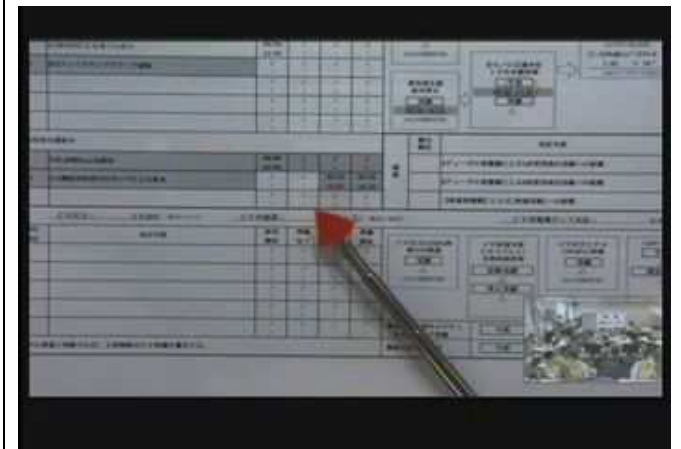
15:43 高浜2号 SE24 [EAL判断フロー]



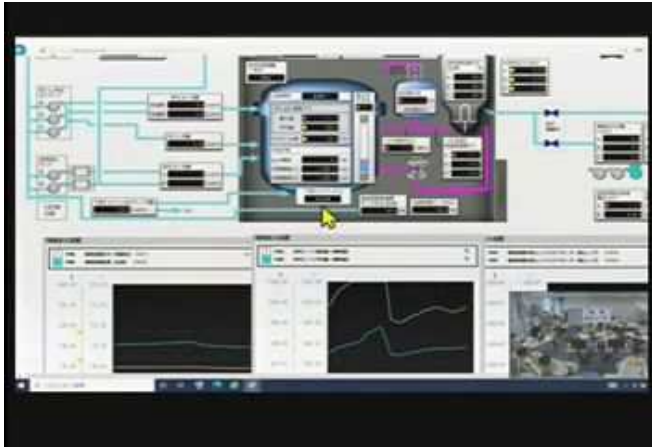
15:45 高浜2号 炉心水位状況説明 [ERSS]



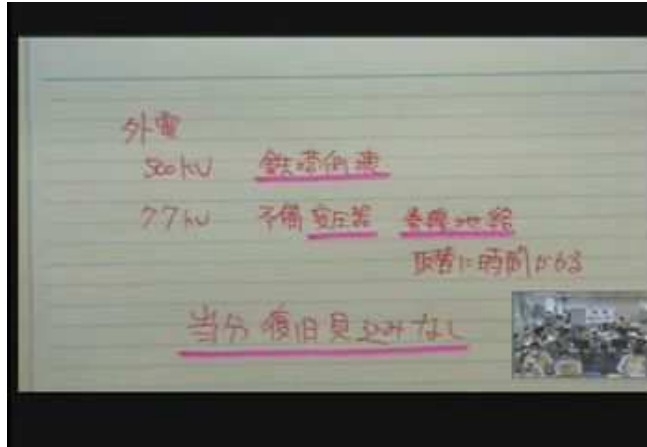
15:46 高浜2号 今後の戦略説明 [COP2]



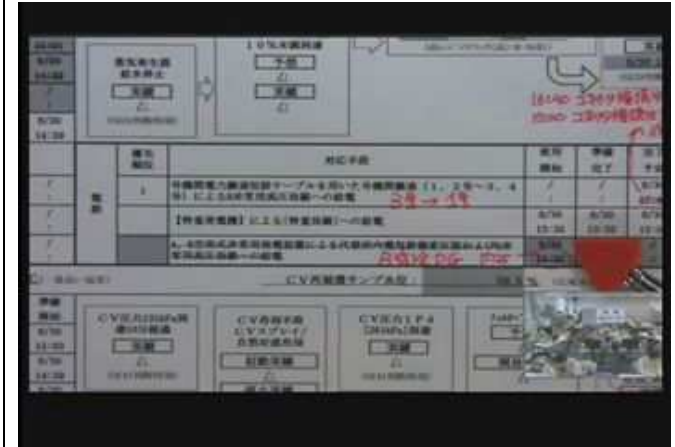
15:50 高浜1号 プラント状況説明 [ERSS]



15:50 高浜1号 外部電源の状況 [手書きメモ]



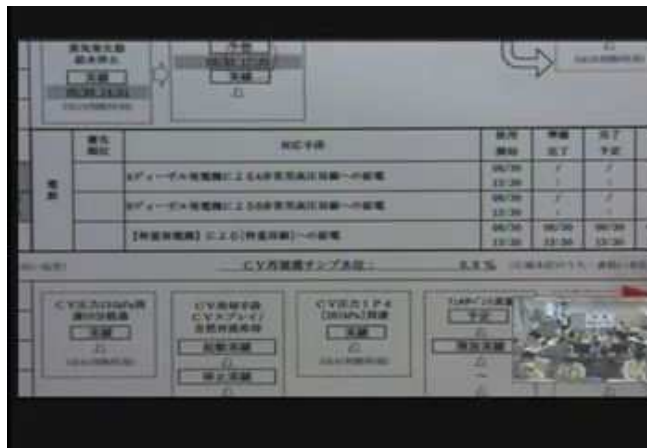
15:54 高浜1号 プラント状況おさらい [COP2]



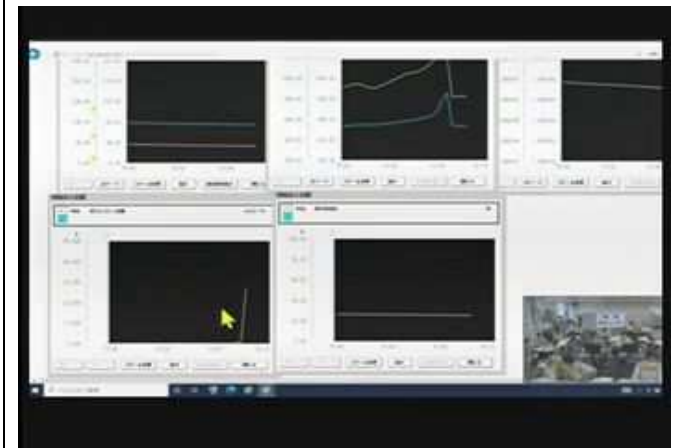
15:57 高浜4号 プラント状況おさらい [COP2]



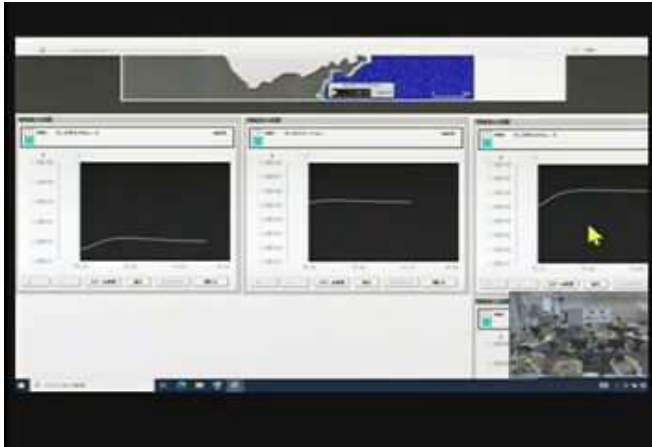
16:00 高浜2号 プラント状況おさらい [COP2]



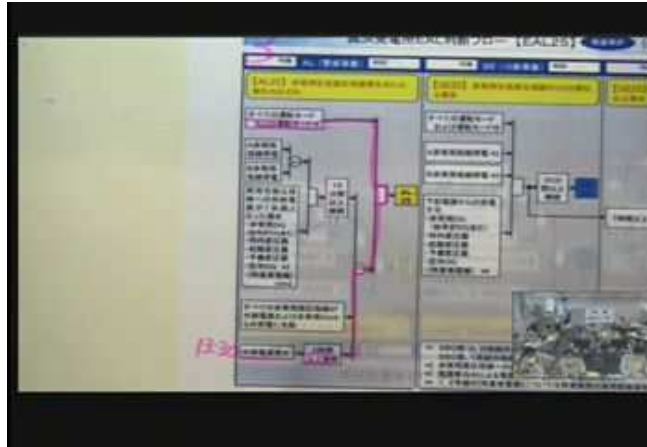
16:07 高浜1号 プラント状況説明 [ERSS]



16:11 高浜1-4号 モニタポスト状況説明 [ERSS]



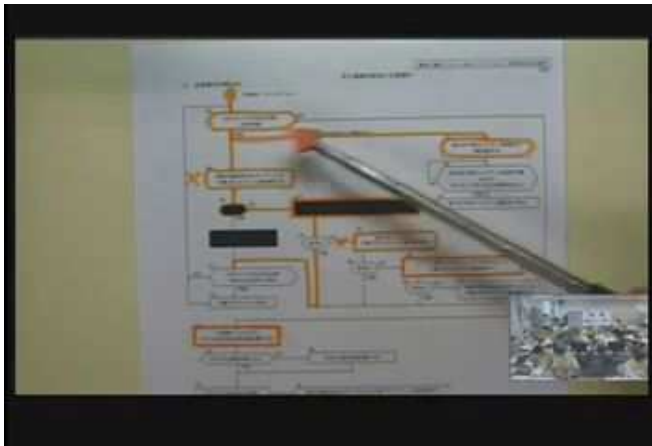
16:14 高浜2, 3号 AL25予告 [EAL判断フロー]



16:16 高浜1号 プラント状況説明 [ERSS]



16:18 高浜1号 炉心損傷後手順フロー説明



16:20 高浜4号 プラント状況説明 [COP2]



16:24 高浜1号 電源戦略説明 [COP2]



高浜発電所 防災訓練主要シナリオとEAL 発信の妥当性について

時刻	プラント事象(高浜1号)	プラント事象(高浜2号)	プラント事象(高浜3号)	プラント事象(高浜4号)	EAL	EAL 説明	EAL 判断の妥当性	EAL 判断時刻
	定格熱出力一定運転中	定格熱出力一定運転中	定期検査中	定格熱出力一定運転中				
13:00	地震発生(高浜町:震度5弱)	地震発生(高浜町:震度5弱)	地震発生(高浜町:震度5弱)	地震発生(高浜町:震度5弱)				
13:30	地震発生(高浜町:震度6弱) ・外部電源喪失 ・A、B-DG自動起動成功 ・RCSからの小漏えい発生	地震発生(高浜町:震度6弱) ・外部電源喪失 ・A、B-DG自動起動成功 ・B-M/DAFWP故障停止	地震発生(高浜町:震度6弱) ・外部電源喪失 ・A、B-DG自動起動成功	地震発生(高浜町:震度6弱) ・外部電源喪失 ・A-DG自動起動成功 ・B-DG起動失敗	AL (地震)	当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生	高浜町において震度6弱の地震が発生したことからAL(地震)を判断した。	13:30
13:45					4uAL25	【AL25】 非常用交流高圧母線喪失または喪失のおそれ	【AL25】 所内非常用高圧母線が1系統となり、当該母線への供給電源が1系統(非常用ディーゼル発電機)となり、その状態が15分間以上継続したことから、13:45に4uユニット指揮者がAL25を判断した。 〔AL25:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える。〕	13:45
13:50		・A主蒸気管破断発生						
13:55		・A-M/DAFWP故障停止			2uAL24	【AL24】 蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台しか起動できない	【AL24】 蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台(タービン動補助給水ポンプ)しか起動していないことを確認したことから、13:55に2uユニット指揮者がAL24を判断した。 〔AL24:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える。〕	13:55
14:00	余震発生(高浜町:震度5弱) ・LOCAに進展 ・4-1A母線故障 ・B-CH/SIP故障停止 ・C-CH/SIP手動起動失敗	余震発生(高浜町:震度5弱)	余震発生(高浜町:震度5弱)	余震発生(高浜町:震度5弱)	1uSE21 AL21 AL42	【SE21】 原子炉冷却材漏えい時ににおける非常用炉心冷却装置による一部注水不能 【AL21】 非常用炉心冷却装置の作動を必要とする原子炉冷却材の漏えいが発生 【AL42】 原子炉冷却材の漏えいが発生し、加圧器圧力または加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置の作動を必要とする設定圧力または設定水位以下	【SE21】 非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生した状態で、すべての充てん/高圧注入ポンプが起動しない状態を確認したことから、14:03に1uユニット指揮者がSE21を判断した。 【AL21、AL42】 原子炉冷却材の漏えいが発生し、加圧器圧力または加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置の作動を必要とする設定圧力または設定水位以下を確認したことから、14:03に1uユニット指揮者がAL21、AL42を判断した。 〔SE21、AL21、AL42:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える。〕	14:03

時刻	プラント事象(高浜1号)	プラント事象(高浜2号)	プラント事象(高浜3号)	プラント事象(高浜4号)	EAL	EAL 説明	EAL 判断の妥当性	EAL 判断時刻
14:15					1uAL25	【AL25】 非常用交流高圧母線喪失または喪失のおそれ	【AL25】 所内非常用高圧母線が1系統となり、当該母線への供給電源が1系統(非常用ディーゼル発電機)となり、その状態が15分以上継続したことから、14:15に1uユニット指揮者がAL25を判断した。 〔 AL25:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える。 〕	14:15
14:20				・A-DGトリップ→SBO ・RCSからの小漏えい発生	4uAL24	【AL24】 蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台しか起動できない	【AL24】 蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台(タービン動補助給水ポンプ)しか起動していないことを確認したことから、14:20に4uユニット指揮者がAL24を判断した。 〔 AL24:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える。 〕	14:20
14:35	・B-DGトリップ→SBO				1uGE21 AL24	【GE21】 ECCSの作動を必要とするLOCAが発生した場合において、すべての充てん/高圧注入ポンプおよびすべての余熱除去ポンプが起動できない 【AL24】 蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台しか起動できない	【GE21】 ECCSの作動を必要とするLOCAが発生している状況において、SBOになり、すべての充てん/高圧注入ポンプおよびすべての余熱除去ポンプによる注水が直ちにできない状態となっていることを確認したことから、14:37に1uユニット指揮者がGE21を判断した。 【AL24】 蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台(タービン動補助給水ポンプ)しか起動していないことを確認したことから、14:37に1uユニット指揮者がAL24を判断した。 〔 GE21、AL24:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える。 〕	14:37
14:36				・A, B空冷DGから4-4A, B母線および代替所内電気設備変圧器への給電開始				

時刻	プラント事象(高浜1号)	プラント事象(高浜2号)	プラント事象(高浜3号)	プラント事象(高浜4号)	EAL	EAL 説明	EAL 判断の妥当性	EAL 判断時刻
14:51		・T/DAFWP故障停止		・LOCAIに進展	4uGE21 SE21 AL21 AL42	<p>【GE21】 ECCSの作動を必要とするLOCAが発生した場合において、すべての充てん/高圧注入ポンプおよびすべての余熱除去ポンプが起動できない</p> <p>【SE21】 原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による一部注水不能</p> <p>【AL21】 非常用炉心冷却装置の作動を必要とする原子炉冷却材の漏えいが発生</p> <p>【AL42】 原子炉冷却材の漏えい発生し、加圧器圧力または加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置の作動を必要とする設定圧力または設定水位以下</p>	<p>【GE21、SE21】 非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生した状態で、すべての充てん/高圧注入ポンプおよびすべての余熱除去ポンプが起動しない状態を確認したことから、14:51に4uユニット指揮者がGE21、SE21を判断した。</p> <p>【AL21、AL42】 原子炉冷却材の漏えい発生し、加圧器圧力または加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置の作動を必要とする設定圧力または設定水位以下を確認したことから、14:51に4uユニット指揮者がAL21、AL42を判断した。</p> <p>〔 GE21、SE21、AL21、AL42:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える 〕</p>	14:51
14:56	・A, B空冷DGから4-1B母線および代替所内電気設備変圧器への給電開始							
15:01	・恒設代替低圧注水ポンプおよびA, B空冷DGトリップ							
15:03	・炉心出口温度350°C到達				1uSE42	<p>【SE42】 炉心出口温度の最高値が350°C以上となり燃料被覆管障壁が喪失するおそれがある状態で、加圧器圧力または加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置の作動を必要とする設定圧力または設定水位以下となり原子炉冷却系障壁が喪失</p>	<p>【SE42】 炉心出口温度の最高値が350°C以上となり燃料被覆管障壁が喪失するおそれがある状態で、加圧器圧力または加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置の作動を必要とする設定圧力または設定水位以下となり原子炉冷却系障壁が喪失したことを確認したことから、15:03に1uユニット指揮者がSE42を判断した。</p> <p>〔 SE42:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える 〕</p>	15:03
15:11	・炉心出口温度650°C到達							
15:15	・No.2 モニタポスト線量上昇				1~4u SE01	<p>【SE01】 敷地境界付近の放射線量の上昇(1地点検出)</p>	<p>【SE01】 No.2 モニタポストの指示値が5 μ Sv/h 以上を確認したことから、15:15に1uユニット指揮者がSE01を判断した。</p> <p>〔 SE01:訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える 〕</p>	15:15

時刻	プラント事象(高浜1号)	プラント事象(高浜2号)	プラント事象(高浜3号)	プラント事象(高浜4号)	EAL	EAL 説明	EAL 判断の妥当性	EAL 判断時刻
15:16	・モニタステーション線量上昇				1~4u GE01	【GE01】 敷地境界付近の放射線量の上昇(2地点検出)	【GE01】 No.2 モニタポストおよびモニタステーションの指示値が5μSv/h 以上を確認したことから、15:16 に 1u ユニット指揮者が GE01 を判断した。 〔 GE01: 訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える 〕	15:16
15:21	・格納容器内高レンジエリアモニタ 1×10 ⁵ mSv/h 到達				1uGE28	【GE28】 原子炉格納容器内の格納容器内高レンジエリアモニタの線量率が 1×10 ⁵ mSv/h 以上となり、かつ炉心出口温度が350℃以上	【GE28】 15:03 に炉心出口温度が350℃到達し、15:21 に格納容器内高レンジエリアモニタの線量率が 1×10 ⁵ mSv/h 以上となったことを確認したことから、15:21 に 1u ユニット指揮者が GE28 を判断した。 〔 GE28: 訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える 〕	15:21
15:25	・B空冷DG復旧 →4-1B母線および代替所内電気設備変圧器への給電開始							
15:40		・全SG狭域水位10%未満			2uSE24	【SE24】 蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、すべての蒸気発生器の狭域水位が0%未満となり、かつ補助給水ポンプがすべて起動しない	【SE24】 蒸気発生器へのすべての給水機能が喪失している状況において、すべての蒸気発生器の狭域水位が0%未満となったことを確認したことから、15:40 に 2u ユニット指揮者が SE24 を判断した。 〔 SE24: 訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える 〕	15:40
16:30					2uAL25 3uAL25	【AL25】 非常用交流高圧母線喪失または喪失のおそれ	【AL25】 外部電源喪失の状態が3時間以上継続したことから、16:30 に 2u ユニット指揮者および 3u ユニット指揮者が AL25 を判断した。 〔 AL25: 訓練プレーヤが実時間で判断を実施。判断は妥当と考える 〕	16:30

2022年 高浜発電所事業者訓練 原災法通報一覧(実績)

No.	判断時刻 (シナリオ想定)	通報時刻	通報票の種類・EAL事象	EAL事象の概要
事前付与	13:00	13:05頃	地震メモ(高浜(美浜、大飯)) ＜地震発生(震度5弱以上)＞	—
事前付与	13:30	13:35頃	地震メモ(高浜(美浜、大飯)) ＜地震発生(震度6弱以上)＞	当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生
	—	13:40頃	トラブル等連絡票 地震状況の連絡	地震に伴う原子炉自動停止
1報	13:45 (13:45)	13:51	警戒事態該当事象発生連絡 4号機 AL25 ＜非常用交流高圧母線喪失または喪失のおそれ＞	所内非常用高圧母線が1系統となり、当該母線への供給電源が1系統(非常用ディーゼル発電機)となり、その状態が15分以上継続
2報	13:55 (13:55)	14:03	警戒事態該当事象発生連絡 2号機 AL24 ＜蒸気発生器給水機能喪失のおそれ＞	蒸気発生器へのすべての主給水が停止した場合において、補助給水ポンプが1台(タービン動補助給水ポンプ)しか起動しない
情報付与	14:00	14:05頃	地震メモ(高浜(美浜、大飯)) ＜(余震)地震発生(震度5弱以上)＞	—
3報	14:03 (14:01)	14:12	特定事象発生通報(原子炉施設) 1号機 SE21 ＜原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による一部注水不能＞	非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生した状態で、すべての充てん/高圧注入ポンプが起動しない
4報	14:03 (14:01)	14:15	警戒事態該当事象発生連絡 1号機 AL21 ＜原子炉冷却材の漏えい＞	非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生
			警戒事態該当事象発生連絡 1号機 AL42 ＜単一障壁の喪失または喪失のおそれ＞	1次冷却材漏えいが発生し、加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置作動設定値以下となり、原子炉冷却系の障壁が喪失した
5報	14:15 (14:15)	14:20	警戒事態該当事象発生連絡 1号機 AL25 ＜非常用交流高圧母線喪失または喪失のおそれ＞	所内非常用高圧母線が1系統となり、当該母線への供給電源が1系統(非常用ディーゼル発電機)となり、その状態が15分以上継続

No.	判断時刻 (シナリオ想定)	通報時刻	通報票の種類・EAL事象	EAL事象の概要
6報	—	14:28	応急措置の概要(原子炉施設) 1号機 25条報告(第1報)	—
7報	14:20 (14:20)	14:31	警戒事態該当事象発生連絡 4号機 AL24 <u><蒸気発生器給水機能喪失のおそれ></u>	蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台(タービン動補助給水ポンプ)しか起動しない
7-2報	—	14:36	警戒事態該当事象発生後の経過連絡 4号機 警戒事象通報続報(第1報)	—
8報	14:37 (14:35)	14:42	特定事象発生通報(原子炉施設) 1号機 GE21 <u><原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による注水不能></u>	非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生した状態で、すべての充てん/高圧注入ポンプおよび余熱除去ポンプが起動しない
9報	14:37 (14:35)	14:44	警戒事態該当事象発生連絡 1号機 AL24 <u><蒸気発生器給水機能喪失のおそれ></u>	蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、補助給水ポンプが1台(タービン動補助給水ポンプ)しか起動しない
10報	—	14:46	警戒事態該当事象発生後の経過連絡 2号機 警戒事象通報続報(第1報)	—
11報	14:51 (14:51)	14:59	特定事象発生通報(原子炉施設) 4号機 SE21 <u><原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による一部注水不能></u>	非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生した状態で、すべての充てん/高圧注入ポンプが起動しない
			特定事象発生通報(原子炉施設) 4号機 GE21 <u><原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による注水不能></u>	非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生した状態で、すべての充てん/高圧注入ポンプおよび余熱除去ポンプが起動しない

No.	判断時刻 (シナリオ想定)	通報時刻	通報票の種類・EAL事象	EAL事象の概要
12報	14:51 (14:51)	15:01	警戒事態該当事象発生連絡 4号機 AL21 <u><原子炉冷却材の漏えい></u>	非常用炉心冷却装置の作動を必要とする1次冷却材の漏えいが発生
			警戒事態該当事象発生連絡 4号機 AL42 <u><単一障壁の喪失または喪失のおそれ></u>	1次冷却材漏えいが発生し、加圧器水位および加圧器圧力が非常用炉心冷却装置作動設定値以下となり、原子炉冷却系の障壁が喪失した
13報	15:03 (15:03)	15:16	特定事象発生通報(原子炉施設) 1号機 SE42 <u><2つの障壁の喪失または喪失のおそれ></u>	炉心出口温度の最高値が350℃以上となり燃料被覆管障壁が喪失するおそれがある状態で、「加圧器圧力および水位」が非常用炉心冷却装置の作動を必要とする設定圧力または設定水位以下となり原子炉冷却系障壁が喪失した
14報	—	15:15	応急措置の概要(原子炉施設) 1号機 25条報告(第2報)	—
15報	15:15 (15:15)	15:25	特定事象発生通報(原子炉施設) 1~4号機 SE01 <u><敷地境界付近の放射線量の上昇></u>	No.2 モニタポストの指示値が5μSv/h以上を検出
	15:16 (15:16)		特定事象発生通報(原子炉施設) 1~4号機 GE01 <u><敷地境界付近の放射線量の上昇></u>	No.2 モニタポスト、モニタステーションの2基が5μSv/h以上を検出
16報	15:21 (15:21)	15:29	特定事象発生通報(原子炉施設) 1号機 GE28 <u><炉心損傷の検出></u>	原子炉格納容器内の格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)の線量率が 1×10^5 mSv/h以上となり、かつ炉心出口温度が350℃以上となった
17報	—	15:41	応急措置の概要(原子炉施設) 4号機 25条報告(第1報)	—
18報	15:40 (15:40)	15:46	特定事象発生通報(原子炉施設) 2号機 SE24 <u><蒸気発生器給水機能の喪失></u>	蒸気発生器へのすべての主給水が停止し、すべての蒸気発生器狭域水位が0%未満となった状態で電動補助給水ポンプおよびタービン動補助給水ポンプがすべて起動しない
19報	—	16:02	応急措置の概要(原子炉施設) 1号機 25条報告(第3報)	—
20報	—	16:16	応急措置の概要(原子炉施設) 2号機 25条報告(第1報)	—

No.	判断時刻 (シナリオ想定)	通報時刻	通報票の種類・EAL事象	EAL事象の概要
21報	16:30 (16:30)	16:35	警戒事態該当事象発生連絡 2号機 AL25 〈非常用交流高圧母線喪失または喪失のおそれ〉	外部電源喪失が3時間以上継続
22報	16:30 (16:30)	16:37	警戒事態該当事象発生連絡 3号機 AL25 〈非常用交流高圧母線喪失または喪失のおそれ〉	外部電源喪失が3時間以上継続
16:38 防災訓練終了				

原災法通報結果一覧表

高浜第01報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

＜発信結果メッセージ説明＞

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 13時50分49秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	24 : 高浜発電所4号機で ✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 13時52分42秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	運送先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	13:51	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	13:51	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	13:51	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	13:51	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	FAX送信済	1		1回
512	TEL	13:51	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	13:51	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1		1回
512	TEL	13:51	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	TEL	13:51	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1		1回
512	メール	13:50	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第02報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 14時03分26秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	22 : 高浜発電所2号機で✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時04分47秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	3件	【メール】送信済み件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	1件		

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された

本人不在 : 本人以外が受信した (※)

不在 : 受信されなかった (※)

入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)

話中 : 話中で受信されなかった (※)

※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された

FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:03	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:03	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:03	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:03	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:03	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:03	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:03	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:04	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	入力エラー	1		1回
512	メール	14:03	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第03報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 14時12分30秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で ✓ 12 : 原子力災害対策特別措置第10条に該当する事象が発生しました。それに関するFA					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時14分01秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済み件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:12	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:12	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:12	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:12	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊急時対策班	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:12	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:12	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:12	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊急時対策班	OK	1		1回
512	TEL	14:12	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊急時対策班	OK	1		1回
512	メール	14:12	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第04報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

＜発信結果メッセージ説明＞

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 14時14分58秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で ✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時16分33秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済み件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:15	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:15	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:15	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:15	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊急	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:15	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:15	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:15	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊急	OK	1		1回
512	TEL	14:15	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊急	OK	1		1回
512	メール	14:15	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第05報

呼出指示日時	2022年08月30日 14時20分10秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で ✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時21分35秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済み件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

原子力規制委員会への肉声連絡	
チェック	
内閣総理大臣への肉声連絡	
チェック	

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	運転先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:20	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:20	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:20	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:20	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:20	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:20	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:20	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:20	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	メール	14:20	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第06報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 14時28分21秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	15					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で ✓ 14 : 発災した原子力災害についての原子力災害対策特別措置法第25条に基づく報告をF					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時30分20秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:28	テスト	テスト	9900076	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:28	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:28	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:28	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:28	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:28	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:28	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:28	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	メール	14:28	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第06報 第07報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 14時31分11秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	24 : 高浜発電所4号機で✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時32分29秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済み数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

<発信結果メッセージ説明>

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:31	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:31	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:31	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:31	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:31	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:31	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:31	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:31	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	14:31	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第07報 第07-2報

呼出指示日時	2022年08月30日 14時36分01秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	10					
音声メッセージ	24 : 高浜発電所4号機で ✓ 15 : 発生したトラブルに関する情報をFAX送信しましたのでご確認ください。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時37分12秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:36	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:36	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:36	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:36	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:36	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:36	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:36	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:36	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	14:36	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第08報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

＜発信結果メッセージ説明＞

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 14時42分02秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で ✓ 13 : 原子力災害対策特別措置第15条に該当する事象が発生しました。それに関するFA					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時43分30秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済み件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:42	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:42	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:42	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:42	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:42	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:42	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:42	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:42	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	14:42	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第09報

原子力規制委員会への肉声連絡

--	--

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

--	--

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 14時44分13秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で ✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認ください。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時45分23秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:44	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:44	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:44	本店	社内 (業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部 (中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:44	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:44	本店	社内 (業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部 (中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:44	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:44	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	14:44	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	14:44	原子力事業本部	社内 (その他)	0210992	M95 (高浜) 送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第10報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

＜発信結果メッセージ説明＞

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 14時46分22秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	10					
音声メッセージ	22 : 高浜発電所2号機で 15 : 発生したトラブルに関する情報をFAX送信しましたのでご確認ください。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 14時47分47秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済み件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:46	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:46	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:46	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:46	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊急	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:46	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	14:46	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:46	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊急	OK	1		1回
512	TEL	14:46	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊急	OK	1		1回
512	メール	14:46	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第11報

原子力規制委員会への肉声連絡

--	--

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

--	--

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 14時59分42秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	24 : 高浜発電所4号機で 13 : 原子力災害対策特別措置第15条に該当する事象が発生しました。それに関するFA					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時01分13秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

＜発信結果メッセージ説明＞

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	14:59	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:59	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:59	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	14:59	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	14:59	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	14:59	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	15:00	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	15:00	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	14:59	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第12報

原子力規制委員会への肉声連絡

--	--

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

--	--

チェック

＜発信結果メッセージ説明＞

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 15時01分46秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	24 : 高浜発電所4号機で✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時04分30秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	15:01	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:01	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:02	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:03	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		2回
512	TEL	15:01	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	15:02	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	15:02	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	15:02	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	15:01	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第13報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 15時12分03秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で✓ 12 : 原子力災害対策特別措置第10条に該当する事象が発生しました。それに関するFA					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時13分42秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	3件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済件数	1件
	NG件数	1件	NG件数	0件		

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	15:12	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:12	本店	社内 (業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部 (中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:12	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:13	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	話中	1		2回
512	TEL	15:12	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	15:12	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	15:12	本店	社内 (業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部 (中之島)	OK	1		1回
512	TEL	15:12	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	メール	15:12	原子力事業本部	社内 (その他)	0210992	M95 (高浜) 送信メール	送信済み	1		1回

15:16 総原防FAXにて送付

原災法通報結果一覧表

高浜第14報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

＜発信結果メッセージ説明＞

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 15時15分23秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	15					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で✓ 14 : 発災した原子力災害についての原子力災害対策特別措置法第25条に基づく報告をF					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時17分07秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済み件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	15:15	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:15	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:15	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:15	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	TEL	15:15	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急時対策所	OK	1		1回
512	TEL	15:15	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	TEL	15:15	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	15:15	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊急時対策所	OK	1		1回
512	メール	15:15	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第15報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

<発信結果メッセージ説明>

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 15時25分40秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	20 : 高浜発電所で✓ 13 : 原子力災害対策特別措置第15条に該当する事象が発生しました。それに関するFA					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時27分09秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	15:25	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:25	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:25	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:25	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	FAX送信済	1		1回
512	TEL	15:25	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	TEL	15:25	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	15:25	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1		1回
512	TEL	15:25	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1		1回
512	メール	15:25	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第16報

原子力規制委員会への肉声連絡

--

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

--

チェック

<発信結果メッセージ説明>

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した(※)
- 不在 : 受信されなかった(※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス(※)
- 話中 : 話中で受信されなかった(※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 15時29分14秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で ✓ 13 : 原子力災害対策特別措置第15条に該当する事象が発生しました。それに関するFA					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時30分32秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	15:29	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:29	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:29	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:29	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	15:29	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	TEL	15:29	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	15:29	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	15:29	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	15:29	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第17報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

チェック

<発信結果メッセージ説明>

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した(※)
- 不在 : 受信されなかった(※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス(※)
- 話中 : 話中で受信されなかった(※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 15時41分35秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	10					
音声メッセージ	24 : 高浜発電所4号機で✓ 14 : 発災した原子力災害についての原子力災害対策特別措置法第25条に基づく報告をF					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時43分19秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	15:41	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:41	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:41	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	15:41	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	15:41	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	TEL	15:41	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	15:41	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	15:41	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	15:41	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第18報

原子力規制委員会への肉声連絡

[Redacted]

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

[Redacted]

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 15時46分34秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	22 : 高浜発電所2号機で✓ 12 : 原子力災害対策特別措置第10条に該当する事象が発生しました。それに関するFA					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 15時47分58秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

<発信結果メッセージ説明>

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した(※)
 不在 : 受信されなかった(※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス(※)
 話中 : 話中で受信されなかった(※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	15:46	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	FAX	15:46	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	FAX	15:46	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	FAX	15:46	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	TEL	15:46	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1	[Redacted]	1回
512	TEL	15:46	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1	[Redacted]	1回
512	TEL	15:46	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1	[Redacted]	1回
512	TEL	15:46	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1	[Redacted]	1回
512	メール	15:46	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1	[Redacted]	1回

原災法通報結果一覧表

高浜第19報

原子力規制委員会への肉声連絡

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 16時02分36秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	15					
音声メッセージ	21 : 高浜発電所1号機で✓ 14 : 発災した原子力災害についての原子力災害対策特別措置法第25条に基づく報告をF					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 16時04分18秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

<発信結果メッセージ説明>

OK : 伝達された

本人不在 : 本人以外が受信した (※)

不在 : 受信されなかった (※)

入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)

話中 : 話中で受信されなかった (※)

※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された

FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	16:02	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:02	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:02	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:02	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	FAX送信済	1		1回
512	TEL	16:02	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1		1回
512	TEL	16:02	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊急	OK	1		1回
512	TEL	16:02	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	16:02	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	メール	16:02	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第20報

原子力規制委員会への肉声連絡

[Redacted]

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

[Redacted]

チェック

<発信結果メッセージ説明>

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した(※)
- 不在 : 受信されなかった(※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス(※)
- 話中 : 話中で受信されなかった(※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

呼出指示日時	2022年08月30日 16時16分36秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	10					
音声メッセージ	22 : 高浜発電所2号機で 14 : 発災した原子力災害についての原子力災害対策特別措置法第25条に基づく報告をF					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 16時18分17秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	16:16	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	FAX	16:16	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	FAX	16:16	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	FAX	16:16	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	FAX送信済	1	[Redacted]	1回
512	TEL	16:16	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1	[Redacted]	1回
512	TEL	16:16	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1	[Redacted]	1回
512	TEL	16:16	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1	[Redacted]	1回
512	TEL	16:16	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1	[Redacted]	1回
512	メール	16:16	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1	[Redacted]	1回

原災法通報結果一覧表

高浜第21報

原子力規制委員会への肉声連絡

--	--

チェック

内閣総理大臣への肉声連絡

--	--

チェック

呼出指示日時	2022年08月30日 16時34分51秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	11					
音声メッセージ	22 : 高浜発電所2号機で ✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 16時36分07秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】正常件数	4件	【電話】正常件数	4件	【メール】送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

<発信結果メッセージ説明>

- OK : 伝達された
- 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
- 不在 : 受信されなかった (※)
- 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
- 話中 : 話中で受信されなかった (※)
- ※ : メッセージ伝達されていない
- FAX送信済 : 正常にFAX送信された
- FAX送信巧 : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	16:35	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:35	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:35	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:35	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	16:35	テスト	テスト	9900064	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	16:35	テスト	テスト	9900068	[R4年訓練]東京支社	OK	1		1回
512	TEL	16:35	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	16:35	テスト	テスト	9900065	[R4年訓練]事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	16:35	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

原災法通報結果一覧表

高浜第2報

原子力規制委員会への肉声連絡	
チェック	
内閣総理大臣への肉声連絡	
チェック	

呼出指示日時	2022年08月30日 16時36分47秒 (高浜発電所) [社内訓練起動]					
グループ番号	512					
FAX送信原稿	有り					
内容	訓練					
指示端末	12					
音声メッセージ	23 : 高浜発電所3号機で✓ 11 : 警戒事象が発生しました。それに関するFAXを送信しましたのでご確認下さい。					
Fネット送信	無し					
終了日時	2022年08月30日 16時37分58秒					
結果	送信件数	4件	発信件数	4件	送信件数	1件
	【FAX】 正常件数	4件	【電話】 正常件数	4件	【メール】 送信済件数	1件
	NG件数	0件	NG件数	0件		

＜発信結果メッセージ説明＞

OK : 伝達された
 本人不在 : 本人以外が受信した (※)
 不在 : 受信されなかった (※)
 入力エラー : 受信者の受信操作ミス (※)
 話中 : 話中で受信されなかった (※)
 ※ : メッセージ伝達されていない

FAX送信済 : 正常にFAX送信された
 FAX送信エラー : 用紙切れなどによりFAX送信に失敗した

グループ番号	種別	時刻	所属名	ランク	発信先No	発信先名称	発信結果	連絡先番号	発信先番号	発信回数
512	FAX	16:37	原子力規制委員会	10条法定箇所	1000110	規制庁ERCプラント班①	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:37	テスト	テスト	9900075	高浜緊急時対策所	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:37	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	FAX送信済	1		1回
512	FAX	16:37	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	FAX送信済	1		1回
512	TEL	16:37	テスト	テスト	9900068	【R4年訓練】東京支社	OK	1		1回
512	TEL	16:37	本店	社内(業務計画記載箇所)	0100201	本店対策本部(中之島)	OK	1		1回
512	TEL	16:37	テスト	テスト	9900065	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	TEL	16:37	テスト	テスト	9900064	【R4年訓練】事業本部緊	OK	1		1回
512	メール	16:36	原子力事業本部	社内(その他)	0210992	M95(高浜)送信メール	送信済み	1		1回

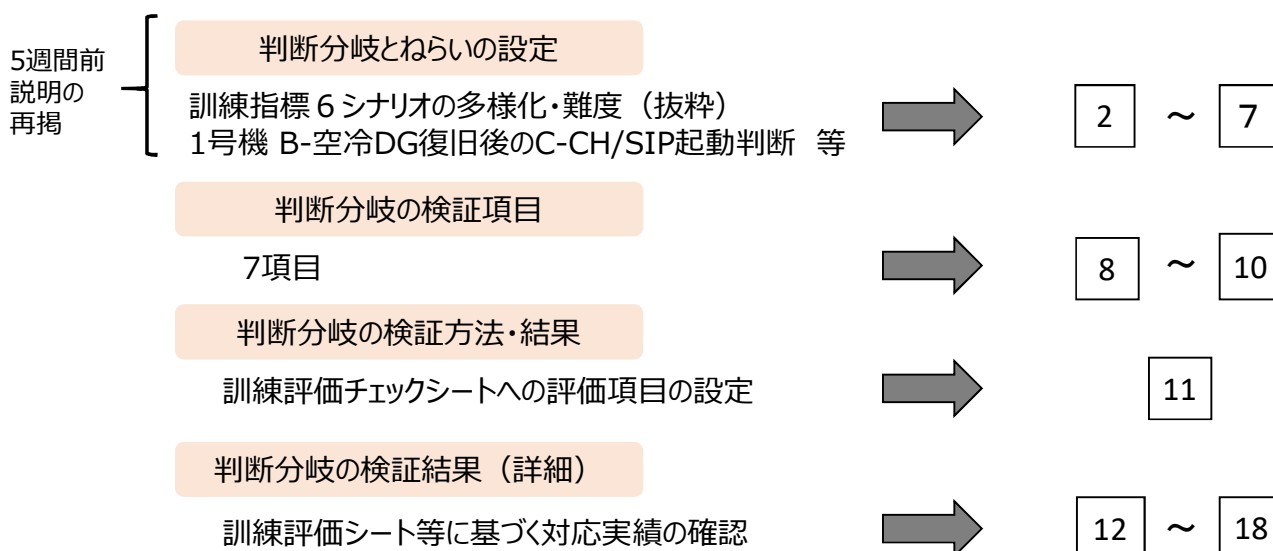
高浜発電所原子力防災訓練における シナリオ判断分岐について

2022年9月
高浜発電所

シナリオ判断分岐の概要

1

プレーヤの能力向上を促すため、本訓練のシナリオにおいては、手順にない判断が必要となるポイント（判断分岐）を設定した。また、プレーヤを対象とした訓練評価チェックシートに評価項目を追加し、判断分岐のポイントごとに、プレーヤのふるまいを検証した。
検証の結果、判断分岐のポイントにおいて、プレーヤが適切な対応をとれていたことを確認した。
なお、事務局で想定しているERSSデータと違う挙動を示す判断をした場合は、コントローラ宣言による訓練進行の修正を行うこととしており、本訓練において1点、コントローラによる進行の修正を実施した。



判断分岐とねらいの設定（5週間前面談資料 訓練指標6再掲）

2

訓練指標6：シナリオの多様化・難度（②能力向上を促せるような実効性のある事故シナリオ）再掲

No.	事故シナリオの工夫	ねらい
1	・2号機において、設備故障による現場点検指示後に主蒸気管破断事象の発生を設定する。	・2号機の原子炉トリップ後、A主蒸気逃がし弁が中央制御室から操作不可となる。保修班員を点検に向かわせることとなるが、その後に主蒸気管破断が発生する。この際、プレーヤが現場要員の状況把握及び安否確認が確実に行えることを確認する。また、破断箇所を特定し、点検の中止や退避指示が適切に行えることを確認する。 【昨年度訓練課題の検証】
2	・2号機において、主蒸気ヘッダー室近傍エリアに設置されている設備の不調兆候の情報を付与する。	・2号機のタービン動補助給水ポンプの不調兆候が発生し、保修班員に点検を指示するが、当該ポンプは、主蒸気ヘッダー室近傍であり、主蒸気管破断により現場活動に影響があることから、プラント状態や設備配置の状況を踏まえた現場作業可否に係る適切な確認が行えることを確認する。 【昨年度訓練課題の検証】 ・2号機のタービン動補助給水ポンプの不調が確認できた段階で、主蒸気管破断の影響の可能性も考えられることから、手順書の枠を超え、SG給水手段であるSG仮設中圧ポンプの準備の先行着手検討を悩ませる。 【指揮者の能力向上を促す場面設定】
3	・1号機および4号機の複数号機において、SBO事象を設定する。	・1号機および4号機において、SBO事象が発生するが、発災状況が変化中、優先的に電源融通を実施すべき号機について、指揮者の判断を悩ませる。 【指揮者の能力向上を促す場面設定】
4	・1号機において、炉心注水手段が喪失し、炉心損傷予想時刻までに、炉心注水を開始できない事態に加え、MCCI防止に必要な設備も起動できない過酷な状況を設定する。	・1号機において、炉心損傷予測時刻までに実施可能な炉心注水手段が全て喪失する。また空冷DGが使用できないため有効性評価上、MCCI防止に必要な下部キャビティ注水ポンプも起動できない過酷な状況である。MCCIの回避を目指し、対策（[特重代替スプレイポンプ]の先行着手）判断を悩ませる。 【指揮者の能力向上を促す場面設定】

【昨年度訓練課題の検証】項目は、重点実施項目の検証結果（発電所）にて説明する

The Kansai Electric Power Co., Inc.

判断分岐とねらいの設定（5週間前面談資料 訓練指標6再掲）

3

訓練指標6：シナリオの多様化・難度（②能力向上を促せるような実効性のある事故シナリオ）再掲

No.	事故シナリオの工夫	ねらい
5	・2号機において、蒸気発生器への給水手段が喪失した状態において、SG仮設中圧ポンプ準備完了の情報を付与する。	・2号機において、SG仮設中圧ポンプの準備完了後、主蒸気逃がし弁の開放により減圧を実施して、SG注水を行うのか、全SG広域水位10%未満到達後にRCSフィードアンドブリードを実施して炉心冷却を行うのかプレーヤを悩ませる。 【指揮者の能力向上を促す場面設定】
6	・4号機において、特重設備にて炉心注水を実施中にSA設備の準備完了の情報を付与する。	・4号機において、[特重代替注水ポンプ]による代替炉心注水を実施中にB充てん/高圧注入ポンプ（自己冷却）の準備が完了する。SA設備への切り戻しはマニュアルにて設備の復旧状況により総合的に判断することになっており、炉心注水手段の切り替えについて、プレーヤを悩ませる。 【指揮者の能力向上を促す場面設定】
7	・1号機炉心損傷後にNo.5モニタポスの数値が上昇する事象を設定する。	・No.5モニタポストに近い3, 4号機に炉心損傷の兆候等が見られないことやモニタ車による測定等により、No.5モニタポストの故障であることを判断できるか確認する。 【計器故障のマルファンクション】 ・4号機のSBO対応として、大容量ポンプや送水車等の屋外のSA設備を準備している状況である。故障による指示上昇ではあるが、故障である判断をする前に現場要員の線量計の上昇がないかの確認及び屋外作業完了目途と累積被ばく量の比較等の対応ができることを確認する。 【昨年度訓練課題の検証】
8	・1号機において空冷DGが1基のみと電源容量が乏しい状況において、電源容量の大きいC充てん/高圧注入ポンプ（自己冷却）の準備完了の情報を付与する。	・1号機において、炉心損傷後にC充てん/高圧注入ポンプ（自己冷却）の準備が完了し、炉心注水可能な状態になる。一方、空冷DGは1台のみであり、電源容量が乏しい状況であり、必要な電源容量やプラント状況を踏まえ、C充てん/高圧注入ポンプ（自己冷却）を起動するかの判断を悩ませる。 【指揮者の能力向上を促す場面設定】

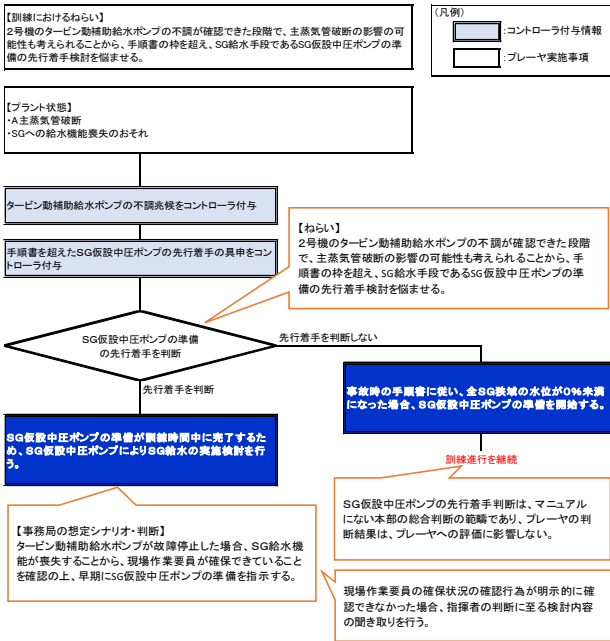
【昨年度訓練課題の検証】項目は、重点実施項目の検証結果（発電所）にて説明する

The Kansai Electric Power Co., Inc.

No.2 2号機 仮設中圧ポンプの先行着手判断

添付10

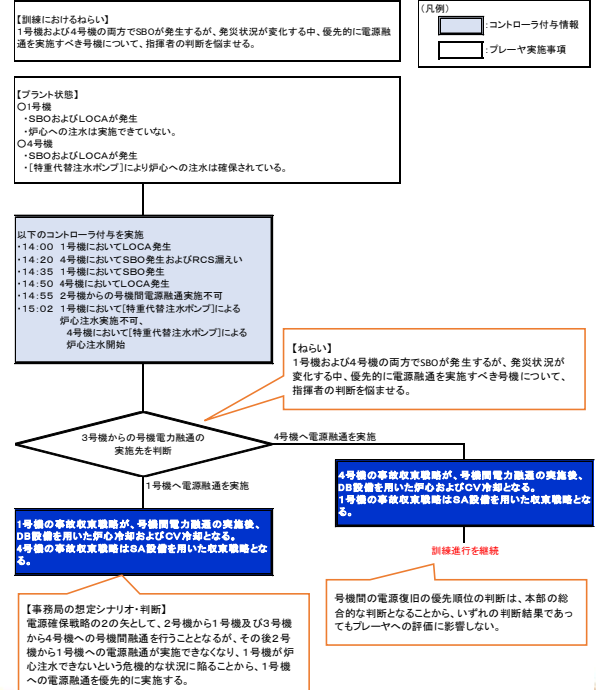
2022年度 高浜発電所 原子力防災訓練フローチャート (②2号機 SG仮設中圧ポンプによるSG給水の先行準備の判断)



No.3 共通 号機間融通の融通先の判断

添付10

2022年度 高浜発電所 原子力防災訓練フローチャート (③1, 3, 4号機 3号機からの号機間融通先の判断)

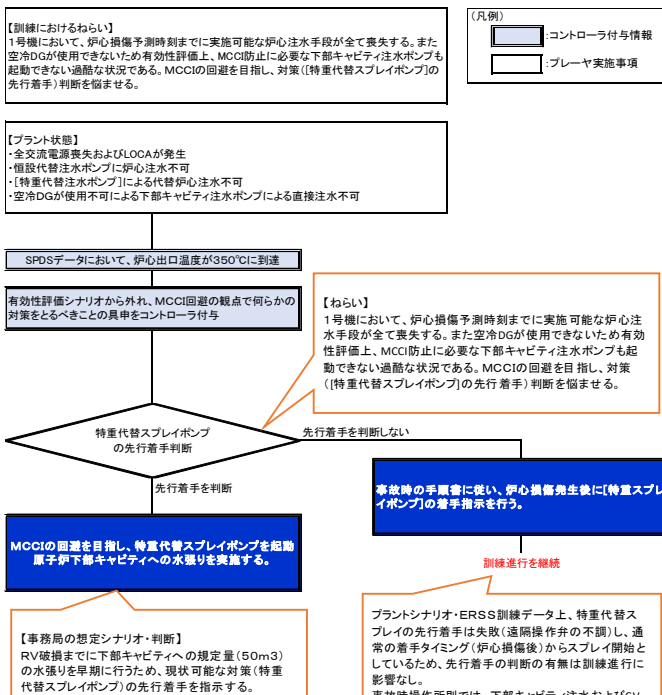


The Kansai Electric Power Co., Inc.

No.4 1号機 CV防護対策の先行着手判断

添付10

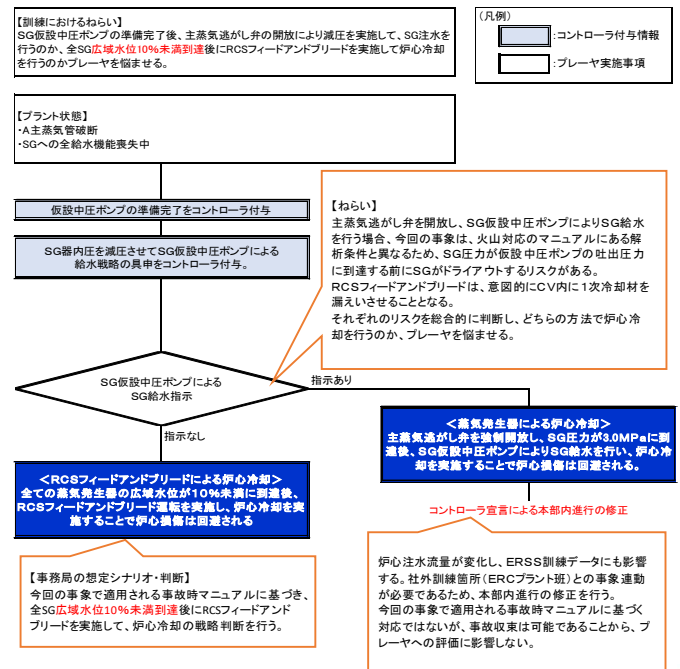
2022年度 高浜発電所 原子力防災訓練フローチャート (④1号機 炉心損傷前のCV防護対策の先行着手判断)



No.5 2号機 仮設中圧ポンプによるSG給水の実施検討

添付10

2022年度 高浜発電所 原子力防災訓練フローチャート (⑤2号機 SG仮設中圧ポンプによるSG給水の実施検討)

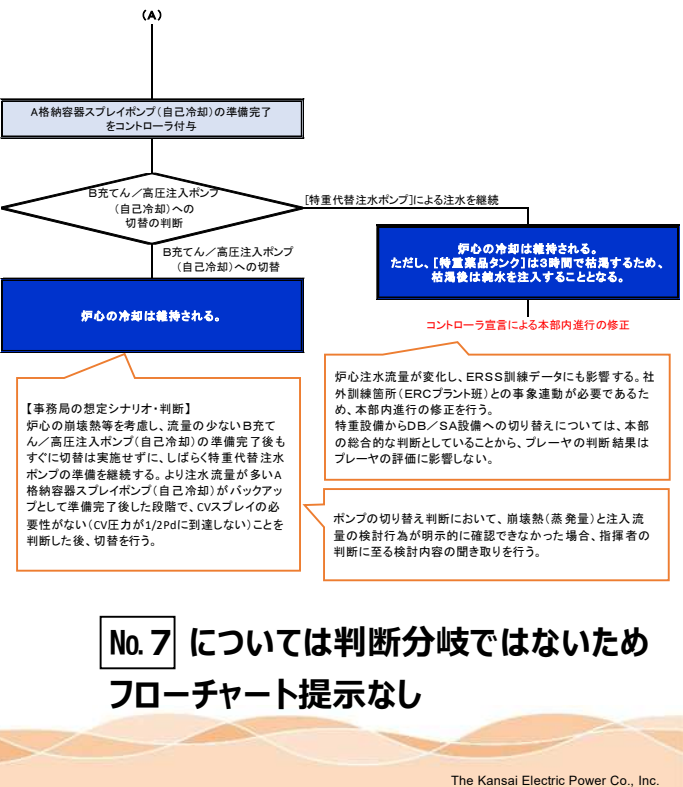
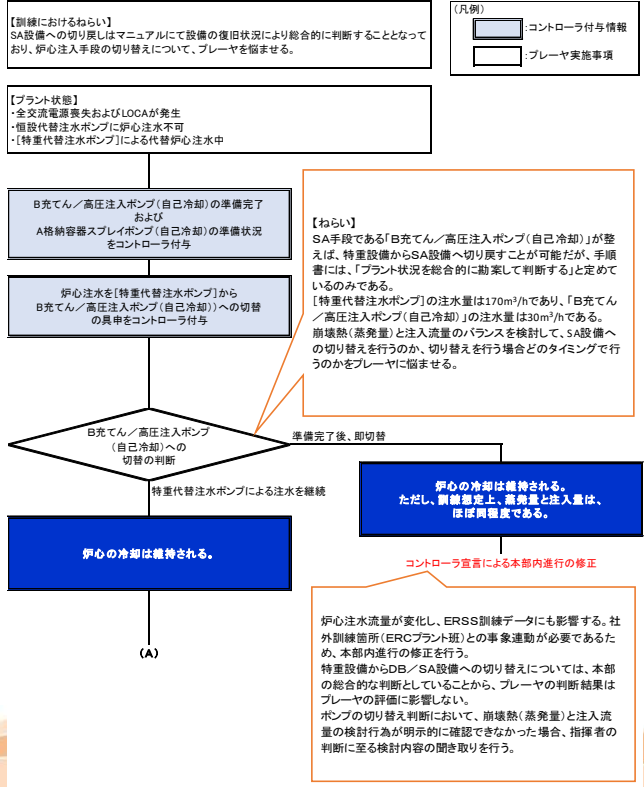


The Kansai Electric Power Co., Inc.

No.6 4号機 特重設備からSA設備への切り戻し判断

添付10

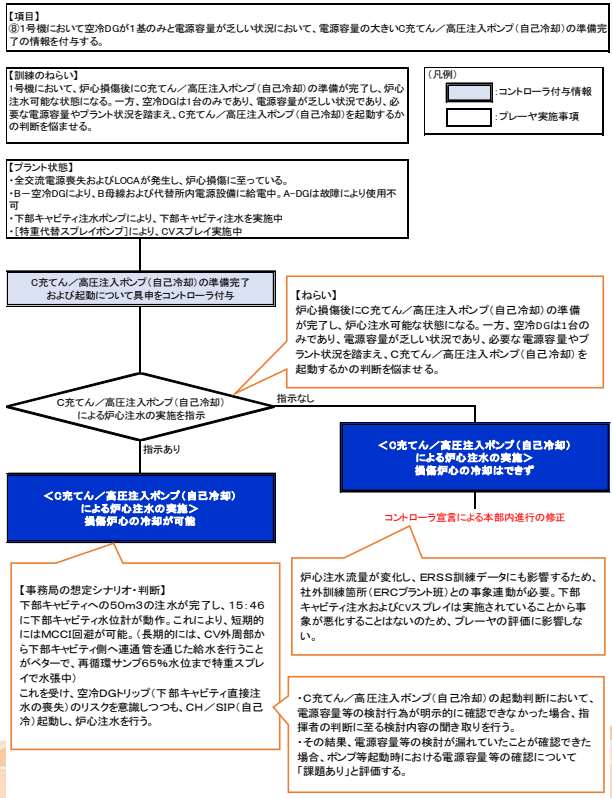
2022年度 高浜発電所 原子力防災訓練フローチャート (⑥4号機 特重設備からSA設備への切り戻しの検討)



No.7 については判断分岐ではないためフローチャート提示なし

No.8 1号機 C-CH/SIP(自己冷却)の起動判断

2022年度高浜発電所原子力防災訓練シナリオの判断分岐に対する (⑧1号機 C充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)の起動検討)



訓練指標 6 における判断分岐の検証項目（ねらい）

No.2 2号機タービン動補助給水ポンプの不調を確認した時点において、次のねらいを設定**ねらい** SG仮設中圧ポンプの先行着手判断

2号機のタービン動補助給水ポンプの不調が確認できた段階で、主蒸気管破断の影響の可能性も考えられることから、手順書の枠を超え、SG給水手段であるSG仮設中圧ポンプの準備の先行着手検討を悩ませる。

No.3 1号機および4号機の複数号機にてSBO事象が発生する状況において、次のねらいを設定**ねらい** 号機間電源融通先の判断

1号機および4号機の両方でSBOが発生するが、発災状況が変化中、優先的に電源融通を実施すべき号機について、指揮者の判断を悩ませる。

No.4 1号機にて炉心損傷までに炉心注水を開始できない状況において、次のねらいを設定**ねらい** [特重代替スプレイポンプ]の先行着手の判断

1号機において、炉心損傷予測時刻までに実施可能な炉心注水手段が全て喪失する。また、空冷DGが使用できないため有効性評価上、MCCI防止に必要な下部キャビティ注水ポンプも起動できない過酷な状況である。MCCIの回避を目指し、対策（[特重代替スプレイポンプ]の先行着手）判断を悩ませる。

訓練指標 6 における判断分岐の検証項目（ねらい）

No.5 2号機にて蒸気発生器への給水手段が喪失した状態において、次のねらいを設定**ねらい** 炉心冷却の戦略判断

2号機において、SG仮設中圧ポンプの準備完了後、主蒸気逃がし弁の開放により減圧を実施して、SG注水を行うのか、全SG広域水位10%未満到達後にRCSフィードアンドブリードを実施して炉心冷却を行うのかプレーヤを悩ませる。

No.6 4号機にて特重設備による炉心注水中にSA設備の準備完了する時点で次のねらいを設定**ねらい** 特重設備からSA設備への切り戻し判断

4号機において、[特重代替注水ポンプ]による代替炉心注水を実施中にB充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）の準備が完了する。SA設備への切り戻しはマニュアルにて設備の復旧状況により総合的に判断することとなり、炉心注入手段の切り替えについて、プレーヤを悩ませる。

No.7 1号機炉心損傷後のNo. 5モニタポストの数値上昇にあたり、次のねらいを設定**ねらい** No. 5モニタポストの故障判断

No. 5モニタポストに近い3, 4号機に炉心損傷の兆候等が見られないことやモニタ車による測定等により、No.5モニタポストの故障であることを判断できるか確認する。

No.2 【2号機】タービン動補助給水ポンプの不調を確認した時点

ねらい SG仮設中圧ポンプの先行着手判断

評価結果：良 課題：無

【結論】

訓練評価シート等に基づき、確認した結果、適切な対応を実施できていたと評価する。

訓練評価シート等に基づく対応実績の確認

検証ポイント

2号機のタービン動補助給水ポンプの不調が確認できた段階で、主蒸気管破断の影響の可能性も考えられることから、手順書の枠を超え、SG給水手段であるSG仮設中圧ポンプの準備の先行着手を議論・検討しているか。

評価結果	点数	評価者所見（達成度、気づき事項）
	4	14:15時点でSG仮設中圧ポンプの着手依頼を行っており、問題は無かった。

<評価点数について>

十分達成できている（4）、一部を除き達成できている（3）
 半数近く達成されていない（2）、ほとんど達成できていない（1）

No.3 【1号機および4号機】複数号機において、SBO事象が発生する状況

ねらい 号機間電源融通先の判断

評価結果：良 課題：無

【結論】

訓練評価シート等に基づき、確認した結果、適切な対応を実施できていたと評価する。

訓練評価シート等に基づく対応実績の確認

検証ポイント

1号機および4号機の両方でSBOが発生するが、発災状況が変化中、優先的に電源融通を実施すべき号機について、議論・検討し、対応方策を決定しているか。

評価結果	点数	評価者所見（達成度、気づき事項）
	4	電源融通について、空冷D Gによる非常用母線の受電を進めつつ2号炉から1号炉、3号炉から4号炉への電源融通検討も進めていた。 4号の事故収束状況を考慮し、電源融通の優先順位を1号機優先で対応するよう本部長から指示されていた。

<評価点数について>

十分達成できている（4）、一部を除き達成できている（3）
 半数近く達成されていない（2）、ほとんど達成できていない（1）

**No.4【1号機】炉心損傷までに炉心注水を開始できない状況
ねらい [特重代替スプレイポンプ]の先行着手の判断**

評価結果：良 課題：無

【結論】

訓練評価シート等に基づき、確認した結果、適切な対応を実施できていたと評価する。

訓練評価シート等に基づく対応実績の確認

検証ポイント

1号機において、炉心損傷予測時刻までに実施可能な炉心注水手段が全て喪失する。また空冷DGが使用できないため有効性評価上、MCCI防止に必要な下部キャビティ注水ポンプも起動できない過酷な状況である。MCCIの回避を目指した議論・検討を行い、対応方策（[特重代替スプレイポンプ]の先行着手）を決断しているか。

評価結果	点数	評価者所見（達成度、気づき事項）
	4	MCCI防止を念頭に炉心損傷より前に[特重代替スプレイポンプ]の準備着手を指示していた。

<評価点数について>

十分達成できている（4）、一部を除き達成できている（3）
半数近く達成されていない（2）、ほとんど達成できていない（1）

**No.5【2号機】蒸気発生器への給水手段が喪失した状態
ねらい 炉心冷却の戦略判断**

評価結果：良 課題：無

【結論】

訓練評価シート等に基づき、確認した結果、適切な対応を実施できていたと評価する。

訓練評価シート等に基づく対応実績の確認

検証ポイント

2号機において、SG仮設中圧ポンプの準備完了後、主蒸気逃がし弁の開放により減圧を実施して、SG注水を行うのか、全SG広域水位10%未満到達後にRCSフィードアンドブリードを実施して炉心冷却を行うのか議論・検討し、対応方策を決断しているか。

評価結果	点数	評価者所見（達成度、気づき事項）
	4	SGドライアウトの懸念等から、2次系冷却（2次系強制減圧 + SG仮設中圧ポンプ）ではなく、1次系フィード&ブリードを選択する決断をしていた。

<評価点数について>

十分達成できている（4）、一部を除き達成できている（3）
半数近く達成されていない（2）、ほとんど達成できていない（1）

判断分岐の検証結果（詳細）（5 / 7）

16

No.6【4号機】特重設備による炉心注水中にSA設備の準備完了する時点
ねらい 特重設備からSA設備への切り戻し判断

評価結果：良 課題：無

【結論】

訓練評価シート等に基づき、確認した結果、適切な対応を実施できていたと評価する。

訓練評価シート等に基づく対応実績の確認

検証ポイント

4号機において、[特重代替注水ポンプ]による代替炉心注水を実施中にB充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）の準備が完了する。SA設備への切り戻しはマニュアルにて設備の復旧状況により総合的に判断することになっており、炉心注入手段の切り替えについて議論・検討し、対応方策を決断しているか。

評価結果	点数	評価者所見（達成度、気づき事項）
	4	B充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）への切り戻しについて、給水の必要流量やポンプの容量等を総合的に議論・検討した結果として、切り戻しはせず恒設代替低圧注水ポンプの復旧完了まで、特重施設での対応を継続することを決断できていた。

<評価点数について>

十分達成できている（4）、一部を除き達成できている（3）
半数近く達成されていない（2）、ほとんど達成できていない（1）

The Kansai Electric Power Co., Inc.

判断分岐の検証結果（詳細）（6 / 7）

17

No.7 1号機炉心損傷後のNo. 5モニタポストの数値上昇
ねらい No. 5モニタポストの故障判断

評価結果：良 課題：無

【結論】

訓練評価シート等に基づき、確認した結果、適切な対応を実施できていたと評価する。

訓練評価シート等に基づく対応実績の確認

検証ポイント

No.5モニタポストが故障により、指示値が急上昇するマルファンクションに対して、3、4号機に炉心損傷の兆候等が見られないことや現地での測定結果により、No.5モニタポストの故障であることを判断できるか。

評価結果	点数	評価者所見（達成度、気づき事項）
	4	No.5モニタポストについて、3、4号機に炉心損傷の兆候が見られないことから、指示値急上昇の妥当性を確認するため、現地での指示値測定を実施のうえ結果を検討し、故障判断できていた。

<評価点数について>

十分達成できている（4）、一部を除き達成できている（3）
半数近く達成されていない（2）、ほとんど達成できていない（1）

The Kansai Electric Power Co., Inc.

No.8【1号機】 C充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）の準備が完了した時点

ねらい C充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）の起動判断

評価結果：良 課題：無

【結論】

訓練評価シート等に基づき、確認した結果、適切な対応を実施できていたと評価する。

訓練評価シート等に基づく対応実績の確認

検証ポイント

1号機において、炉心損傷後にC充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）の準備が完了し、炉心注水可能な状態になる。一方、空冷DGは1台のみであり、電源容量が乏しい状況であり、必要な電源容量やプラント状況を踏まえ、C充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）を起動するか議論・検討し、対応方策を判断しているか。

評価結果	点数	評価者所見（達成度、気づき事項）
	4	電源容量にかかる議論を実施した上で、C-CH/SIP（自己冷却）による炉心注水を判断・指示できていた。その後CSP（自己冷却）による炉心注水の検討指示があった際にも、電源容量の観点で検討が必要という回答を行っており、安易に使用することが無く良好であった。

<評価点数について>

十分達成できている（4）、一部を除き達成できている（3）

半数近く達成されていない（2）、ほとんど達成できていない（1）

2022年度 新規訓練評価指標 「参考指標：訓練統制」 への対応結果について

2022年9月
原子力事業本部 安全・防災グループ

1. 新指標（訓練統制）への対応

1

新指標	評価対象の考え方など
(参考指標) 訓練統制	パラメータ設定の誤りや訓練コントローラの不適切な介入(条件付与)等の訓練コントローラの不備により、参加者において混乱が生じるなど、訓練統制上のトラブルが起きていないか確認する。

2022高浜防災訓練における対応方針

- (1) 5週間前面談
 ・コントローラ介入の考え方※を予め説明する。
 ・具体例として、今回シナリオにおける介入する／しないポイントを説明。
- (2) 訓練準備
 ・コントローラ付与情報が、上記考え方に合致することを確認。
 ・コントローラによる訓練進行へ介入した際、プレーヤの活動に混乱を与えないよう、各拠点のコントローラ間の連携窓口を明確化。
- (3) 訓練中／訓練後対応
 ・コントローラ介入に関連したプレーヤの混乱の有無を、評価者が観察・記録する。→観察記録シートを新規作成。
 ・観察結果を確認し、混乱があった箇所について、介入の適切性(※)を踏まえ、原因がコントローラ／プレーヤのいずれであったのか評価・分析する。
- (4) 3週間後面談
 ・評価結果、原因分析結果を説明する。

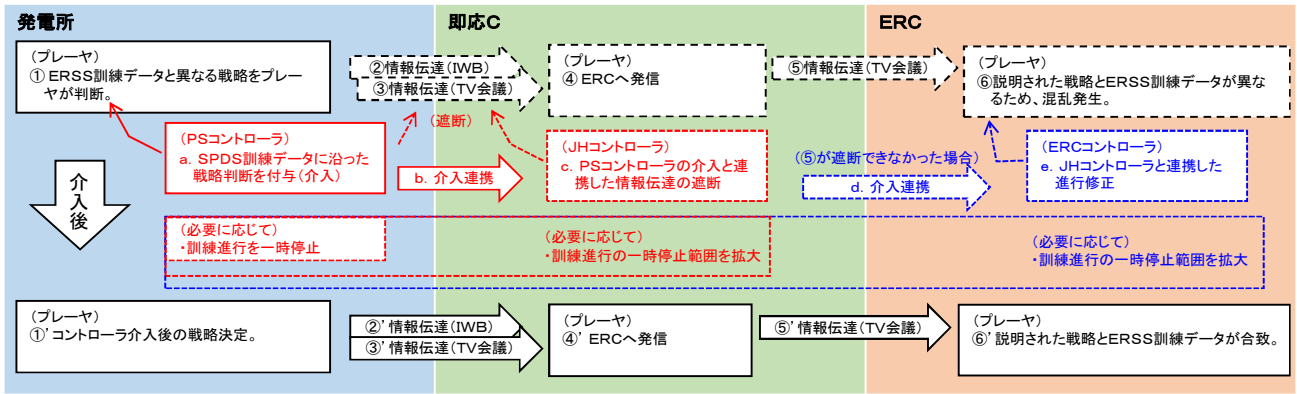
※: 訓練統制の実施方針

○コントローラによる訓練統制は、原則として以下に限る。

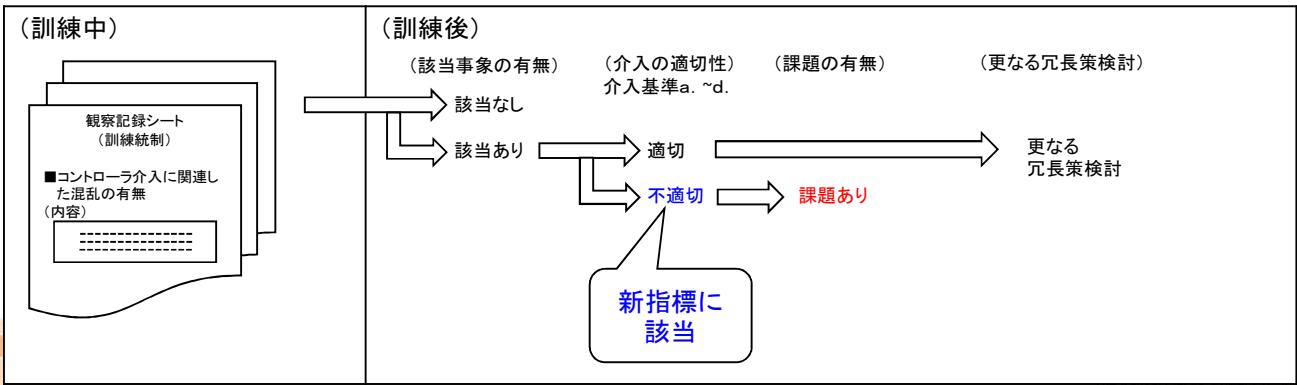
- 訓練の開始、終了
- プレーヤによる緊急時対応の各活動の開始に必要な条件等を付与
- プレーヤ以外の緊急時対応の活動を模擬(プレーヤと連携する部分に限る)
- プレーヤによる緊急時対応の各活動の進行を修正(訓練の進行に必要な事項に限る)

2. 訓練中／訓練後の対応計画

○ コントローラによる訓練進行の介入イメージ



○ コントローラ不備による混乱有無の評価イメージ



3. 訓練中／訓練後の対応結果

○ 訓練統制に係る評価

	訓練中の観察記録	訓練後の分析・評価		
	①コントローラ介入に関連した混乱の有無	②介入の適切性※	③課題の有無	④更なる冗長策
1.	・本部長指示事項の表示用大型モニタへの接続について、入力担当者(プレイヤー)が使用が必要の旨を理解しておらず、訓練中にコントローラ介入で使用を開始。 【即応C】	適切(b.) ・大型モニタの活用は事務局による改善試行中であり、マニュアル未反映のため、使用開始はプレイヤーに期待する事項でないため、コントローラ付与で行った。		・大型モニタの活用について、早期のマニュアル反映。 ・マニュアル外の改善試行を行う場合、予め資料を用いてプレイヤーへ確実に伝える。

○ 以上より、訓練中に抽出された気づきは、いずれも適切な介入であり、不適切な介入(条件付与)等の訓練コントローラの不備により、参加者において混乱が生じるなど、訓練統制上のトラブルが起きていない。

※: 訓練統制の実施方針
○ コントローラによる訓練統制は、原則として以下に限る。
a. 訓練の開始、終了
b. プレーヤによる緊急時対応の各活動の開始に必要な条件等を付与
c. プレーヤ以外の緊急時対応の活動を模擬(プレーヤと連携する部分に限る)
d. プレーヤによる緊急時対応の各活動の進行を修正(訓練の進行に必要な事項に限る)